KH1508i/KH1516i 日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて 本書は ATEN ジャパン株式会社において、KH1508i/KH1516i 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユ ーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。 製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュ アルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質 についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。 製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく 運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった 販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

2008年6月17日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品 および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法 定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を 目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事 使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送シス テム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それ ぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接 続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用 により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる 機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失 等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の 損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意の うえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべて を無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』および ユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りくださ い。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご留意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって 故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口に連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2)本規定に基づく製品保証のご依頼……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた 場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入 された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3)製品の発送……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

| ①通常製品 | 製品納品日~1 ヶ月 | 初期不良、新品交换※1 |
|---------------|------------|-------------|
| | ~3 年 | 無償修理 |
| | 3 年以上 | 有償修理※2 |
| ②液晶ディスプレイ搭載製品 | 製品納品日~1 ヶ月 | 初期不良、新品交換※1 |
| | ~2 年 | 無償修理 |
| | 2 年以上 | 有償修理※2 |

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品 交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。 ※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

・本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。

・ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。

・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。

・製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった 販売店までご連絡ください。

| 購入前のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 |
|------------|----------------------------|
| | TEL:03-5323-7170 |
| | MAIL:sales@atenjapan.jp |
| 購入後のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 |
| | TEL :03-5323-7178 |
| | MAIL :support@atenjapan.jp |

目次

| FCC13 |
|---------------------|
| RoHS |
| SJ/T 11364–2006 |
| 安全にお使い頂くために14 |
| 一般的な注意14 |
| ラックへのマウント16 |
| 同梱品17 |
| 本マニュアルについて18 |
| マニュアル表記について20 |
| 第1章 はじめに |
| 製品概要 |
| 特長24 |
| 必要システム構成25 |
| 全般25 |
| コンソール |
| コンピュータ |
| コンピュータモジュール |
| OS27 |
| サポート言語27 |
| 製品各部名称 |
| フロントパネル |
| リアパネル |
| 第2章 ハードウェアセットアップ33 |
| はじめに |
| セットアップの前に |
| デバイスの卓上設置とラックマウント34 |
| 卓上設置 |
| ラックマウント |
| 単体使用 |
| 接続図 |
| コンピュータモジュール接続図 |
| デイジーチェーン接続 |
| 接続図41 |

| 第3章 基本操作 | 42 |
|--------------------------|----|
| ポート選択 | 42 |
| 手動によるポート選択 | |
| OSD 操作によるポート選択 | |
| ホットキー操作によるポート選択 | |
| ホットプラグ | 43 |
| ステーション位置の変更 | |
| KVM ポートのホットプラグ | |
| コンソールポートのホットプラグ | |
| シャットダウンと再起動 | |
| ポート ID の番号割り当て | |
| 第4章 ローカルコンソール操作 | 45 |
| 概要 | 45 |
| OSD メインメニュー | |
| OSD ナビゲーション | |
| OSD メイン画面 項目 | |
| OSD 機能 | |
| F1 GOTO | |
| F2 LIST | |
| F3 SET | 51 |
| F4 ADM | |
| F5 SKP | |
| F6 IP | |
| F7 SCAN | |
| F8 LOUT | |
| キーボードによるポート操作 | |
| 概要 | |
| ホットキーモードの起動 | |
| ホットキーモード有効時における動作および操作方法 | 61 |
| アクティブポートの選択 | 61 |
| オートスキャン機能 | |
| スキャンインターバルの設定 | |
| オートスキャンの起動方法 | |
| スキップモード | |
| ホットキーによるビープ音設定 | |
| ホットキー一覧 | |

| ファームウェアのアップグレード | 67 |
|----------------------------------|----|
| KH1508i/KH1516i のファームウェアのアップグレード | 67 |
| 作業をはじめる前に | 67 |
| アップグレード開始 | |
| アップグレード成功 | 71 |
| アップグレード失敗 | 71 |
| ファームウェアアップグレードリカバリー | 72 |
| コンピュータモジュールのファームウェアアップグレード | 73 |
| 作業をはじめる前に | 73 |
| アップグレード開始 | 74 |
| アップグレード成功 | 75 |
| コンピュータモジュールのファームウェアアップグレードリカバリー | 76 |
| 第5章 ブラウザログイン | 77 |
| 概要 | 77 |
| ログイン | 77 |
| Web メニューのレイアウト | 80 |
| General メニュー | 80 |
| Web 画面のアイコン | |
| Web 画面のボタン | |
| Web ブラウザによるファームウェアのアップグレード | 84 |
| OSD の起動方法 | 86 |
| Windows クライアント | |
| Java クライアント | |
| 第6章 管理•設定 | 91 |
| 概要 | 91 |
| Administration タブ | 91 |
| General メニュー | |
| User Management メニュー | |
| Port Access | 96 |
| Service Configuration メニュー | |
| Access Port パネル | |
| Log Server パネル | |
| Network メニュー | |
| Network Transfer Rate | |
| IP Address パネル | |
| DNS Server パネル | |

| Radius メニュー | |
|----------------------------|--|
| RADIUS サーバーアクセス権限一覧 | |
| RADIUS サーバーアクセス権の設定例 | |
| Security メニュー | |
| IP・MAC フィルタリング | |
| Default Web Page Name | |
| Customization メニュー | |
| Login Failures | |
| Working Mode | |
| I/O Modules | |
| その他の機能 | |
| Configuration タブ | |
| 尊7章 Windwos クライアントによるポート操作 | |
| Windows クライアントコントロールパネル | |
| ホットキーセットアップユーティリティ | |
| ビデオアジャスト | |
| ガンマ値の調節 | |
| メッセージボード | |
| ボタンバー | |
| メッセージ表示パネル | |
| メッセージ入力パネル | |
| ユーザーリストパネル | |
| Main タブ | |
| クイックビューポート | |
| リスト機能 | |
| ポートネーム | |
| ポート操作 | |
| OSD ツールバー | |
| OSD 画面の再呼び出し | |
| OSD ホットキー一覧 | |
| ツールバーアイコン | |
| パネルアレイモード | |
| パネルアレイツールバー | |
| マルチユーザーによる操作 | |
| キーボードによるホットキー操作 | |
| オートスキャン | |

| スキャンインターバルの設定 | |
|------------------------------|--|
| オートスキャンの実行 | |
| オートスキャンの一時停止 | |
| オートスキャンの終了 | |
| スキップモード | |
| キーボード・マウス操作に関する注意事項 | |
| キーボード操作に関する注意事項 | |
| マウス同期に関する注意事項 | |
| 第8章 Java クライアントコントロールパネル | |
| Main タブ | |
| Java クライアントコントロールパネル | |
| ビデオアジャスト | |
| ソフトウェアキーパッド | |
| マウス | |
| メッセージボード | |
| メッセージボードボタンバー | |
| LED ロック・解像度 | |
| スクリーンモード | |
| Java クライアントについて | |
| [Ctrl] + [Alt] + [Delete]の実行 | |
| ヘルプ | |
| 終了 | |
| ポート操作 | |
| パネルアレイモード | |
| キーボードによるホットキー操作 | |
| 第9章 ログファイル | |
| メイン画面 | |
| <i>第10章 ログサーバ</i> | |
| セットアップ | |
| ログサーバの操作方法 | |
| メニューバー | |
| Configure | |
| Events | |
| Search | |
| Maintenance | |
| Options | |

| Help | |
|--------------------|--|
| ログサーバ メイン画面 | |
| 概要 | |
| リストパネル | |
| イベントパネル | |
| 第11章 ユーティリティソフトウェア | |
| はじめに | |
| Windows クライアント | |
| セットアップ | |
| 起動方法 | |
| ■File メニュー | |
| ■Tools メニュー | |
| 接続方法 | |
| 操作方法 | |
| セッションの終了方法 | |
| Java クライアント | |
| セットアップ | |
| 起動方法 | |
| 操作方法 | |
| 第12章 キーボードエミュレーション | |
| Mac キーボード | |
| Sun キーボード | |
| 付録 | |
| トラブルシューティング | |
| 管理操作 | |
| 一般的な操作 | |
| Java クライアント | |
| ログサーバ | |
| パネルアレイモード | |
| Windows クライアント | |
| Sun システム | |
| その他のマウス同期方法 | |
| 製品仕様 | |
| 信頼された証明書 | |
| 概要 | |
| 証明書のインストール | |

| 証明書のインストール完了 | 196 |
|------------------------------|-----|
| KH1508i/KH1516i との併用保証製品 | 197 |
| OSD の工場出荷時における初期設定一覧 | 197 |
| アドミニストレーターでログインできない場合 | 198 |
| IP モジュールのファームウェアアップグレードリカバリー | 200 |

FCC

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠したデジタル装置Class Aの制 限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有 害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通 信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。 その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会 指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

| 前供力力 | 有毒有害物质或元素 | | | | | |
|------|-----------|---|---|-----|------|-------|
| 部件名称 | 铅 | 汞 | 镉 | 六价铬 | 多溴联苯 | 多溴二苯醚 |
| 电器部件 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 机构部件 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

〇: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。

- ●: 表示符合欧盟的豁免条款,但该有毒有害物质至少在该部件的 某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- X:表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超 出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

<u>一般的な注意</u>

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテ ーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 製品は相間電圧 230V の配電装置向けに設計されています。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために3ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせて適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプ レッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱ってください。これらのケーブル類の上には 何も置かないようにしてください。

- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
 - ▶ 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - ▶ パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - ▶ 電源コードが破損した。
 - ▶ 装置の上に液体をこぼした。
 - ▶ 装置が雨や水にぬれた。
 - ▶ 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - ▶ 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - ▶ 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

<u>ラックへのマウント</u>

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック 全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業前にフロントとサイドのスタビラ イザーをシングルラックに取り付けるか、多機能ラックをフロントスタビライザーに取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押してラックからデバイスの出し入れをする際にはスライドレ ールに指を挟まないようご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、注意してレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給するAC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

KH1508i/KH1516i 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ KH1508i/KH1516i Cat5 高密度 KVM Over the NET[™] スイッチ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル×1
- ◆ 電源ケーブル × 1
- ◆ ラックマウントキット(ブラケットおよびプラスネジ)×1
- ◆ フットパッドセット(4個入) × 1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド × 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合は お買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、KH1508i/KH1516i に関する情報や使用法について説明しており、 取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。 マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:KH1508i/KH1516iを紹介します。特長および機能の概要および製品各部名 称について説明しています。
- **第2章 ハードウェアセットアップ**:KH1508i/KH1516iのハードウェアセットアップ方法、およびス イッチを単独で使用する場合、またはデイジーチェーン接続して使用する場合の手順に ついて説明しています。
- 第3章 基本操作:KH1508i/KH1516iの機能概要および操作方法について説明しています。
- **第4章 ローカルコンソール操作:**ローカル接続された KVM コンソールから KH1508i/KH1516i を操作する方法について説明しています。
- **第5章 ブラウザログイン:**Web ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのログイン操作、および Web メニューにおけるアイコンおよびボタンの各機能について説明しています。
- **第6章 管理・設定:**KH1508i/KH1516iにWebブラウザでログインした後の操作方法について説 明しています。
- 第7章 Windows クライアントによるポート操作: Windows クライアントソフトウェアによる KH1508i/KH1516i への接続方法、およびコンピュータへの OSD を使用したアクセス・操 作方法について説明します。
- 第8章 Java クライアントコントロールパネル: Java クライアントソフトウェアによる KH1508i/KH1516iへの接続方法、およびコンピュータへの OSD を使用したアクセス・操 作方法について説明します。
- **第9章 ログファイル:**ログファイルユーティリティを用いた KH1508i/KH1516i のイベントログ確認 方法について説明します。

第10章 ログサーバ:ログサーバのインストール方法および設定方法について説明します。

- **第11章 ユーティリティソフトウェア**:Web ブラウザを使用しない環境でもご利用いただける、 KH1508i/KH1516iのユーティリティソフトウェアの操作方法について説明しています。
- **第12章 キーボードエミュレーション**:Mac キーボードのエミュレーション、また、Sun キーボードの エミュレーションについて対応表を用いて説明します。
- 付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

| Γ |] | 入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。 複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあり ます。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl], [Alt], [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。 |
|---------------|---|---|
| 1. | | 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。 |
| ٠ | | ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。 |
| \rightarrow | | 矢印は操作の手順を示します。 例えば Start → Run はスタートメニュ ーを開き、Run を選択することを意味します。 |
| | | |



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

製品概要

KH1508i/KH1516iは、1組のKVMコンソール(キーボード、モニタ、マウス)から複数のコンピュ ータへのアクセスを可能にした製品です。

1 台の KH1508i/KH1516i で最大 8/16 台のコンピュータを操作することができ、また、最大 15 台の KH1508/KH1516 ユニットを追加でデイジーチェーン接続できますので、この場合は最大で 256 台のコンピュータを KH1508i/KH1516i から操作することが可能になります。

| 注意: | ATEN 製 KVM スイッチ | ACS-1208A および ACS-1216Aも KH1508i/KH1516i に対応 |
|-----|-----------------|--|
| | 予定です。 | |

KH1508i/KH1516i は通信プロトコルとして TCP/IP を使用しますので、管理者は離れたところか らネットワークに接続されたパソコンを利用して、KH1508i/KH1516i に接続されたコンピュータや KVM スイッチにアクセスできます。つまり、オフィスの別の部屋からでも、出張先からでも、果ては 地球の裏側からでもアクセスすることが可能となります。



TCP/IP によるアクセス方法に加え、KH1508i/KH1516i は PS/2 に対応したセカンドコンソール 用ポートを搭載しておりますので、データセンターにおいて KVM スイッチに直接キーボード・マウ ス・モニタを接続して作業することも可能です。 KVM スイッチの操作はシングルバスを共有します ので、ローカル・リモートでの同時ログインが可能ですが、別々の操作を行うことはできません。す でにリモートユーザーセッションを確立しているときにローカルユーザーがログインすると、ローカ ルユーザーはリモートユーザーが作業している画面を見る(モニタリング)ことになります。

KH1508i/KH1516i はローカルアクセスの環境下で最大 1,600×1,200 の解像度を、また、最大 40m 延長した場合は 1,280×1,024@75Hz の解像度をそれぞれサポートします。リモートアクセス の環境下においては、スイッチは最大 1280×1024@75Hz の解像度をサポートします。

本製品はコンピュータとの接続に従来の KVM ケーブルではなく、専用モジュールを採用してい ます。KVM スイッチの RJ-45 ポートと、PS/2、USB、シリアルデバイスにそれぞれ対応したコンピュ ータモジュールを、カテゴリ 5LAN ケーブルを使用して接続します。このモジュール方式の採用に より、Windows、Linux、Mac、Sun といった OS が混在したマルチプラットフォーム環境が簡単に実 現します。また KVM スイッチーモジュール間が LAN ケーブルになったことにより、従来のシステム ラックのリア側に見られるような大量のケーブルの束がコンパクトになり、ハードウェア導入・メンテ ナンス時の作業効率が大幅に向上します。

カスタム ASIC (特許出願中)により、デイジーチェーン接続されたステーション位置を自動判別 するため、手動による DIP スイッチの設定は必要ありません。フロントパネルの7セグメント LED に はステーション ID が表示されますので、一目でステーション位置を確認することができます。

KH1508i/KH1516iは ALTUSEN シリーズの CC1000 Control Center Over the NET™と併用で きるように設計されておりますので、アクセスや管理も簡単に行うことができます。また、ローカルコ ンソールの OSD によって IP アドレスの設定も手間がかかりません。

KH1508i/KH1516i への設備投資は、ファームウェアアップグレード機能によって将来的にも効 果が保証されます。ATEN のウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロード・適用するだけ で最新の機能をご利用いただけます。

セットアップはケーブルを該当ポートに接続するだけですので、簡単で時間もかかりません。また、 KH1508i/KH1516i はキーボードの入力信号を直接受信しますので、ソフトウェアを設定する必要も ございませんし、複雑なセットアップ作業に煩わされることや、互換性の問題に悩まされることもござ いません。

KH1508i/KH1516i に接続されているコンピュータには、フロントパネルにあるポート選択ボタン、 ホットキー、またはメニュー形式で操作可能な OSD (オンスクリーンディスプレイ)メニューのいずれ かの方法によって簡単にアクセスすることができます。また、便利なオートスキャン機能によって、 KH1508i/KH1516iに接続されたすべてのコンピュータの自動スキャンやモニタリングも可能になります。

セットアップに割かれる時間の短縮と費用の削減に関して、KH1508i/KH1516iの右に出る製品 はありません。最大で 256 台のコンピュータの操作が可能な本製品 KH1508i/KH1516i の導入に よって、

1) マシンごとにキーボード、モニタ、マウスを購入する費用の削減

2) 追加コンポーネントが専有するスペースの縮小

3) 光熱費の削減

4) コンピュータのセットアップ作業時に発生する不自由の解消や無駄な労力の削減 といったメリットが得られます。

特長

- ◆ 1 組のコンソールから最大で 8 台(KH1508i 使用時)/16 台(KH1516i 使用時)のコンピュータを 操作することが可能
- ◆ デイジーチェーン専用ポート搭載 最大 15 台のデイジーチェーンにより、256 台のコンピュータの操作が可能
- ◆ コンピュータとの距離延長が可能-コンピュータモジュールの採用により、KH1508i/KH1516i と コンピュータ間の距離は、解像度 1,600×1,200@60Hz の環境で 30m まで、また、1,280× 1,024@75Hz の環境で 40m までそれぞれ延長が可能
- ◆ カスタム ASIC (特許出願中)により、デイジーチェーン接続されたステーション位置を自動判別 するため、手動による DIP スイッチの設定などは不要。ステーション位置はフロントパネルの LED によって表示
- ◆ マルチプラットフォーム対応-Windows、Sun、Linux、Mac の他、シリアルサーバに対応
- ◆ LAN、WAN およびインターネットによるリモートアクセス機能-オフィスの別の部屋からでも、出 張先からでも、果ては地球の裏側からでもお使いのコンピュータにアクセスすることが可能。 10Base-T、100Base-T、TCP/IP、HTTP 対応
- ◆ 最大 64 名のユーザーアカウントの作成が可能
- ◆ 先端のセキュリティ対策ーパスワード保護および先端の暗号化技術を採用
- ◆ Windows・Java ベースのクライアントソフトウェアーとりわけ、Java クライアントは主要な OS での利 用が可能
- ◆ セットアップソフトウェア不要ーポート選択スイッチ、ホットキー、マウスで操作できるオンスクリー ンディスプレイ(OSD)メニューによって簡単にポートを選択することが可能
- ◆ オートスキャン機能-ユーザーが選択したコンピュータを対象に自動でモニタリングすることが可能
- ◆ ホットプラグ対応-スイッチの電源を切ることなくKVMスイッチ/コンピュータの取り付け・取り外し が可能
- ◆ 2レベルログアウトー手動によるログアウト、または設定された一定期間、操作がなかった場合は 自動でログアウト
- ◆ ファームウェアアップグレードが可能
- ◆ PS/2 キーボード・マウスエミュレーション-KVM スイッチ上で他のポートが選択されていても、コンピュータを起動することが可能
- ◆ VGA 解像度-最大 1,600×1,200、周波数 60Hz まで対応、DDC2B 準拠
- ◆ 19 インチシステムラックへの収納が可能

必要システム構成

<u>全般</u>

- ◆ KH1508i/KH1516iにアクセスする場合は、Pentium Ⅲ 1GHz 以上のプロセッサが搭載された コンピュータおよび VGA 解像度 1,024×768 以上に対応したモニタをご使用ください。
- ◆ インターネットにおけるデータ転送速度が 128kbps 以上の環境を推奨します。
- ◆ 使用するブラウザが RSA 128bit 暗号化に対応している必要があります。
- ◆ Windows クライアントを使用する場合は、DirectX 7.0 以上がインストールされていなければなりません。
- ◆ Java クライアントを使用する場合は、Sun Java 2 (JRE 1.4 以上)がインストールされていなけれ ばなりません。
- ◆ ログサーバを使用する場合は、Microsoft Jet OLEDB 4.0 以上がインストールされていなけれ ばなりません。

コンソール

- ◆ KH1508i/KH1516i に接続するコンピュータのうち、解像度が最も高いものを表示できる VGA/SVGA/マルチシンクモニタ
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ PS/2 キーボード

コンピュータ

お使いのコンピュータには以下のインターフェースに対応している必要があります。

- ◆ D-sub 15 ピンコネクタを持ち、VGA/SVGA/マルチシンク出力が可能なビデオポート
- ◆ タイプ A USB ポートと、USB ホストコントローラー (USB ポート対応コンピュータモジュール接続の場合。詳細は次頁参照)
- ◆ ミニ DIN6 ピンキーボードおよびマウスポート(PS/2 ポート対応コンピュータモジュール接続の場合。詳細は次頁参照)

コンピュータモジュール

- ◆ KH1508i/KH1516i とコンピュータモジュールとの接続にはカテゴリ5 以上のケーブルが必要で す。(p.36 の「単体使用」をご参照ください)
- ◆ KH1508i/KH1516i対応コンピュータモジュールは以下のとおりです。

| 製品画像 | 機能 | 型番 | コネクタ仕様 |
|-------------------------|------------------------------------|-------------|--|
| | PS/2タイプコンソールポート を持つコンピュータとの接続 | KA9520 | キーボード用ミニ DIN6 ピン オス マウス用ミニ DIN6 ピン オス モニタ用 D-sub15 ピン オス |
| | USB コンソールポートを持 つコンピュータとの接続 | KA9570 | USB タイプ A オス モニタ用 D-sub15 ピン オス |
| | Sun 13W3 コンソールポート を持つコンピュータとの接続 | KA9130 | ミニ DIN8 ピン オス 13W3 オス |
| | Sun USB コンソールポートを 持つコンピュータとの接続 | KA9170 ※ | USB タイプ A オス モニタ用 D-sub15 ピン オス |
| Alexandree and a second | VT100ターミナル対応 | KA9140 | D-sub15 ピン メス ミニ DIN6 ピン メス RS-232C DB-9 ピン メス |

※2008 年 3 月、Sun USB モジュール KA9131 は生産終了になりました。2008 年 4 月より、KA9170 に Sun 対応機能が引き継がれています。

<u>OS</u>

KH1508i/KH1516iは、下記のOSを搭載したサーバを接続することが可能です。

| OS | | バージョン |
|---------|---------------------|-------------|
| DOS | | 6.2 以降 |
| Windows | | 2000 以降 |
| Linux | RedHat | 7.1 以降 |
| | Mandriva (Mandrake) | 9.0 以降 |
| | SuSE | 8.2 以降 |
| FreeBSD | | 4.2 以降 |
| AIX | | 4.3 以降 |
| Netware | | 5.0 以降 |
| Sun | | Solaris8 以降 |
| Mac | | 8.6 以降 |

<u>サポート言語</u>

- ◆ 英語(アメリカ)
- ◆ フランス語
- ◆ ドイツ語
- ◆ 日本語
- ◆ 繁体字中国語
- ◆ 英語(イギリス)

製品各部名称

フロントパネル

KH1508i



KH1516i



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|---------------|------------------------------------|
| 1 | ポート選択スイッチ | ◆ スイッチを押すと、該当ポートに接続されているコン |
| | | ピュータを選択し、モニタに表示します。 |
| | | ◆ ボタン1とボタン2を同時に3秒間押すと、キーボ |
| | | ードとマウスをリセットします。 |
| | | ◆ ボタン7とボタン8を同時に押すと、オートスキャン |
| | | モードを開始します。 |
| | ポート LED ランプ | ポート LED はポート選択スイッチ部に取り付けられてい |
| | | ます。左側の LED はオンライン LED (ONLINE)、右側の |
| | | LED は選択されたポートを表す LED(SELECTED)とし |
| | | て使用します。 |
| | | ◆ ONLINE LED は緑色に点灯し、スイッチに接続さ |
| 2 | | れている該当ポートのコンピュータが稼働中である |
| | | ことを表します。この LED が点滅しているときは、該 |
| | | 当ポートが別のスイッチとのカスケード接続に使用 |
| | | されていることを表します。 |
| | | ◆ SELECTED LED はオレンジ色に点灯し、スイッチ |
| | | に接続されている該当ポートのコンピュータが KVM |
| | | スイッチによって選択されていることを表します。 機 |
| | | 器が正常に動作しているとき、この LED ランプは点 |
| | | 灯したままですが、オートスキャンモードでポートに |
| | | アクセスしているときには点滅します。 |
| | リセットスイッチ | KH1508i/KH1516iをリセットします。 |
| 3 | | 注意:このボタンはピンホール型ボタンになっているの |
| | | で、ペン等の細いもので押してください。 |
| | ファームウェアアップグレー | 通常操作時やファームウェアアップグレードの作業中 |
| 4 | ドリカバリースイッチ | は、このスイッチは「NORMAL」の位置にセットされてい |
| | | る必要があります。ファームウェアアップグレードの処理 |
| | | が正常終了しなかった場合、このスイッチを使ってファ |
| | | ームウェアアップグレードの回復を行います。 |
| | | 注意:このスイッチはローカルファームウェアアップグレ |
| | | ード専用です。詳細はp.72の「ファームウェアアップグレ |
| | | ードリカバリー」をご参照ください。 |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称 | 説明 | |
|-----|---------------|---------------------------------------|--|
| 5 | ファームウェア | 同梱のファームウェアアップグレードケーブルをこの | |
| | アップグレードポート | RJ-11 コネクタに接続し、管理者のコンピュータから | |
| | | KH1508i/KH1516i ヘファームウェア更新データを転送 | |
| | | します。(p.67 参照) | |
| | | 注意:このポートはローカルファームウェアアップグレー | |
| | | ド専用です。詳細は p.72 の「ファームウェアアップグレー | |
| | | ドリカバリー」をご参照ください。 | |
| 6 | 電源 LED ランプ | このランプがオンになっている場合、KH1508i/KH1516i | |
| | | の電源が入っており、操作可能であることを表します。 | |
| 7 | ステーション ID LED | KH1508i/KH1516iのステーションIDがここに表示されま | |
| | | す。KH1508i/KH1516iを1台でお使いになる場合(p.36 | |
| | | 参照)、またはデイジーチェーン接続において1台目の | |
| | | ステーションとしてお使いになる場合(p.39 参照)、この | |
| | | KH1508i/KH1516iにはステーション ID として 01 が表示 | |
| | | されます。 | |
| | | デイジーチェーン接続してお使いの場合、 | |
| | | KH1508i/KH1516i は自身のステーション位置を自動認 | |
| | | 識し、該当ステーション ID を表示します。詳細は p.44 の | |
| | | 「ポートID の割り当て」をご参照ください。 | |

リアパネル

KH1508i



KH1516i



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|---------------|--------------------------------------|
| 1 | 電源ソケット | IEC 60320 C14 3 極ソケットです。 AC 電源コードを接続 |
| | | してください。 |
| 2 | 電源スイッチ | 電源のオン/オフを行うロッカースイッチです。 |
| 3 | LANポート | インターネットに接続している LAN ケーブルをここに接 |
| | | 続します。LED ランプはデータ転送速度を表し、データ |
| | | 転送速度が 10Mbps のときはオレンジに、100Mbps のと |
| | | きはグリーンにそれぞれ点灯します。 |
| 4 | PON ポート | Power Over the Net™(PON)との併用時に専用ケーブ |
| | | ルをここに接続します。KH1508i/KH1516i は Power |
| | | Over the Net™と併用することによって、リモートからネッ |
| | | トワーク経由で KVM スイッチに接続されたコンピュータ |
| | | を起動することができます。詳細については販売店まで |
| | | お問い合わせください。 |
| 5 | デイジーチェーン専用ポート | デイジーチェーン接続を行う際にはこのポートにケーブ |
| | | ルを接続してください。(詳細は p.39 の「デイジーチェー |
| | | ン接続」を参照) |
| 6 | セカンドコンソール | KH1508i/KH1516i を単独でお使いになる場合、または |
| | | デイジーチェーンの最初のステーションとしてお使いに |
| | | なる場合には、これらのポートにキーボード、モニタ、マ |
| | | ウスを接続します。 |
| 7 | KVM ポート | コンピュータモジュール(コンピュータのキーボード、モ |
| | | ニタ、マウスの各ポートと接続)とつながっているカテゴリ |
| | | 5 ケーブルをこのポートに接続します。 |

第2章 ハードウェアセットアップ

はじめに

PS/2、USB またはシリアルデバイス対応のコンピュータが混在した環境やマルチプラットフォーム を利用した環境でも便利で柔軟に対応できるように、KH1508i/KH1516i ではスイッチ/デバイス間に はコンピュータモジュール(CPU モジュール)を接続してお使いいただく仕様になっております。 (p.37 接続図参照)

コンピュータモジュールは、KVM スイッチに接続するコンピュータ毎に必要です。 KH1508i/KH1516i 対応コンピュータモジュールの型番の詳細は p.26 の「コンピュータモジュール」 の項をご参照ください。

セットアップの前に



- 1. 機器の設置に際し重要な情報をp.14に記載しています。作業の前に、必ず 目を通してください。
- 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。

デバイスの卓上設置とラックマウント

KH1508i/KH1516iは卓上に置いて使用したり、ラックのフロント側・リア側にマウントして使用したり することができます。下記のセクションでは KH1508i/KH1516i の卓上設置とラックマウントの方法に ついて説明します。

卓上設置

KH1508i/KH1516i は製品本体と接続されるケーブルの重量に耐えられる安定した水平な場所で あれば、どんな場所でも設置することが可能です。KH1508i/KH1516i 本体や、製品にデイジーチェ ーン接続されたユニットを置く際には、同梱ゴム製フットパッドの裏面のはくり紙をはがし、下記の図 のように KH1508i/KH1516i 底面の四隅に貼り付けてください。



機器への通気を確保するために、製品の両側面は 5.1cm 以上、背面は 12.7cm 以上の空間をもうけるようにしてください。

<u>ラックマウント</u>

KH1508i/KH1516iはEIA規格19インチラックの1Uサイズでマウントできる製品です。マウントブラ ケット用のネジ穴は機器のフロント側とリア側に設けてありますので、用途に応じて KH1508i/KH1516iをラックのフロント側、リア側のどちらにも設置することが可能です。

1. 下記の図のように、ブラケットを取り付ける側についているネジをはずします。



2. マウント用ブラケットを下記の図のようにフロント側、またはリア側に取り付けます。



3. ブラケットを取り付けた製品を、ラックのフロント側、またはリア側にスライドさせて、ラックにネジ で固定します。

単体使用

KH1508i/KH1516iを1台で使用する場合は別の機器とデイジーチェーン接続する必要はありません。次のページ以降の接続図(図中の番号は手順の番号に対応)を参考にし、セットアップを以下の 手順で行ってください。

 コンソールとしてお使いになるキーボード、モニタ、マウスの各コネクタを、リアパネルの該当コン ソールポートにそれぞれ接続します。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのア イコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。

注意: 弊社が動作保証する KVM スイッチ・ローカルモニタ間の距離は最大 20mです。

 コンピュータモジュールと KVM スイッチをカテゴリ 5 ケーブルで接続してください。コンピュータ モジュールは接続対象となるコンピュータに対応するものをお使いください。(コンピュータモジ ュールの詳細に関しては p.26 をご参照ください)

注意: 弊社が動作保証する KVM スイッチ・コンピュータモジュール間の距離は最大で 40mです。

- コンピュータモジュールとお使いのコンピュータを接続します。コンピュータモジュールの各コネ クタをお使いのコンピュータの各該当ポートに接続してください。(p.38の「コンピュータモジュー ル接続図」を参考に接続してください。)
- 4. LAN または WAN に接続しているケーブルを KH1508i/KH1516i の LAN ポートに接続してくだ さい。
- 5. 電源コードを本体に接続し、コンセントに挿してください。
- 6. KH1508i/KH1516i に電源を入れてください。
KH1508i/KH1516i に電源が入っていることを確認したら、接続されているコンピュータの電源を入 れてください。

接続図





コンピュータモジュール接続図



デイジーチェーン接続

操作したいコンピュータの台数がKH1508i/KH1516iのポート数を超える場合でも、最大で15台の KH1508/KH1516をデイジーチェーン接続することで対応が可能です。この場合、最大で256台のコ ンピュータを1組のコンソールから操作することができます。

注意: ATEN 製 KVM スイッチ ACS-1208A および ACS-1216A も KH1508i/KH1516i に対応予定です。

デイジーチェーン接続を設定する場合は、以下の作業を行ってください。

- デイジーチェーン専用ケーブルで、親機の「Chain Out」ポートと子機の「Chain In」ポートを接続 してください。(1台目の「Chain Out」ポートと2台目の「Chain In」ポートに、2台目の「Chain Out」ポートと3台目の「Chain In」ポートに接続するといった要領で作業を行ってください)
 - **注意:** 1. 1台目の機器は最上位の親機として機能しますので、この機器の「Chain In」 ポートはご使用になれません。
 - デイジーチェーン接続する場合は、デイジーチェーン専用ケーブルを別途 ご購入いただく必要がございます。詳細は販売店までお問い合わせください。
 - 3. 弊社が動作保証するカスケード接続長は、1 台目の KVM スイッチから末端 の KVM スイッチまで合計 100m です。
- コンピュータモジュールとKH1508i/KH1516iにデイジーチェーンされたKVMスイッチ上で利用 可能なポートをカテゴリ5ケーブルで接続してください。(詳細は p.26の「コンピュータモジュー ル」をご参照ください。)

| 注意: | 弊社が動作保証する | KVM > | スイッチ・コンピ | ュータモジューノ | レ間の距離は最大で |
|-----|-----------|-------|----------|----------|-----------|
| | 40mです。 | | | | |

- コンピュータモジュールの各コネクタとお使いのコンピュータのキーボード、モニタ、マウスの各 ポートをそれぞれ接続してください。必要であれば前のページにある接続図を参考にして作業 してください。
- 4. 同梱されている電源コードを KH1508i/KH1516i に接続し、コンセントに挿してください。

- 5. 他のスイッチもデイジーチェーン接続する場合は、上記 1~4の手順を繰り返してください。
- 6. 下記の手順で、電源を入れてください。
 - a. 1台目のステーション(KH1508i/KH1516i)に電源を入れます。KH1508i/KH1516i がス テーション ID を認識し、ステーション ID を LED 表示するまでしばらくお待ちください。(1 台目の機器のステーション ID には 01、2 台目には 02、3 台目には 03 というようにステー ション ID が割り振られます)
 - b. KH1508i/KH1516iにデイジーチェーン接続された KVM スイッチに順に電源を入れていってください。(2台目のステーションに電源を入れたあとで、3台目のステーションに電源を入れるといったように、ステーション順に電源を入れてください)各機器のステーションID が認識され、フロントパネルに LED 表示されるのを確認してから次のステーションの電源を入れるようにしてください。
 - c. すべてのステーションのステーション ID が確定したら、KVM スイッチに接続されたコンピ ュータの電源を入れます。

接続図



第3章 操作方法

ポート選択

KH1508i/KH1516i に接続されているコンピュータへの接続には、手動、OSD、ホットキーの3つの 操作方法をご用意しております。

手動によるポート選択

手動でポート選択を行う場合は、KH1508i/KH1516i のフロントパネルにあるポート選択スイッチを 押して操作してください。

OSD 操作によるポート選択

OSD (オンスクリーンディスプレイ) はメニュー形式でコンピュータの切替操作のインターフェースを 提供しております。KH1508i/KH1516i では、ローカルコンソールからログインした際に使用するテキ ストベースの OSD と、インターネット経由でリモートログインした際に使用する GUI ベースの OSD と いった 2 種類の OSD を提供しております。ローカルコンソールの OSD の詳細に関しては次章で、 GUI ベースの OSD の詳細に関しては第7章 (Windows クライアントによるログイン) および第8章 (Java クライアントによるログイン) でそれぞれ説明します。

ホットキー操作によるポート選択

ホットキー操作では、ポート選択スイッチを直接操作することなく、キーボードから簡単にコンピュー タを切り替えることができます。キー操作に関しては p.60 の「キーボードによるポート操作」で詳しく説 明します。

ホットプラグ

KH1508i/KH1516i はホットプラグ対応製品です。ケーブルをポートにつなぎかえるだけで、 KH1508i/KH1516i をシャットダウンすることなくキーボードやマウス等のつけはずしをすることが可能 ですが、ホットプラグ機能が正しく動作するように下記の手順に従ってお使いください。

ステーション位置の変更

ステーション位置はケーブルを付け替えることで簡単に変更できます。変更後は、OSD メニューに 新しい設定を反映させるために OSD のステーション ID をリセットする必要がございます。詳細につい ては p.55 の「RESET STATION IDS」の欄をご参照ください。

KVM ポートのホットプラグ

KVM ポートを変更した後、OSD メニューに新しいポートの情報設定を反映させるためには、手動で OSD を再設定する必要があります。詳細に関しては、p.51 の「F3 SET」および p.54 の「F4 ADM」の 項にあるポート設定の内容をご参照ください。

注意: お使いのコンピュータの OS がホットプラグに対応していない場合、 KH1508i/KH1516iのホットプラグ機能が正しく動作しない場合がございます。

コンソールポートのホットプラグ

KH1508i/KH1516i に接続されているキーボード、モニタ、マウスもホットプラグすることが可能です。 マウスをホットプラグする際には以下のとおりに作業してください。

- ◆ マウスのリセット等の理由で同一マウスを使用する場合は、マウスケーブルを一旦抜いた後、もう一度 KH1508i/KH1516i に接続してください。
- ◆ 異なるマウスを使用する場合は、すべてのステーションおよび機器に接続されているすべての コンピュータをシャットダウンし、10秒間程度お待ちください。その後は、p.40のステップ6にある 起動手順に従って KH1508i/KH1516i を再起動してください。
- **注意:** ホットプラグ後、または通常の操作時にキーボードやマウス入力に反応しなくなった 場合は、リセットスイッチを押してキーボードとマウスのリセットを行ってください。 (p.29 参照)

シャットダウンと再起動

KH1508i/KH1516iのシャットダウンが必要な場合、また、スイッチの電源不足で再起動が必要な場合は、再起動を行う前に以下の手順を必ず行ってください。

- KH1508i/KH1516iに接続されているすべてのコンピュータをシャットダウンします。
 注意: キーボード起動機能をご利用のコンピュータがある場合は、シャットダウンした後で、そのコンピュータの電源コードを抜いておく必要があります。
- シャットダウンが終了したら10秒ほど待機し、KH1508i/KH1516iに電源を入れてください。複数 台のスイッチをデイジーチェーン接続している場合は、最上位のステーションから順に電源を入 れていきます。各ステーションに電源を入れると自身のステーション ID が LED 表示されますの で、表示されたことを確認してから次のステーションに電源を入れるようにしてください。
- 3. すべてのステーションに電源が入ったのを確認したら、KH1508i/KH1516i に接続されている各 コンピュータの電源を入れてください。

ポート ID の番号割り当て

KH1508i/KH1516iの KVM ポートにはそれぞれユニークなポート ID が割り振られます。ポート ID は、機器のステージレベルと、コンピュータが接続されている KVM スイッチのポート番号から構成されている番号です。

ポートIDの前半部分はKVMスイッチのステージレベルを表し、後半部分はコンピュータが接続されたスイッチのポート番号を表しています。

1段階目のスイッチに接続されたコンピュータにはスイッチの KVM ポートに対応して1~16のポートID が割り当てられます。

2 段階目のスイッチに接続されたコンピュータのポート ID は 2 つの部分から構成されます。

- ◆ ポートIDの後半(1~16)はコンピュータが接続している2段階目のスイッチにおけるポート番号を表しています。ポートIDの前半(1~16)は2段階目のスイッチが接続している1段階目におけるポート番号を表しています。
- ◆ 例えばポートID12-03は12台目のステーションの3番ポートに割り当てられているコンピュータ を指します。

第4章 ローカルコンソール操作

概要

KH1508i/KH1516i の初回起動時におけるセットアップ作業は、ローカルコンソールから行うことを お勧めします。ローカルコンソールにおける操作はメニュー形式でKH1508i/KH1516i本体の諸設定 および接続されたコンピュータの管理が行える OSD によって行うことができます。

KH1508i/KH1516i の操作はすべて OSD メインメニューから実行します。OSD メインメニューを呼び出すには、[Scroll Lock]キーを2 度押してください。

| 注意: | OSD 表示のホットキーはデフォルトの[Scroll Lock]キーから[Ctrl]キーに変更できま |
|-----|--|
| | す(詳細は p.51 を参照)。 |

OSD を起動すると、以下のようなログイン画面が表示されます。

| | 20 | - mail | THEEMUND |
|----------|-----|--------|----------|
| USERNAM | 2.6 | | |
| PASSMORI |): | | |
| | | | |
| | | | |

正しいユーザーネームとパスワードを入力し、ログインしてください。

| 注意: | 1. | デフォルトユーザーネームは administrator、デフォルトパスワードは password |
|-----|----|--|
| | | です。初回ログインの場合はこのデフォルトユーザーネームおよびデフォルト |
| | | パスワードを使用しますが、セキュリティのため、このデフォルトユーザーネー |
| | | ム・パスワードの内容を変更することをお勧めします。 |
| | 2. | ユーザー管理はリモート管理メニューから行いますので、ユーザーネームおよ |
| | | びパスワードはローカルコンソールからメンテナンスすることはできません。詳 |

細は p.93 の「User Management メニュー」をご参照ください。

OSD メインメニュー

ログインが完了すると、下図のような OSD メインメニューが表示されます。

| F1:GOTO F2:LIST | F3:SE F4:AD | T F5:SKP F7:SC M F6:IP F8:LO | AN× Ut <i>≓</i> |
|--------------------------------------|----------------|---|--------------------|
| ADMINIST | RATOR | | |
| LIST:AL SNPN | QV 🔅 | NAME | |
| 001 [[-01 []-07 | | SALES BND 01 | |
| -03 | ₹ Š | RND 02 | |
| [[-04 [[-05 [[-05 [[-07 | | WEBSERVER 01 WEBSERVER 02 FAX SERVER MAIL SERVER | 5 |
| | | | |

注意: 1. この画面はアドミニストレーター権限ログイン時のメインメニューです。F4 および F6 の各機能はアドミニストレーター権限を持つユーザー限定の操作に予約されておりますので、ユーザー権限ログイン時のメインメニューでは、F4 および F6 の各項目は表示されません。
 2. OSD は常にリストビューの状態で始まります。ハイライトバーは OSD 画面が最後に閉じられた時に表示されていた位置と同じ位置で表示されます。
 3. アドミニストレーター権限でアクセス可能なポートを設定した場合、ユーザー権限でログインすると、そのユーザーがアクセス可能なポートのみがリスト表示

されます(詳細は p.96 の「Port Access」を参照)。

OSD ナビゲーション

- ◆ OSD 画面を閉じる場合は、OSD 画面の右上に位置する×印をクリック、もしくは[Esc]キーを押してください。
- ◆ ログアウトする場合は、メイン画面の上に位置する F8 をクリック、もしくは OSD 画面右上の 「ZZZ」マークをクリック、もしくはキーボードで[F8]キーを押してください。
- ◆ OSD メニューはツリー構造で表示されます。ある特定のステーションのポートを見る場合は、ス テーション番号の前にある[+]をクリックするとポート番号のリストがドロップダウン表示されます。 リストを閉じる場合は、ステーション番号の前にある[o]キーをクリックしてください。
- リスト表示を1行ずつ上下へ移動する場合は、三角の印(▲▼)をクリック、もしくはキーボードの 上下の矢印キーを押してください。これにより、メイン画面はスクロールされます。
- ・リスト表示を1ページずつ上下へ移動する場合は、上下の矢印(↑↓)をクリック、もしくはキーボードの[Page Up][Page Down]キーを押してください。これにより、メイン画面はスクロールされます。
- ◆ ポートを切り替える場合は、選択先のポートをダブルクリック、もしくはハイライトバーを移動させ [Enter]キーを押してください。
- ◆ これらの操作を実行すると、自動的にメニューは1段階上の状態に戻ります。

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| SN-PN | ポート ID を表示しています。KVM スイッチのコンピュータ側ポートは個別の番 |
| | 号を持っています。ハイライトバーを移動し[Enter]を押すと、画面がそのポート |
| | に接続されたコンピュータに切り替わります。 |
| QV | クイックビュー時に表示するポートを選択します(p.53「SET QUICK VIEW |
| | PORTS」を参照)。クイックビューポートとして選択されているコンピュータには矢 |
| | 印が表示されます。 |
| Å | ポートに接続されたコンピュータの電源がオンのとき、この太陽マークが表示さ |
| γ | れます。 |
| Name | 各ポートに対して名前を登録することができます(p.54「EDIT PORT NAMES」参 |
| | 照)。 |

OSD メイン画面 項目

OSD 機能

KVM スイッチの諸設定および接続されたコンピュータの管理を行う OSD 機能について説明します。 OSD の各機能によって、任意のポートへのダイレクト切替、指定したポートのみを対象にしたスキャン、 指定したリストのみを対象にした表示、クイックビューポートの設定、ポートネームの設定、OSD の設 定等ができます。

OSD の各機能にアクセスするには以下の手順で操作してください。

- 1. メイン画面の上部にあるファンクションの文字を直接クリックするか、キーボードから対応するファ ンクションキーを押してください。
- サブメニューが表示されますので、選択しダブルクリックするか、もしくはキーボードからハイライトバーを移動後、その項目を選択し[Enter]キーを押します。
- 3. [Esc]キーを押すと、1段階上のメニューに戻ります。

F1 GOTO

GOTO機能により、ポートネーム、もしくはポート ID を入力することで、直接ポートを切り替えることが可能です。

- ◆ ポートネームを使用する場合、[1]キーを入力後、ポートネームを入力し[Enter]キーを押してくだ さい。
- ◆ ポート ID を使用する場合、[2]キーを入力後、ポート ID を入力し[Enter]キーを押してください。

| 注意: | 1. | ポートネームもしくはポート ID を入力すると、現在のリスト表示の設定(詳細は |
|-----|----|--|
| | | p.50 の「F2 LIST」参照)にかかわらず、該当するポートのうち、ユーザーが表 |
| | | 示権限を持つものがすべて画面にリスト表示されます。 |
| | 2. | ポートに対するアクセス権限はリモート OSD 経由で割り振られます。詳細につ |
| | | いては p.96 の「Port Access」をご参照ください。 |

選択をしないで OSD 画面メインメニューに戻るには、[Esc]キーを押してください。

F2 LIST

この機能を用いて、OSD がメインメニューで表示するポートの範囲を設定できます。OSD ファンク ションの多くは、メインメニューでリスト表示されているポートだけを操作します。サブメニューの設定 項目の詳細は下表をご参照ください。

| 設定 | 内容 |
|------------|----------------------------------|
| ALL | 設置されているポート全てをリストアップします。 |
| POWERED ON | 接続されているコンピュータの電源がオンになっているポート |
| | をリストアップします。 |
| QVIEW | クイックビューポートとして選択されたポートをリストアップしま |
| | す。(p.53「SET QUICK VIEW PORTS」参照) |
| QVIEW + | クイックビューポート(p.53 参照)として選択され、かつ接続さ |
| POWERED ON | れているコンピュータの電源がオンになっているポートをリスト |
| | アップします。 |

メニューのハイライトバーを移動して対象となるポートを選択し [Enter]キーを押してください。アイコンが表示され、現在選択している設定が表示されます。

F3 SET

この機能はアドミニストレーター権限および各ユーザー権限でのログイン時における環境設定を 行います。それぞれのユーザーの各プロファイルは KVM スイッチ内に保存され、各ユーザーのログ イン時に反映されます。

設定を変更される場合は以下の手順で作業してください。

- 1. ハイライトバーを「F3 SET」の項目へ移動させ[Enter]キーを押してください。
- 2. ハイライトバーをサブメニューの対象項目へ移動させ[Enter]キーを押します。アイコンは、現在 選択されている項目を表示しています。設定項目についての説明は下表をご参照ください。

| 設定 | 機能 |
|------------|---|
| OSD HOTKEY | OSD メインメニューを呼び出すホットキーを設定します。 |
| | [Scroll Lock] [Scroll Lock] または [Ctrl] [Ctrl] を設定することができます。 |
| | [Ctrl]キーの入力は、動作中のコンピュータの他のプログラムと競合する可能性 |
| | がありますので、デフォルトは[Scroll Lock]キー2度押しになっています。 |
| PORT ID | 画面上のポート ID 表示位置を設定します。 デフォルトでは画面の左上ですが、 |
| DISPLAY | 任意の位置にポートID を表示することができます。 |
| POSITION | ポート ID の表示位置を決めるには、マウスまたは矢印キーと[Page Up]、[Page |
| | Down]、[Home]、[End]、そして[Num Lock]をオフにしたテンキーの[5]を用いま |
| | す。それから、ダブルクリックまたは[Enter]を押して位置を定め、F3 SET のサブ |
| | メニュー画面に戻します。 |
| PORT ID | ポート切替が行われた後、画面にポート ID を表示する時間を設定します。 |
| DISPLAY | User Defined:ユーザー設定(0~255秒間) |
| DURATION | Always On:ポート ID を常に表示 |
| | 「User Defined」を選択した場合は、秒数を入力しその後[Enter]キーを押してく |
| | ださい。デフォルトでは5秒間です。0を選択すると、この機能を無効にします。 |

(表は次ページに続きます)

(F3 SET の表、続き)

| 設定 | 機能 |
|-----------|---|
| PORT ID | ポート ID 表示方法を選択します。ポート番号のみ (PORT NUMBER)、ポートネ |
| DISPLAY | ームのみ(PORT NAME)、または、ポート番号とポートネームの組み合わせ |
| MODE | (PORT NUMBER + PORT NAME)があります。デフォルトは、ポート番号と |
| | ポートネームの組み合わせ(PORT NUMBER + PORT NAME)です。 |
| SCAN | オートスキャンモード(p.58 をご参照ください)で、各ポートに接続されたコンピュ |
| DURATION | ータの表示のインターバル時間を設定します。0~255 秒までの数値を入力し、 |
| | その後[Enter]キーを押してください。デフォルトは10秒間です。0秒で設定する |
| | と SCAN 機能を使用不可にします。 |
| SCAN/SKIP | スキップモード(p.57 をご参照ください)およびオートスキャンモード(p.58 をご参 |
| MODE | 照ください)で、どのコンピュータにアクセスするかを選択します。設定は以下の |
| | とおりです。 |
| | |
| | ALL — アクセスできるすべてのポート(p.96 をご参照ください) |
| | POWERED ON — アクセス可能かつ接続されているコンピュータの電源がオ |
| | ンになっているポートのみ |
| | QUICK VIEW — アクセス可能かつクイックビューポートとして設定されたポー |
| | ト(p.53 をご参照ください)のみ |
| | QUICK VIEW + POWERED ON — アクセス可能でクイックビューポートとして |
| | 設定され、かつ接続されているコンピュータの電源がオンになっているポートの |
| | み |
| | |
| | デフォルトは ALL です。 |
| SCREEN | この機能で設定された時間、コンソールから入力されていない場合、画面はブラ |
| BLANKER | ンクになります。0~30分の時間を入力してから、[Enter]キーを押します。0分で |
| | 設定するとこの機能を使用不可にします。デフォルトは0(無効)です。 |
| HOTKEY | ホットキー操作がコンピュータで動作中のプログラムと競合がある場合などに、ホ |
| COMMAND | ットキーコマンドの使用可能/不可を切り替えます。デフォルトでは ON 使用可能 |
| MODE | です。 |
| HOTKEY | ホットキーモードを開始するキーを選択できます。 (p.60 参照)[Num Lock] + [-] |
| | または[Ctrl] + [F12]のいずれかを選択してください。デフォルトの設定は[Num |
| | Lock] + [-]です。 |

(表は次のページに続きます)

(F3 SET の表、続き)

| 設定 | 機能 |
|------------|--|
| SET LOGOUT | この機能で設定された時間、コンソールから入力されていない場合、ユーザー |
| TIMEOUT | は自動的に KH1508i/KH1516i からログアウトします。 ログアウトしたあとコンソー |
| | ルを使用する場合は再度ログインする必要があります。 |
| | これは先にログインしたユーザーがコンピュータでの操作を終えたにもかかわら |
| | ずログアウトするのを忘れた場合に、他のユーザーがアクセスできるようにするた |
| | めの機能です。タイムアウトの時間を 0~180 の値で入力し、 [Enter]キーを押し |
| | てください。0 分で設定するとこの機能が無効になります。 デフォルトは 0(無効) |
| | です。 |
| ACTIVATE | ビープ音の設定を行います。Y(有)または、N(無)を選んでください。Y を選ぶ |
| BEEPER | と、ポートが変更された時、オートスキャン機能(p.58をご参照ください)が有効に |
| | なっている時、OSD メニューで無効な入力がされた時にそれぞれビープ音が鳴 |
| | ります。 デフォルトは Y(有)となっています。 |
| SET QUICK | どのポートをクイックビューポートとして選択するかを設定します。この機能はアド |
| VIEW PORTS | ミニストレーターのみが設定できます。 |
| | |
| | ◆ クイックビューポートとして、ポートを選択/解除するには、そのポートをダブ |
| | ルクリックするか、[↑][↓]上下の矢印キーを使用してハイライトバーをそこ |
| | へ移動させた後、[Space] キーを押してください。 |
| | ◆ ポートがクイックビューポートとして選択された場合、メイン画面のリストの |
| | 「QV」項目に矢印が表示されます。クイックビューポートとして選択されてい |
| | ない場合には、何も表示されません。 |
| | ◆ LIST (p.50 の「F2 LIST」をご参照ください)でクイックビューオプションのひと |
| | つが選択された場合、ここで選択されたポートだけがリストに表示されます。 |
| | ◆ オートスキャン(p.52 をご参照ください)でクイックビューオプションのひとつ |
| | が選択されている場合、ここで選択されたポートだけがオートスキャンされま |
| | す。 |
| | デフォルトはどのポートもクイックビューポートとして選択されていません。 |

F4 ADM

F4 ADM はアドミニストレーターのみが使用できる機能です。この機能により、アドミニストレーター は OSD の操作全体を設定・管理できます。設定を変更するには、 [↑][↓]上下の矢印キーを使っ てハイライトバーを設定したい項目まで移動させ、[Enter]を押します。

項目選択後、F4 ADM ファンクションのサブメニューが表示されます。選択したいものをダブルクリ ックするか、または、ハイライトバーをそこまで動かした後、[Enter]を押します。選択する前に、アイコ ンが表示されます。設定方法は下表をご参照ください。

| 設定 | 機能 |
|------------|---|
| EDIT | スイッチに接続されているコンピュータの管理を容易にするために、各ポートに |
| PORT NAMES | 名前をつけることができます。この機能により、アドミニストレーターはポートネー |
| | ムを設定したり、編集したり、削除したりすることができます。 |
| | |
| | ポートネームを編集するには以下の手順で作業してください。 |
| | 1. 編集したいポートをクリックするか、[↑][↓]上下の矢印キーを使ってハイラ |
| | イトバーを設定したいポートまで移動させ、[Enter]キーを押します。 |
| | 2. 新しいポートネームを入力するか、以前のポートネームを訂正または削除し |
| | てください。ポートネームの最大文字数は 12 文字で、英数字(a~z、0~9) |
| | と、記号(- 、スペース)が使用できます。大小文字は区別されません。 |
| | OSD ではポートネームはすべて大文字で表示されます。 |
| | 3. ポートネームの編集を終えたら、[Enter]キーを押してその変更を有効にし |
| | てください。変更を途中で止める際には、[Esc]キーを押してください。 |
| RESTORE | この機能は、ポート識別を補助するポートネームの設定、およびユーザーネー |
| DEFAULT | ム/パスワードの設定を除く、すべてのOSD設定を工場出荷時のデフォルト値に |
| VALUES | 戻します。(工場出荷時のデフォルト設定に関しては p.197 をご参照ください。) |
| CLEAR THE | ポートネーム設定を削除して、工場出荷時のデフォルト値(全ポートネーム無し) |
| NAME LIST | にします。 |

(表は次ページに続きます)

(F4 ADM の続き)

| 設定 | 機 | 能 | |
|-------------|---|-----------------------|--|
| RESET | デイジーチェーン接続されているステーション | /の位置を物理的に変更しただけ | |
| STATION IDS | では、OSD の設定に新しい内容が反映されません。その場合はこの機能を用 | | |
| | いて KVM スイッチに接続されているステー | ションをスキャンしなおし、OSD を | |
| | 物理的な設定に更新します。 | | |
| | | | |
| | 注意: この機能ではステーションナンバー | の情報のみ更新されます。ポート | |
| | ネームを除いたすべてのアドミニストレーター | ・の設定(アクセス可能ポート、クイ | |
| | ックビュー対象ポート等)は、この変更が影響 | 『するすべてのコンピュータに対し | |
| | て手動で更新する必要があります。 | | |
| SET | KVM スイッチに接続されているコンピュー | タの OS の種類を設定します。 | |
| OPERATING | [Space] キーを押すとPC、Mac、Sun等OSの |)候補が切り替わります。 すべての | |
| SYSTEM | 設定が終わったら、[Esc]キーを押してください | い。 デフォルトは PC です。 | |
| | | | |
| | 注意: Sun や Mac のコンピュータをお使い | の場合、コンピュータをスイッチに | |
| | 接続する前に KH1508i/KH1516i 側でこの詞 | 設定を正しく行わないと、起動しな | |
| | い場合があります。 | | |
| SET CAT 5 | KVM スイッチとコンピュータモジュール間の接続で使用するカテゴリ5 ケーブ | | |
| LENGTH | ルの長さを設定します。[Space] キーを押すと以下の値を切り替えて選択する | | |
| | ことができます。 | | |
| | S :Short (25m 以下のケーブル) | | |
| | M : Medium (20~40m のケーブル) | | |
| | L:Long (35m 以上のケーブル) | | |
| | 選択された S、M、L の値は、ポートの横に表 | 示されます。 | |
| SET | 各ポートに接続されたコンピュータで使用するキーボードの言語の設定を行い | | |
| KEYBOARD | ます。[Space] キーを押して言語の候補を切り替えて、該当の言語を選択して | | |
| LANGUAGE | ください。以下の言語の選択が可能です。 | | |
| | English(US) : 英語(アメリカ) | English(UK): 英語(イギリス) | |
| | French : フランス | German : ドイツ語 | |
| | Japanese : 日本語 | Korean : 韓国語 | |
| | Traditional Chinese : 中国語(繁体字) | Spanish : スペイン語 | |
| | デフォルトは English(US)です。 | | |

(表は次ページに続きます)

(F4 ADM の続き)

| 設定 | 機 | 能 |
|----------|----------------------------|----------------------------|
| FIRMWARE | KH1508i/KH1516iのファームウェアをア | ップグレードする場合(詳細は p.67 の |
| UPGRADE | 「ファームウェアのアップグレード」を参照 |)は、この項目であらかじめファームウ |
| | ェアアップグレードモードにしておいてく† | ごさい。 |
| | このメニューを起動すると、現在お使いの | のファームウェアのバージョン情報が |
| | 表示されます。ファームウェアアップグレ | ~ードモードを有効にする場合は [Y] |
| | を、ファームウェアアップグレードモードを | 有効にせずメニューを終了する場合 |
| | は [N] をそれぞれ押してください。 | |
| ADAPTER | コンピュータモジュールのファームウェア | |
| UPGRADE | ンピュータモジュールのファームウェアア | ップグレード」参照)を行う場合、この |
| | 項目であらかじめファームウェアアップク | ゛レードモードにしておいてください。 |
| | [Space] キーを押してファームウェアをア | ップグレードの対象となるコンピュー |
| | タモジュールを選択してください。 | |
| | コンピュータモジュールが選択されると、 | 現在のファームウェアのバージョンが |
| | 表示されます。ファームウェアアップグレ | ~ードモードを有効にする場合は [Y] |
| | を、ファームウェアアップグレードモードを | 有効にせずメニューを終了する場合 |
| | は[N]をそれぞれ押してください。 | |

F5 SKP

この機能によって、現在表示しているポートから、前後の利用可能なコンピュータのポートに簡単にスキップすることができます。

- ◆ スキップモード切替が利用できるコンピュータの選択は、「F3 SET」の機能におけるスキャン/スキ ップモードで行うことができます。(p. 52 をご参照ください。)
- ◆ スキップモードでは以下のキーで操作を行います。
 - ← 現在のポートから、リスト内の1つ前のポートにスキップします。
 - → 現在のポートから、リスト内の1つ後のポートにスキップします。
 - 現在のポートから、リスト内の1つ前のステーションにある最後のポートにスキップ ↓ します。
 - 現在のポートから、リスト内の1つ後のステーションにある最初のポートにスキップします。

注意: スキップする際は、スキャン/スキップモード(p.52 参照)の選択できる前後のコン ピュータにしかスキップできません。

- ◆ ポートがスキャン/スキップモードで選択されている場合、三角の印(▲▼)が選択されたポートが ポートIDの表示よりも先に選択状態になります。
- ◆ スキップモードが有効な場合、コンソールが正常に機能しませんので、コンソールから操作したい場合は、スキップモードを終了する必要があります。
- ◆ スキップモードを終了する際には、[Space]キー、または[Esc]キーを押してください。

F6 IP

この機能では KH1508i/KH1516i に動的 IP アドレス (DHCP)を割り当てるか、静的 IP アドレスを設定するかを選択することができます。[Enter]キーを押して、この 2 つの選択内容を切り替えてください。

DHCP の割り当てを無効にした場合は、IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイの内容を 該当フィールドに設定してください。

設定が完了したら[Esc]キーを押してください。

F7 SCAN

オートスキャンモードは[F7]キーを押すことで開始します。このスキャン機能では手動で切り替え作 業をすることなく、稼動中のコンピュータを一定の間隔で自動的に切り替え、監視することができま す。

- ◆ オートスキャン時に表示するコンピュータは、スキャンモード設定の「F3 SET」(詳細は、p.51 参照)で選択します。
- ◆ それぞれのポートを表示する時間間隔の設定は、「F3 SET」の「SCAN DURATION」(詳細は、 p.113 参照)で行います。スキャンをあるポートで停止したい場合は[Space] キーを押して、オー トスキャンモードを終了してください。
- ◆ スキャン中のポートにコンピュータが接続されていない、あるいは、ポートに接続されているコン ピュータに電源が入っていない場合は、モニタに何も表示されず、マウスやキーボードの入力 にも反応しません。「SCAN DURATION」で設定された時間の経過後、オートスキャンは次のポ ートに切り替わりますので、しばらくお待ちください。
- ◆ オートスキャンモード中にアクセスされているポートは、画面上のポート ID の前に**[S]**マークが表示されています。
- ◆ オートスキャンモードが有効になっていると、コンソールは正常に機能しませんので、コンソール を使用する場合はオートスキャンモードを終了してください。
- ◆ 任意のポート表示で一時停止したい場合は、[P]キーを押してください。詳細は p.63 のオートス キャンの実行をご参照ください。
- ◆ オートスキャンモードの解除は[Space] キーもしくは[Esc]キーを押してください。

F8 LOUT

[F8]キーを押すことで、OSD からログアウトし、コンソール画面表示が消えます。これは OSD メイン メニューを表示している間に[Esc]キーを押し、OSD を閉じる操作とは異なります。すなわち、[Esc]キ ーを押した場合は、OSD ホットキーを入力するだけ OSD にアクセスできるのに対し、OSD からログア ウトしたあとで再アクセスする場合は、KVM スイッチへのログインから操作をやり直さなければならな いということです。

| 注意: | 1. | OSD からログアウト後に再び OSD を表示すると、OSD メインメニュー以外は |
|-----|----|---|
| | | ブランク画面が表示されますので、操作を続けたい場合はユーザーネーム |
| | | とパスワードを入力する必要があります。 |
| | 2. | ログアウト後に再びKVMスイッチヘログインして OSDを表示し、メニューから |
| | | ポートを選択しない状態で[Esc]キーで OSD を閉じると、ポートが選択されて |
| | | いない状態になり、画面には Null Port 無効ポートメッセージが表示されま |
| | | す。このとき OSD 起動ホットキーによって OSD 画面を表示することができま |
| | | す。 |

キーボードによるポート操作

概要

OSD メニューに加え、KH1508i/KH1516i ではホットキーによるポート操作に対応しています。

ホットキーによるポートアクセスによって、切り替えたいコンピュータのコンソールをキーボードから 直接選択することができます。KH1508i/KH1516iのホットキーによるポートアクセスには以下の特長 があります。

- ◆ アクティブなポートの選択が可能
- ◆ オートスキャン機能搭載
- ◆ スキップモードによるポート切替
- ◆ ビープ音によってポート切替を通知

ホットキーモードの起動

すべてのホットキー操作の前には、ホットキーモード(HKM)を起動する必要があります。HKM モードは、以下の手順に従って起動してください。

- 1. [Num Lock]キーを押します。
- 2. [Num Lock]キーを押したまま、[-]キーを押して離します。
- 3. [Num Lock]キーを離します。

この操作は [Num Lock] + [-]; と表記されます。

注意: 入力したマイナスキーは0.5秒以内にすばやく離してください。入力にそれ以上の時間がかかると、操作は無効になり、ホットキーモードの起動がキャンセルされます。

ホットキーモード有効時における動作および操作方法

- ◆ Caps Lock、Scroll Lock の各 LED が交互に点滅します。ホットキーモードを終了すると、LED が 点滅しなくなり、通常の状態に戻ります。
- ◆ コマンドプロンプトが青色の背景に黄色い文字で画面上に表示され、入力したホットキーに関 連する情報が表示されます。
- ◆ 通常のキーボードやマウスの機能がサスペンドされ、ホットキーで予約されている入力と、マウスのクリックしか受け付けなくなります。(次のセクションをご参照ください)
- ◆ ホットキーモードを終了するには、[Esc]キーを入力してください。

アクティブポートの選択

各コンピュータ側ポートにはユニークなポートIDが割り当てられます。(p.44の「ポートIDの番号割り当て」参照)コンピュータが接続しているコンピュータ側ポートのポートIDを指定するホットキーの組み合わせによって、KH1508i/KH1516iに接続されているコンピュータに直接アクセスすることが可能です。

以下の手順でアクティブポートを選択してください。

- 1. ホットキーモードを起動します。(詳細は p.60 を参照してください)
- 2. ポート ID を入力します。

入力されたポートIDはコマンドプロンプトに表示されます。入力し間違えた場合は、[Backspace] キーで入力内容を削除し、正しい内容を入力しなおしてください。

| 注意: | 1. | ポートID はハイフンを含めず数字だけを入力してください。 |
|-----|----|-------------------------------------|
| | 2. | 現在のステーションに接続されているポートに切り替える場合は、ポート番号 |
| | | だけを入力してください。この場合は、ステーション番号を入力する必要はあ |
| | | りません。 |

3. **[Enter]**キーを押します。

[Enter]キーを押すと、選択されたコンピュータに KVM スイッチのフォーカスが移り、ホットキーモードは自動的に終了します。

オートスキャン機能

オートスキャン機能を使うと、設定された間隔で、現在ログインしているユーザーがアクセス可能で、 かつ稼働中のコンピュータのポートに自動的に切り替えます。(アクセス可能なポートに関する詳細 情報は、p.52のOSDの「F3 SET」機能にある「SCAN/SKIP MODE」の項目をご参照ください。)

スキャンインターバルの設定

オートスキャンが各ポートを表示する時間は、OSD の「F3 SET」機能(p.51 参照)スキャンインター バルの設定によって決まります。このインターバルはホットキーオートスキャンの前に必要に応じて設 定することができます。手順は以下のとおりです。

- 1. ホットキーモードを起動します。(p.60参照)
- [T][n]キーを入力します。
 [T]はキーボードの[T]キーを、[n]は各ポートを表示する秒数(1~255 秒)をそれぞれ表します。
 [T]キー入力後、表示秒数を入力するとコマンドラインに入力内容が表示されます。入力内容を 変更したい場合は[Backspace]キーで修正してください。
- [Enter]キーを入力します。
 [Enter]キーを入力すると、自動的にホットキーモードを終了し、オートスキャンを起動することができます。

オートスキャンの起動方法

オートスキャンを起動するには、以下の手順でホットキーを使用します。

- 1. ホットキーモードを起動します。(p.60を参照)
- 2. [A]キーを入力します。

オートスキャンモードが起動すると、自動的にホットキーモードが終了します。

- ◆ オートスキャンモードでは、[P]を入力またはマウスを左クリックすることで、スキャンを一時 停止し、特定のコンピュータを選択状態にすることが可能です。オートスキャンが一時停止 されている間はコマンドプロンプトに「Auto Scan: Paused」と表示されます。
 - 特定のコンピュータを選択する際には、オートスキャンモードを終了し再開するのではなく、一時停止機能をご利用になる方が便利です。(一時停止した場合、前回終了したポートからスキャンを再開できるため)
 - 一方、オートスキャンモードを終了したあとでスキャンを再び開始すると、 KH1508i/KH1516i に接続されている一台目のコンピュータからスキャンをやり直します。
- ◆ オートスキャンモードを実行中の場合、通常のキーボードやマウスの機能がサスペンドされ、 ホットキーで予約されている入力と、マウスのクリックしか受け付けなくなります。コンソール の通常機能をご利用になりたい場合は、オートスキャンモードを終了する必要があります。
- 3. [Esc]キー、または[Space]キーを押してオートスキャンモードを終了してください。オートスキャン モードの終了と同時にオートスキャンも終了します。

スキップモード

このスキップモード機能によって、選択されているポートを手動で切り替えてモニタリングすること が可能です。オートスキャンモードは一定の時間が経過するとポートが自動的に切り替わるのに対し、 スキップモードは簡単なキー操作により、ユーザーの任意のタイミングであらかじめ設定されたポート のみを切り替えていくことができます。

スキップモードを使用するには、下記の操作を行ってください。

- 1. ホットキーモードを起動します。(p.60 参照)
- 2. カーソルキーを入力します。

↑

◆ カーソルキーは上下左右の各矢印キーを示します。カーソルキーを使用すると、自動的に ホットキーモードが自動的に終了し、以下のようにスキップモードを開始し、ポートの選択が 可能になります。

> 現在選択中のポートから、アクセス可能なコンピュータのうち現在のポ ートの直前にあるものにジャンプします。(アクセス可能なポートの説 明に関しては p.52 の「SCAN/SKIP MODE」の欄をご参照ください。)

> 現在選択中のポートから、アクセス可能なコンピュータのうち現在のポ
> → ートの直後にあるものにスキップします。

現在選択中のポートから、前の KVM ステーションに接続されているア クセス可能なコンピュータの中で一番後ろのポートにスキップします。 現在選択されているのが1台目の KVM ステーションの場合は、最後 の KVM ステーションの最後のポートにスキップします。

現在選択中のポートから、次の KVM ステーションに接続されているア クセス可能なコンピュータの中で一番前のポートにスキップします。現 在選択されているのが最後の KVM ステーションの場合は、1台目の KVM ステーションの最初のポートにスキップします。

- ◆ スキップモードを開始すると、カーソルキーを長押しすることで順番にアクセス可能なポート にスキップしていきますので、その都度ホットキーを起動する必要がありません。
- ◆ スキップモードを実行中の場合、通常のキーボードやマウスの機能がサスペンドされ、ホットキーで予約されている入力と、マウスのクリックしか受け付けなくなります。コンソールの通常機能をご利用になりたい場合は、スキップモードを終了する必要があります。
- 3. [Esc]キー、または[Space]キーを押してスキップモードを終了してください。

ホットキーによるビープ音設定

ビープ音は専用ホットキーでオン/オフの切り替えが可能です。(p.53の「ACTIVATE BEEPER」の 欄をご参照ください)ビープ音が有効になっている場合、KH1508i/KH1516i はポートの切替時にビ ープ音を発します。以下のホットキーでビープ音を調節してください。

1. ホットキーモードを起動します。(p.60参照)

2. **[B]**キーを押します。

[B]キーを押すと、ビープ音のオン/オフが切り替わります。また、コマンドプロンプトにはビープ音 がオンの場合には「Beeper On」、オフの場合には「Beeper Off」がそれぞれ1秒間画面上に表示され、 メッセージが消えるとホットキーモードも自動的に終了します。

ホットキー一覧

以下の表は KH1508i/KH1516i におけるホットキー操作の一覧です。

| ホットキー | | 機能 |
|------------------|------------------|-------------------------------|
| [Num Lock] + [-] | [Port ID][Enter] | 該当するポート ID に接続しているコンピュータを選択しま |
| | | す。 |
| | [T][n][Enter] | オートスキャンの時間間隔を n 秒に設定します。秒数(n) |
| | | は 0~255 の範囲で設定してください。 |
| | [A] | オートスキャンモードを起動します。 |
| | | オートスキャンモードが有効になっているときに、[P]キー |
| | | を押すとオートスキャンを一時停止します。 |
| | | また、オートスキャンの一時停止中に任意のキーを押す |
| | | と、オートスキャンを再開します。 |
| | [←] | スキップモードを開始し、現在選択中のポートの一つ前に |
| | | あるアクセス可能なポートにスキップします。 |
| | $[\rightarrow]$ | スキップモードを開始し、現在選択中のポートの一つ後に |
| | | あるアクセス可能なポートにスキップします。 |
| | [1] | スキップモードを開始し、一つ前のステーションにある最 |
| | | 後にアクセス可能なポートにスキップします。 |
| | [↓] | スキップモードを開始し、一つ後ろのステーションにある |
| | | 最初にアクセス可能なポートにスキップします。 |
| | [B] | ビープ音のオン/オフを切り替えます。 |

ファームウェアのアップグレード

KH1508i/KH1516iのファームウェアのアップグレード

KH1508i/KH1516i のファームウェア改訂版も他製品と同様、ファームウェアアップグレードパッケ ージとして弊社 Web サイトから提供しております。Windows ベースのファームウェアアップグレードユ ーティリティ(FWUpgrade.exe)を使用し、KVM スイッチのファームウェアを簡単に自動アップグレード できます。最新のファームウェアは ATEN Web サイトで公開しておりますので、定期的にダウンロード サイトをご覧頂きますようお願い致します。

http://www.aten.com/download/download.php

ここではローカルコンソールでの KH1508i/KH1516i のファームウェアのアップグレード方法につい て説明します。ブラウザを利用したファームウェアのアップグレード方法については p.84 をご参照く ださい。

注意: ローカルファームウェアアップグレードを行う場合は、ブラウザファームウェアア ップグレードも必ず行う必要があります。

作業をはじめる前に

ファームウェアアップグレードをはじめる前に下記のように準備してください。

- 1. KH1508i/KH1516iに接続されていないコンピュータで弊社 Web ダウンロードサイトにアクセスし、 型番のリストから KH1508i/KH1516iを選択してください。
- アップグレードしたいバージョンのパッケージを選択し、コンピュータにダウンロードしてください。
 (最新版のダウンロードを推奨します)
- 3. 製品同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、KH1508i/KH1516i 側ファームウェ アアップグレードポートと、ファームウェアパッケージを保存したコンピュータ側 COM ポートを接 続してください。



注意: デイジーチェーン接続をしている場合は、KH1508i/KH1516iに接続されている ステーションにもデイジーチェーン専用ケーブルを通じて自動的に更新データ が転送されます。

- 4. KVM スイッチに接続されているすべてのコンピュータ(ただし、デイジーチェーン接続されているスイッチを除く)をシャットダウンしてください。
- 5. KH1508i/KH1516iからOSD(p.45参照)を起動し、「F4 ADM」機能を選択します。
- 下にスクロールして、「FIRMWARE UPGRADE」メニューを選択し、[Enter]キーを押し、その後 [Y]を押してファームウェアアップグレードモードを起動します。(p.56 参照)ファームウェアアップ グレードモードが起動されると、現在お使いのファームウェアのバージョンが表示されます。

アップグレード開始

ファームウェアのアップグレードは、下記の手順で行ってください。

 KH1508i/KH1516i をファームウェアアップグレードモードにして、ダウンロードされたファームウ ェアアップグレードパッケージを実行してください。 - 保存したファイルのアイコンをダブルクリ ック、もしくコマンドラインからファイルパスを入力して実行してください。
 「Welcome Firmware Upgrade Utility」の画面が表示されます。

| 🕼 Firmware Upginde Utility 🔀 |
|--|
| Welcome to Firmwire Upgrade Utility. |
| Put your device into Firmware Upgrade Mode; connect its Firmware Upgrade Port to your competer with the Firmware Upgrade Cable, or via Ethernet; sgree to the License Agreement; Then Click Next. |
| LICENSE AGREEMENT |
| LICENSE GRANT |
| ATEN International Co., Ltd. ("Licensor") grants to you a non-exclusive, non-transferable license to access and use FERMWARE UPGRADE UTILITY (the 'Product') during the "Term" set forth below. You may install the Product on a hard disk or other storage device; install and use the Product on a file server for use on a network for the purposes of G) permanant installation catch hard disks or other storage devices or (ii) use of the Product over such network; and make backup copies of the Product. |
| RESTRICTIONS |
| You agree not to modify, adapt, translate, revense engineer, recompile, disassemble or otherwise attempt to discover the source code of the Product, or create derivative works based on the Product, or remove any proprietary notices or labels on the Product, including copyright, tademark or patent pending notices. You may not rublicense the Product or otherwise allow others to use the Product licensed to you. |
| |
| Help About Cancel |

- 2. 使用許諾契約書を読み、同意してください(「I Agree」をチェックすることで同意)。
- 3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が 表示されます。

| 🔐 Firmware Upgrade Uti | ity | X |
|--|---|---|
| If Check Firmware Version i files. If the device's version i checked, the utility performs Click Next to begin. | s checked, the utility compares the device's firmware level with the upgrade snower, the utility lats you decide whether to continue or not. If it is not the upgrade directly. | |
| Device List: | Status Messages: | |
| MAIN: 001-001 102: 001-003 | > Lording & testing files > Lording & testing files: OK | |
| - Device Description → Check Firmware Yereirn | Progress | |
| | | |
| Help View Log Cancel | | |

ユーティリティは接続先を調査し、パッケージからアップグレード可能なデバイスリストを 表示します。

- 4. 「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。
 - ◆「Check Firmware Version」のチェックボックスをオンにすると、ユーティリティはデバイスの ファームウェアのレベルとアップグレードファイルの比較を行います。もし、デバイスにイン ストールされているバージョンがアップグレードファイルのバージョンより新しい場合は、下 記のダイアログが表示され、アップグレードを継続するかどうか選択できます。

| Warning | |
|---------|---|
| 2 | The firmware (Ver 3.2.312) is not newer than current firmware (Ver 3.2.312) in device MAIN : 001-001 Continue the upgrade? (Yes/No) |
| | |

チェックボックスがオフの場合、ユーティリティはファームウェアのバージョンを確認せずア ップグレードファイルをインストールします。

- ◆ アップグレード進捗状況を表すメッセージがメッセージパネルに、また、進行状況がプログレスバーに表示されます。
- ◆ アップグレード処理を中断する場合は、「Cancel」ボタンをクリックしてください。

アップグレードを中断すると、「ここで処理を中断すると、デバイスのファームウェアが失われる おそれがあります。」という警告ダイアログが表示されますが、ここでアップグレード操作の続行 または中止を選択することができます。

ファームウェアの回復については、p.72 の「ファームウェアアップグレードリカバリー」をご参照 ください。

アップグレード成功

アップグレードが完了した後、画面表示にてアップグレードが成功したことが表示されます。

| 📑 Firmware Upgrade Util | ity | X |
|---------------------------------|--|--------|
| The Firmware upgrade was s | uccessful. | |
| Device List: | Status Messages: | |
| MAIN :001-001 102 : 001-003 | > Loading & testing files > Loading & testing files: OK > Searching for devices > Preparing firmware upgrade > Pirmware version is not newer than device MAIN : 001-001 > Firmware version is not newer than device IO2 : 001-003 > Preparing firmware upgrade: OK > Upgrading device MAIN : 001-001 > Upgrading device MAIN : 001-001 > Upgrading device IO2 : 001-003 > Upgrading device IO2 : 001-003 > Upgrading device IO2 : 001-003 | |
| Device Description | | > |
| Check Firmware Version Progress | | |
| Help View Lo | < Back Finish | Cancel |

「Finish」ボタンをクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを閉じてください。

アップグレード失敗

ファームウェアのアップグレードが失敗した場合、以下のダイアログが表示され、アップグレード作業を再試行するかどうかをダイアログから選択できます。再試行する場合は「Yes」をクリックしてください。「No」をクリックすると、アップグレード失敗画面が表示されます。

| 🚆 Firmware Upgrade Uti | ity | × |
|---|--|---|
| The Firmware upgrade failed Click Cancel to close the util | ity, then try again. | |
| Device List: | Status Messages: | |
| MAIN: 001-001 IO2:001-003 | Loading & testing files Loading & testing files: OK Searching for devices Preparing formware upgrade Firmware version is not newer than device MAIN : 001-001 Firmware version is not newer than device IO2 : 001-003 Preparing firmware upgrade: OK Upgrading device MAIN : 001-001 Upgrading device MAIN : 001-001 Upgrading device IO2 : 001-003 | |
| Device Description | | |
| | | > |
| Check Firmware Version | Progress | |
| Help View Lo | < Back Finish Cancel | |

「Cancel」ボタンをクリックし、ダイアログを閉じ、次の項に従ってファームウェアアップグレードリカバ リーを実行してください。

ファームウェアアップグレードリカバリー

ファームウェアアップグレードリカバリーが必要となるケースとして、以下の4つが挙げられます。

- 1. ファームウェアアップグレード作業が電源供給やネットワークトラブルの影響で中断された。
- 2. ファームウェアが何らかの理由で壊れ、操作できなくなった。
- 3. ファームウェアアップグレードモード(詳細は p.56 の「FIRMWARE UPGRADE」を参照)を起動したが、アップグレード操作を行わなかった。
- 4. ファームウェアアップグレード処理が失敗した。

ファームウェアアップグレードリカバリーを実行する場合、下記をご参照ください。

- 1. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチ(p.29 参照)を「**RECOVER**」の位置に切り替えて ください。
- 2. 「シャットダウンと再起動」(p.44参照)に記載されている指示に従って、KH1508i/KH1516iの電源を切ってから再起動してください。
- 3. p.68 の「アップグレード開始」に記載されているアップグレード手順を繰り返してください。
- 4. アップグレード作業が完了したら、スイッチの電源を切ってください。
- 5. 「ファームウェアアップグレードリカバリースイッチ」を「NORMAL」の位置に戻してください。
- 6. 2の手順を繰り返してください。

| 注意: | 1. | 上記のケース1に関して、IPモジュールのアップデートに失敗すると、場合 |
|-----|----|--|
| | | によっては、特別な方法で回復作業を行う必要があります。作業の詳細に |
| | | ついては p.200 の「IP モジュールのファームウェアアップグレードリカバリ |
| | | ー」をご覧ください。 |
| | 2. | KH1508i/KH1516iにデイジーチェーン接続されている子機がファームウェ |
| | | アアップグレードに失敗した際は、ケーブルをはずして個別に回復処理と |
| | | アップグレード処理を行ってください。この機器のファームウェアのアップ |
| | | グレードを再試行し成功したら、元のデイジーチェーン接続に戻してくださ |
| | | <i>د</i> ر. |
コンピュータモジュールのファームウェアアップグレード

KH1508i/KH1516i 対応コンピュータモジュールのファームウェアもアップグレードすることができま す。これらの製品のファームウェアの最新版も他製品のファームウェアと同様、弊社 Web サイトからダ ウンロードして、ご利用いただくことができます。

製品に関する最新情報や最新版のファームウェアは ATEN Web サイトで公開しておりますので、 定期的に弊社 Web サイトをご覧頂きますようお願い致します。 http://www.aten.com/download/download.php

作業をはじめる前に

コンピュータモジュールのファームウェアをアップグレードする前に、以下の作業を行ってください。

- 1. KH1508i/KH1516iに接続されていないコンピュータで弊社 Web ダウンロードサイトにアクセスし、 型番のリストから該当コンピュータモジュールに対応するものを選択してください。
- アップグレードしたいバージョンのパッケージを選択し、コンピュータにダウンロードしてください。
 (最新版のダウンロードを推奨します)

| 注意: | コンピュータモジュールを対象としたアップグレードファイルは型番別に分かれ |
|-----|---------------------------------------|
| | ておりません。どのモジュールをお使いであっても、同じファイルでファームウェ |
| | アをアップグレードします。 |

- 3. 製品同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、KH1508i/KH1516i 側ファームウェ アアップグレードポートと、ファームウェアパッケージを保存したコンピュータ側 COM ポートを接 続してください。
- 4. KVM スイッチに接続されているすべてのコンピュータ(ただし、デイジーチェーン接続されてい るスイッチを除く)をシャットダウンしてください。
- 5. KH1508i/KH1516iからOSD(p.45参照)を起動し、「F4 ADM」機能を選択します。
- 6. 下にスクロールして、「ADAPTER UPGRADE」メニューを選択し、[Enter]キーを押します。
- 7. 画面が表示されたら、[Y]を押してファームウェアアップグレードモードを起動します。

- 注意: 1. このとき、コンピュータモジュールの接続を促すメッセージが表示されますが、ファームウェアのアップグレードは、コンピュータモジュールと KVM スイッ チに接続されているカテゴリ5ケーブル経由で行われますので、ファームウェ アアップグレード専用のケーブルを別途接続する必要はございません。アッ プグレード対象となるコンピュータモジュールがすべて接続されている場合、 このメッセージは読み飛ばしていただいてかまいません。
 - シングルアップグレードセッションでは、接続されているすべてのコンピュータ モジュールのファームウェアがアップグレードされます。

アップグレード開始

以下の手順でコンピュータモジュールのアップグレード作業を行ってください。

- KH1508i/KH1516i をファームウェアアップグレードモードにして、ダウンロードされたモジュール のファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。 - 保存したファイルのアイコン をダブルクリック、もしくコマンドラインからファイルパスを入力して実行してください。 「Welcome Firmware Upgrade Utility」の画面が表示されます。(p.68 参照)
- 2. 使用許諾契約書を読み、同意し(「I Agree」をチェックすることで同意)、「**Next**(次へ)」ボタンを クリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

| 🚟 Firmware Upgrade Uhi | ity | X |
|---|---|---|
| If Check Finnwers Version i files. If the device's version is checked, the utility performs Click Next to begin. | e checked, the utility compares the device's firmware level with the upgrade snewer, the utility lets you decide whether to continue or not. If it is not the upgrade directly. | |
| Device List: | Status Messages: | |
| IKA-9570 7001-001 | > Loading & testing files > Loading & testing files: OK > Searching for devices | |
| Device Description | Pmenex . | |
| | | |
| Help View Log Cancel | | |

ユーティリティがお使いの構成を自動検出し、該当パッケージでアップグレード可能なコンピュ ータモジュールが「Device List」パネルに一覧表示されます。 デバイスのリスト表示が終わったら、「Next」をクリックし、アップグレードを実行します。「Check Firmware Version」のチェックボックスをオンにすると、ユーティリティはデバイスのファームウェア のレベルとアップグレードファイルの比較を行います。もし、デバイスにインストールされているバ ージョンがアップグレードファイルのバージョンより新しい場合は、アップグレードを継続するかど うか選択するダイアログが表示されます。

チェックボックスがオフの場合、ユーティリティはファームウェアのバージョンを確認せずアップグ レードファイルをインストールします。

アップグレード進捗状況を表すメッセージがメッセージパネルに、また、進行状況がプログレス バーに表示されます。

アップグレード成功

アップグレードが完了した後、画面表示にてアップグレードが成功したことが表示されます。

| Firmware Upgrade Utility | | | |
|--|--|---|--|
| The Finnware upgrade was su Click Finish to close the utility | rccesaful. r. | | |
| Device List | Status Messages: | | |
| KA-9570 : 001-002 | > Loading & testing files > Loading & testing files: OK > Searching for devices > Proparing firmware upgrade > Firmware version is not never than device KA-9570 : 001-002 > Preparing firmware upgrade: OK > Upgrading device KA-9570 : 001-002 > Upgrading device KA-9570 : 001-002 > Upgrading device KA-9570 : 001-002 > Firmware upgrade: OK | | |
| Device Description | | | |
| | | > | |
| Check Finnware Version Progress | | | |
| Help View Lo | g Sook Fruish Cencel | | |

「Finish」(完了)をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを閉じてください。

注意: アップグレードが終了すると、KH1508i/KH1516iが再起動します。

コンピュータモジュールのファームウェアアップグレードリカバリー

ファームウェアアップグレードリカバリーが必要となるケースとして、以下の4つが挙げられます。

- ◆ ファームウェアが何らかの理由で壊れ、操作できなくなった。
- ◆ ファームウェアアップグレードモードを起動(p.56 の「ADAPTER UPGRADE」を参照)したが、ア ップグレード操作を行わなかった。
- ◆ ファームウェアアップグレード処理が中断された。
- ◆ ファームウェアアップグレード処理が失敗した。

ファームウェアアップグレードリカバリーを実行する場合、下記をご参照ください。

- 1. コンピュータからコンピュータモジュールをはずしてください。
- 2. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを「RECOVER」の位置に切り替えてください。
- 3. コンピュータにコンピュータモジュールを接続してください。
- 4. KH1508i/KH1516iからOSD(p.45 参照)を起動し、「F4 ADM」機能を選択してください。
- 5. 下にスクロールして、「ADAPTER UPGRADE」を選択し、[Enter]を押します。
- 6. [Y]を押して、アップグレードモードを起動します。
- 7. p.74から記載されているアップグレードの実行の内容にしたがって、ファームウェアのアップグレードを実行してください。
- 8. アップグレードが完了し、KH1508i/KH1516i が再起動したら、お使いのコンピュータからコンピ ュータモジュールをはずして、ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを「NORMAL」の 位置に切り替えてください。
- 9. コンピュータモジュールをコンピュータに接続しなおします。

これで、コンピュータモジュールのファームウェアアップグレードリカバリー操作は完了です。

第5章 ブラウザログイン

概要

KH1508i/KH1516i は、TCP/IP ネットワーク経由で KVM スイッチに接続されたサーバの画面を表示し、リモート操作することができます。リモート操作を行う場合は、ネットワークに接続されたコンピュ ータで Web ブラウザを実行し、KH1508i/KH1516i にログインします。

ログイン

Web ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのログインは以下の手順で操作してください。

1. Web ブラウザを開き、アドレスバーに KH1508i/KH1516iの IP アドレスを入力します。

| 注意: | IP アドレスがご不明の場合は、お使いの KH1508i/KH1516iの管理者にお問い |
|-----|--|
| | 合わせください。 |

- 2. 「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されたら、証明書を許可してください。この証明 書は信頼できるものです。(「信頼された証明書」の詳細に関しては p.194 を参照)
- 3. 認証が完了すると、以下のようなログインページが表示されます。

| KH1508i Login | |
|---------------|--|
| Username: | |
| Password: | |
| Login Reset | |

4. KH1508i/KH1516iの管理者に設定された正しいユーザーネームとパスワード(p.93 の「User Management メニュー」参照)を入力し、「Login」ボタンを押して操作を続けてください。

| 注意: | 1. | ログインユーザーネームやパスワードが無効な場合、「Invalid Username or |
|-----|----|--|
| | | Password. Please try again.」というメッセージが表示されます。 |
| | | ログインの回数が、管理者が設定したログイン再試行回数を超えると、 |
| | | 「The page cannot be displayed」というメッセージが表示されますが、これは |
| | | 悪意のあるユーザーが有効なユーザーネームとパスワードを検出するのを |
| | | 防ぐためです。このメッセージが表示されたら、ユーザーネームとパスワー |
| | | ドに誤りがないことを確認して再度ログインを行ってください。 |
| | 2. | アドミニストレーターとして KH1508i/KH1516i に最初にログインする場合 |
| | | は、以下のデフォルトユーザーネームとパスワードを使用してください。 |
| | | デフォルトユーザーネーム: administrator |
| | | デフォルトパスワード:password |
| | | セキュリティ上の問題を避けるためにも、お客様はデフォルトの設定を変更 |
| | | して固有のユーザーネームとパスワードを設定されることを強く推奨しま |
| | | す。(p.93「User Management メニュー」参照) |

| ALTUSEN | Q | Q | <u>0</u> | |
|--|---|------------------------|----------|------------------------|
| | | Serv. | | Lagest |
| | | | | - International Action |
| The second s | | - | | |
| Windows Diend | | Device Rome | | |
| Java Client | | HAC Address | | |
| Windows Client | | 10.10-24 (3-24 64 | | |
| | | Firmware Version | | |
| Java Chent | | Betwork Transfer Rate: | | |
| Log Server | | 111110 | 12(26 | |
| PON | | F Reset in ext | | |
| | | | | |
| Concession of the | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

ログインが完了すると、KH1508i/KH1516iの Web ページの General メニューが表示されます。

| 注意: | このメニューは、ページ上部の「General」アイコンをクリックした際に表示されるものと |
|-----|--|
| | 同じです。 |

Web メニューのレイアウト

General メニュー

General メニューの各項目に関する説明は以下のとおりです。

| 項目 | 用途 |
|--------------------------|--|
| Device Name | 各スイッチに名前をつけることができるため、複数の KVM スイッチ |
| | を導入された環境においても簡単にデバイスを管理することができ |
| | ます。この欄には管理者によって設定されたデバイスネームが表示 |
| | されます。 |
| MAC Address | KH1508i/KH1516iの MAC アドレスがこの欄に表示されます。 |
| Firmware Version | KH1508i/KH1516i に現在インストールされているファームウェアの |
| | バージョンが表示されます。ファームウェアの最新版は弊社 Web サ |
| | イトからダウンロードすることができます。Web ブラウザによるファー |
| | ムウェアのアップグレード方法の詳細については p.84 をご参照くだ |
| | さい。 |
| Network Transfer Rate | 現在選択されているデータ転送速度が表示されます。ネットワーク |
| | 転送速度は管理者によって選択することが可能です。詳細はp.100 |
| | の「Network Transfer Rate」をご参照ください。 |
| Reset on exit | KH1508i/KH1516iの OSD で変更した設定の内容を保存する場合 |
| | は、KH1508i/KH1516i に設定内容を反映するためにこの項目にチ |
| | ェックを入れてからログアウトしてください。 |
| | 注意:この項目はアドミニストレーター権限のあるユーザーのみ有 |
| | 効な機能です。 |
| Last IP from DHCP server | KH1508i/KH1516i に現在設定されている IP アドレスが表示されま |
| | す。 |

Web メニューのアイコン

その他のWebページ上部におけるアイコンから提供される各メニューに関する詳細は以下のとおりです。

| アイコン | 機能 |
|----------|---|
| Sync | Sync:KH1508i/KH1516i とお使いのコンピュータ(リモート操作を行 っているオペレータのコンピュータ)の時刻を同期させます。 |
| | Firmware:KH1508i/KH1516i の新しいバージョンのファームウェア |
| | をインストールする場合は、このアイコンをクリックしてください。詳細 |
| - | に関しては、p.84に記載されているWebブラウザ使用時のファーム |
| | ウェアのアップグレードの方法をご参照ください。 |
| Firmware | 注意:このアイコンはアドミニストレーター権限を持つユーザーのみ |
| | に表示されます。それ以外のユーザーがログインしても、Web メニュ |
| | ーには表示されません。 |
| | Logout:KH1508i/KH1516i のセッションを終了する場合は、必ずこ |
| | のアイコンをクリックしてログアウトしてください。ログアウトせずにブ |
| | ラウザを閉じてしまった場合、再度ログイン可能になるまでに、数分 |
| Logout | ほど前回のログインのタイムアウトを待つ必要があります。 |

Webページのボタン

Web ページ左側に表示されている各ボタンに関する詳細は以下のとおりです。

| アイコン | 用途 |
|----------------|--|
| | KH1508i/KH1516i をリモートから操作する場合は、このボタンをクリ |
| | ックして Windows クライアントをダウンロードしてください。 |
| | |
| Window Climate | 注意:このアイコンでダウンロードする Windows クライアントは1セッ |
| Windows Client | ション限りの操作が可能な仕様です。Web メニューからログアウトし |
| | た後で、同じWindowsクライアントを使いまわすことはできません。こ |
| | のクライアントを使用する場合は、毎回 Web ブラウザでログインする |
| | たびに、都度ダウンロードしてください。 |
| | Java クライアントはプラットフォームから独立しておりますので、Java |
| | がインストールされているコンピュータであればこのソフトウェアを使 |
| | って KH1508i/KH1516i に接続することができます。 |
| | KH1508i/KH1516i をリモートから操作する場合は、このボタンをクリ |
| | ックして Java クライアントをダウンロードしてください。 |
| Java Client | |
| | 注意:このアイコンでダウンロードする Java クライアントは 1 セッショ |
| | ン限りの操作が可能な仕様です。Web メニューからログアウトした後 |
| | で、同じ Java クライアントを使いまわすことはできません。このクライ |
| | アントを使用する場合は、毎回 Web ブラウザでログインするたび |
| | に、都度ダウンロードしてください。 |
| | Web ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのアクセスが制限された |
| | 環境であっても、このメニューから Windows クライアントをダウンロー |
| | ド・配布することで Windows クライアントがご利用いただけます。言 |
| Windows Client | い換えると、管理者はこの Windows クライアントをダウンロードし、ユ |
| Windows Chent | ーザーに配布してから、Web ブラウザからのアクセス機能を無効に |
| | 設定することでブラウザからのアクセスを制限することができます。 |
| | アプリケーション版 Windows クライアントの詳細に関しては第 11 章 |
| | で詳しく説明しますので、そちらをご参照ください。 |

(表は次のページに続きます)

| アイコン | 用途 |
|--|--|
| | Web ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのアクセスが制限された |
| | 環境であっても、このメニューから Java クライアントをダウンロード・ |
| | 配布することで Java クライアントがご利用いただけます。 言い換える |
| Java Client | と、管理者はこの Java クライアントをダウンロードし、ユーザーに配 |
| dava cilent | 布してから、Web ブラウザからのアクセス機能を無効に設定すること |
| | でブラウザからのアクセスを制限することができます。アプリケーショ |
| | ン版 Java クライアントの詳細に関しては第 11 章で詳しく説明します |
| | ので、そちらをご参照ください。 |
| · · · · | このボタンをクリックすると、管理者はログサーバアプリケーションを |
| Log Server | ダウンロード・インストールすることができます。ログサーバの詳細に |
| | 関しては第10章をご参照ください。 |
| | KH1508i/KH1516iに Power Over the Net™(PON)モジュールが接 |
| PON | 続されている場合、このボタンをクリックするとPONインターフェース |
| Comparison of the local data and | が起動します。 |
| | KH1508i/KH1516i で起こるすべてのイベントはログファイルに記録 |
| Log | されます。このアイコンをクリックするとログファイルの内容が表示さ |
| | れます。 |

Web ブラウザによるファームウェアのアップグレード

KH1508i/KH1516iの新しいバージョンのファームウェアは弊社Webサイトからダウンロードし、ご利用いただけます。最新のファームウェアはATENWebサイトで公開しておりますので、定期的にダウンロードサイトをご覧いただきますようお願いいたします。 http://www.aten.com/download/download.php

 注意: Webブラウザでファームウェアをアップグレードする場合、その都度ローカルファ ームウェアもアップグレードしなければなりません。(p.67の「ファームウェアのア ップグレード」参照)双方からのアップグレードが完了してはじめて KH1508i/KH1516iのファームウェアのアップグレードが完了したことになります ので、一方をアップグレードしたら、もう一方も必ずアップグレードするようにして ください。

アップグレードの方法には、Web ブラウザを用いてネットワーク経由で行う方法と、 KH1508i/KH1516iにローカル接続されたコンピュータから行う方法の2つがあります。このセクション では Web ブラウザ経由での方法について説明しますので、ローカルコンピュータを使った方法関し ては p.67 の「ファームウェアのアップグレード」をご参照ください。

| 注意: | ファームウェアのアップグレードは、アドミニストレーターまたはアドミニストレータ |
|-----|---|
| | ー権限のあるユーザーに限定された機能です。 |

ファームウェアをアップグレードする場合は、以下の手順で作業してください。

- 1. KH1508i/KH1516i に接続されていないコンピュータで弊社 Web ダウンロードサイトから新しい バージョンのファームウェアをダウンロードしてください。
- 2. 手順1で使用したコンピュータで、Web ブラウザを起動し、KH1508i/KH1516i にログインしてく ださい。
- 3. Web 画面にある「Firmware」アイコンをクリックし、ファームウェア設定メニューを表示します。

| Firmware File: | |
|----------------|--------|
| | Browse |
| | |
| Upgrade | |

- 4. 「Browse」ボタンをクリックし、「ファイルを開く」ダイアログから手順 1 でダウンロードしたファーム ウェアを選択します。
- 5. 「Upload」ボタンをクリックします。
- 6. アップロードが完了したら、Web 画面の右上に表示されている「Logout」アイコンをクリックし、 KH1508i/KH1516iからログアウトし、リセットしてください。

OSD の起動方法

Windows クライアント

Web ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのログインが完了したら、以下の手順で Web ブラウザベースの Windows クライアント OSD を起動してください。

1. Web 画面の左側に表示されている「Windows Client」ボタン(矢印がついていないほうのアイコン)をクリックしてください。

| 注意: | 1. | Windows クライアントの動作環境には DirectX 7.0 以降がインストールされ |
|-----|----|---|
| | | ている必要があります。インストールされていないとクライアントソフトウェア |
| | | が起動しませんので、Microsoft のフリーダウンロードページからダウンロー |
| | | ド・インストールしてください。 |
| | 2. | Web 画面の左側には「Windows Client」というアイコンが2つ表示されてい |
| | | ますが、矢印のついているほうのアイコンからはアプリケーション版の |
| | | Windows クライアントが提供されています。(詳細については第 11 章「ユー |
| | | ティリティソフトウェア」のページをご覧ください) |

- 2. 「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ダイアログが表示されますので、「**実行**」ボタンを 押してください。
- 3. 2 つめの「セキュリティの警告」ダイアログが表示されますので、ここでも「**実行する**」ボタンを押してください。

| 注意: | 1. | Web ブラウザから直接ファイルが実行できない場合は、一旦ディスクに保 |
|-----|----|--|
| | | 存し、KH1508i/KH1516iの Web メニューにブラウザでアクセスしたまま、そ |
| | | のプログラムを実行してください。 |
| | 2. | プログラムを一旦ディスクに保存してから実行した場合、セキュリティのため |
| | | にも以前ダウンロードし使用したプログラムを使いまわして実行せず、その |
| | | 都度新しいファイルをダウンロードし、そのファイルを実行してログインして |
| | | ください。 |

4. KH1508i/KH1516iへの接続が確立されると、以下のようなダイアログが表示されます。

| Win32 Client 1.0.061 | | × |
|----------------------|--------------------------------|---|
| ALTUSEN | Connected to 10.0.100.67. | |
| Win32 Client 1.0.061 | | |
| Ful Screen Mode | | |
| C Keep Screen Size | | |
| Exit | | |
| Copyright(C) 20 | 04 ATEN International Co., Ltd | |

- ◆ 「Full screen mode」が有効になっている(チェックが入っている)と、お使いのリモートディス プレイには KH1508i/KH1516i に接続されたローカルディスプレイの画面が最大化されて 表示されます。
- ◆「Full screen mode」が無効になっている(チェックが入っていない)と、リモートディスプレイ にはローカルディスプレイのデスクトップが通常のウィンドウで表示されます。ローカルディ スプレイの解像度がウィンドウサイズよりも大きい場合は、マウスポインタを表示したい方向 のウィンドウ端まで移動させれば、その方向にスクロールします。
- ◆ 「Keep screen size」が有効になっている(チェックが入っている)と、ローカルのデスクトップ はリサイズされず、そのままの解像度で表示されます。
 - ▶ ローカルディスプレイの解像度のほうが小さい場合、ローカルの画面はウィンドウとしてお使いのリモートモニタの中央部に表示されます。
 - ローカルディスプレイの解像度のほうが大きい場合、ローカルの画面の一部がお使いのモニタの中央部に表示されます。モニタ上に表示されていない箇所を操作する場合は、ウィンドウの中でその場所に一番近い隅にマウスポインタを動かすと、画面がスクロールされます。
- ◆ 「Keep screen size」が有効になっていない(チェックが入っていない)と、ローカルコンソー ルのデスクトップはお使いのリモートモニタの解像度に合わせてリサイズされます。

5. 「Switch」ボタンを押して、OSD 画面を起動します。

KH1508i/KH1516i に画面を切り替えると、OSD メニューの Main タブ画面と、Windows クライアント コントロールパネルが表示されます。

| KH1508i Main Ex 🗙 |
|---|
| Main Configuration Administration |
| Image: Second |

| ♨а≻≉⊯≈ | 1 A I |
|--------------|-------|
| 800X600@6 | 0 |
| 10.0.100.128 | 3 |

OSD 画面は「Main」、「Configuration」、「Administration」の3つのタブメニューから構成されていま す。Configuration タブ、Administration タブについては第6章で詳しく説明します。また、Main タブに ついては p.127の「Windows クライアントによるポート操作」で詳しく説明します。

| 注意: | 1. | Administration タブは、アドミニストレーター権限がないユーザーが OSD を |
|-----|----|---|
| | | 呼び出したときには無効になっています。 |
| | 2. | ローカルコンピュータに接続が完了し画面が切り替わると、右下に |
| | | Windows クライアントコントロールパネルが表示されます。 Windows クライア |
| | | ントコントロールパネルの詳細については p.116 で詳しく説明しますので、 |
| | | そちらをご参照ください。 |

Java クライアント

WebブラウザによるKH1508i/KH1516iへのログイン(p.77参照)が完了したら、以下の手順でJava クライアント OSD を起動してください。

- 1. Web 画面の左側に表示されている「Java Client」ボタン(矢印がついていないほうのアイコン)を クリックしてください。
 - 注意: Java クライアントの動作環境には Sun の Java2 JRE1.4.2 以降のものがインストー ルされている必要があります。(なお、本マニュアル執筆時における JRE の最新 版は JRE5.0 Update5 です。)これ以降のバージョンの Java がインストールされて いないと Java クライアントソフトウェアが起動しませんので、Sun の Java フリーダ ウンロードページからダウンロード・インストールしてください。 http://java.sun.com
- 2. セキュリティ証明書を許可してください。
- 3. ブラウザのダイアログでファイルの処理方法を尋ねられますので、「**Open**」(開く)ボタンを押して ください。

| 注意: | 1. | Web ブラウザから直接ファイルが実行できない場合は、一旦ディスクに保 |
|-----|----|--|
| | | 存し、KH1508i/KH1516iの Web メニューにブラウザでアクセスしたまま、そ |
| | | のプログラムを実行してください。 |
| | 2. | プログラムを一旦ディスクに保存してから実行した場合、セキュリティのため |
| | | にも以前ダウンロードし使用したプログラムを使いまわして実行せず、その |
| | | 都度新しいファイルをダウンロードし、そのファイルを実行してログインして |
| | | ください。 |

数秒経つと、以下のようなダイアログが表示されます。



認証に成功すると、お使いのモニタの中央にOSDメイン画面が表示されます。このOSDメイン画面はWindows クライアント起動時に表示される OSD と同じです。

Windows クライアントの OSD と同様、Java クライアントの OSD も「Main」、「Configuration」、「Administration」の3つのタブメニューから構成されています。Configuration タブ、Administration タブについては第6章で詳しく説明します。また、Main タブについては p.127の「Windows クライアント によるポート操作」で詳しく説明します。

| 注意: | 1. | Administration タブは、アドミニストレーター権限がないユーザーが OSD を |
|-----|----|---|
| | | 呼び出したときには無効になっています。 |
| | 2. | Windows クライアントでローカルコンピュータに画面が切り替わると、右下 |
| | | にWindowsクライアントコントロールパネルが表示されますが、Javaクライア |
| | | ントでは画面下の中央にコントロールパネルが隠されています。このパネ |
| | | ルはマウスポインタを画面下の中央に動かすと表示されます。コントロール |
| | | パネルの各アイコンの機能については p.150 の「Java クライアントによるポ |
| | | ート操作」で詳しく説明しますので、そちらをご参照ください。 |

第6章 管理・設定

概要

KH1508i/KH1516i のアドミニストレーター(もしくはアドミニストレーター権限のあるユーザー。詳細 については p.93 の「User Management メニュー」参照)は、リモート OSD の Administration タブで KH1508i/KH1516i の全般的な操作に関する設定や管理を行うことができます。メニューのタブが無 効(グレー)になっているものは、アドミニストレーター権限のあるユーザー限定機能です。

OSD の Configuration タブでは、ユーザーが個別におのおのの環境設定を行うことができます。 KH1508i/KH1516iではユーザー別に設定内容を管理し、ログインしたユーザーネームによって作業 環境のセットアップを行います。

Administration タブ

このタブでは、左側のアイコンから KH1508i/KH1516i の管理メニューが提供されています。アイコ ンをクリックすると、メニューの内容がタブの中央に表示されます。Administration タブの初期表示時 には「General」メニューの内容が表示されます。



General メニュー

General メニューでは 4 つの項目を管理していますが、これは Web ブラウザでログインした直後に 表示されるもの、またはブラウザのメイン画面の左上にある General アイコンをクリックしたときに表示 されるものと同じです。各項目の内容は以下の表のとおりです。

| 項目 | 用途 |
|--------------------------|--|
| Device Name | 複数の KVM スイッチを使用するケースでコンピュータの管理を容 |
| | 易にするために、各スイッチに名前をつけることができます。管理者 |
| | によって設定されたデバイスネームがここに表示されます。 |
| MAC Address | KH1508i/KH1516iの MAC アドレスがこの欄に表示されます。 |
| Firmware Ver | KH1508i/KH1516i に現在インストールされているファームウェアの |
| | バージョンが表示されます。新しいバージョンのファームウェアをダ |
| | ウンロードする場合などに、バージョン情報を確認することができま |
| | す。 |
| Last IP from DHCP server | 現在設定されているIPアドレスが表示されます。DHCPをお使いの |
| | 環境で KH1508i/KH1516i を導入された場合でも、この項目で |
| | KH1508i/KH1516iに設定されているIPアドレスを確認することがで |
| | きますので、便利にお使いいただけます。 |
| | |
| | 注意:スイッチに静的 IP アドレスが設定されている場合、この項目 |
| | は表示されません。 |

User Management メニュー

User Management メニューではユーザープロフィールの作成・管理を行います。KH1508i/KH1516i は最大 64 ユーザーのプロフィールの作成、および最大 32 ユーザーによる同時ログインが可能で す。

| | KH1508i U | Jser Managem | ent | E _x × |
|---|-----------|---------------------------------|----------------|------------------|
| | Main | Configuration | Administration | L |
| | 0 | administrator administrator1 | | New |
| ¢ | 2 | ejery | | Edit |
| | ₫ | nosty | | Remove |
| | ₫ | | | |
| | 2 | | | |
| | | | | |
| | 0 | | | |
| | | , | | |
| _ | | | | |

- ◆ ユーザーを削除する場合は、リストから削除対象となるユーザーを選択し、「Remove」ボ タンを押します。
- ◆ ユーザー情報を変更する場合は、リストから変更対象となるユーザーを選択し、「Edit」 ボタンを押します。
- ◆ ユーザーを追加する場合は、「New」ボタンを押します。

「Edit」または「New」ボタンをクリックした場合、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

| KH1508i User Mana | agement | |
|-------------------|---------|--------------|
| Username: | | |
| Password: | | |
| Confirm Password: | | |
| Description: | | |
| | C User | C Select |
| Administration | P P | ower Manager |
| Vindows Clien | t 🔽 J | ava Client |
| 🔽 Log | | |
| | | |
| | | PortAccess |
| | OK | Cancel |

ダイアログにはユーザー登録・編集に必要な項目が表示されていますので、新規ユーザーの場合 は新規入力、また、既存ユーザーの場合はダイアログの内容を編集してください。ダイアログにおけ る各項目の詳細は以下のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|-------------------|---|
| Username | 英数最小6文字、最大16文字で設定してください。 |
| Password | 英数最小8文字、最大16文字で設定してください。 |
| Confirm Decouverd | パスワード確認用の項目です。「Password」の項目で設定した内容と同じ |
| | 文字列を設定してください。 |
| Description | 必要であればユーザーに関する追加情報を入力してください。 |
| | このラジオボタンを選択すると、該当ユーザーは KH1508i/KH1516i に対 |
| Admin | してアドミニストレーターレベルのアクセスが可能になります。この操作で |
| Aumm | すべてのアドミニストレーター権限が付与されます。(権限の詳細につい |
| | ては、本表の「Permissions」の項目をご参照ください) |

(表は次のページに続きます)

| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| | このラジオボタンを選択すると、該当ユーザーは KH1508i/KH1516i |
| TT | に対して Windows クライアント、電源管理、Java クライアントの操作が |
| User | 可能になります。(権限の詳細については、本表の「Permissions」の |
| | 項目をご参照ください) |
| | アドミニストレーターによって設定された権限が Admin または User の |
| Select | いずれのデフォルトアクセスレベルにも合致しない場合、この内容が |
| | 自動的に設定されます。 |
| | これらの項目は Select ラジオボタンと併用し、お使いの環境に合わ |
| | せてAdmin および User の各レベルのデフォルト権限とは異なる権限 |
| | をカスタマイズすることができます。 |
| | 1. 「Administration」の項目にチェックを入れると、該当ユーザーにア |
| | ドミニストレーター権限が与えられ、KH1508i/KH1516i の |
| | Administration タブにある項目の設定や変更が可能になります。 |
| | 2. 「Windows Client」の項目にチェックを入れると、該当ユーザーは |
| | Windows クライアントによる KH1508i/KH1516i へのアクセスが可 |
| | 能になります。デフォルトでは、すべてのユーザーが Windows ク |
| | ライアントでKH1508i/KH1516iにアクセスできるよう設定されてお |
| | ります。 |
| Permissions | 3. 「Log」の項目にチェックを入れると、該当ユーザーはログファイル |
| | の参照が可能になります。ログ参照権限のあるユーザーがログイ |
| | ンすると、Web のメインページで「Log」および「Log Server」のボタ |
| | ンが表示されます。(画面の表示内容については p.79 を参照) |
| | 4. 「Power Manager」の項目にチェックを入れると、該当ユーザーは |
| | KH1508i/KH1516i による Power Over the Net™への接続が可能 |
| | になります。また、この権限のあるユーザーがログインすると Web |
| | 画面に「PON」ボタンが表示されるようになります。(画面の表示内 |
| | 容については p.79 を参照) |
| | 5. 「Java Client」の項目にチェックを入れると、該当ユーザーは Java |
| | クライアントによるKH1508i/KH1516iへのアクセスが可能になりま |
| | す。 |

Port Access

「Port Access」ボタンを押すと、アドミニストレーターおよびアドミニストレーター権限を持つユーザーによって、ユーザーレベルでの各ポートに対するアクセス権を設定することができます。

| Port Access Rights | |
|--------------------|----------------|
| | |
| | |
| 庄 - Station [02] | |
| 庄 - Station [03] | |
| 庄 - Station [04] | |
| 🖶 - Station [05] | |
| 庄 - Station [06] | |
| . Station [07] | |
| Station [08] | |
| ⊕- Station [09] | |
| +- Station [10] | |
| - Station [11] | |
| +- Station [12] | |
| El-Station [13] | |
| Et Station [14] | |
| El: Station[15] | |
| El: Station [16] | |
| En Station [10] | |
| | |
| | Save 1 Canad 1 |
| | Save Cancer |

◆ 画面中の「+」印をクリックすると、下図のような該当ステーションにおけるポートの一覧が表示されます。

| Port Access Rights | |
|--------------------|-------------------|
| E- Station [01] | |
| | Full View Oplu |
| | None |
| [01-04] | Full |
| [01-05] | Ful |
| | Full |
| | Full |
| | Full |
| [01-09] | Full |
| | Full |
| [01-11] | Full |
| | Full |
| [01-13] | Full |
| | Full |
| | Full |
| [01-16] | Full 🗾 |
| | Save Cancel |

◆ アクセス権の選択内容は以下の表のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|-----------|-------------------------------|
| E-11 | ユーザーはリモートスクリーンの参照、および、リモートシステ |
| Full | ムにおけるキーボード・マウスを使用した操作が可能です。 |
| View Orle | ユーザーはリモートスクリーンの参照は可能ですが、キーボ |
| view Only | ード・マウスを使用した操作はできません。 |
| | ユーザーは該当ポートに対するアクセス権がありません。この |
| None | 設定が適用されると、そのユーザーには一覧にポート自体が |
| | 表示されなくなります。 |

- ◆ デフォルトでは全ユーザーおよび全ポートに対して「Full」が設定されています。アクセス権の変 更方法は以下のとおりです。
 - ▶ 変更対象となるポートのアクセス権限を直接クリックすると、設定内容を切り替えることができます。
 - ハイライトバーをカーソルなどで変更対象となるポートまで移動させ[+]キーを押すと、内容 を次の項目に順次切り替えることができます。
 - ハイライトバーをカーソルなどで変更対象となるポートまで移動させ[-]キーを押すと、内容 を前の項目に順次切り替えることができます。
 - ▷ [Shift]キーを押しながら任意のポートのアクセス権限をクリックすると、そのステーションの 全ポートのアクセス権限を同時に切り替えることができます。
 - ▶ [Shift]キーを押しながら[+]キーを押すと、そのステーションの全ポートのアクセス権限を同時に次の項目に順次切り替えることができます。
 - ▶ [Shift]キーを押しながら[-]キーを押すと、そのステーションの全ポートのアクセス権限を同時に前の項目に順次切り替えることができます。
- ◆ 設定内容が確定したら、「Save」を押してください。
- ◆ 変更を中止し、操作を終了する場合は「Cancel」を押してください。

Service Configuration メニュー

「Service Configuration」メニューは「Access Port」および「Log Server」のパネルから構成されています。

| | KH1508i 9 | iervice Config Ex X |
|---|-----------|--------------------------------|
| | Main | Configuration Administration |
| | 0 2 | -Access Port: Program: 9002 |
| < | ₫ | |
| | <u>j</u> | HTTPS: 443 |
| | 2 | Log Server: |
| | ₿ | MAC: 00 00 00 00 00 00 |
| | 0 | Port: 9000 |
| | | |

Access Port パネル

システムにファイアーウォールが導入されている場合、管理者はファイアーウォールの設定で許可するポート番号を指定することができます。この設定により、ユーザーはログインの際にIPアドレスの一部分のポート番号を入力しなくてはなりません。入力するポート番号が正しくないとKH1508i/KH1516iを検索しても表示されません。

各項目の詳細は以下の表のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|---------|--|
| D | Windows クライアントソフトウェアが接続するとき指定するポート番号 |
| FIOgram | です。有効なエントリは 1024~65535、デフォルトは 9000 です。 |
| Jama | Java クライアントが接続するときのポート番号です。有効なエントリは |
| Java | 1024~65535、デフォルトは 9002 です。 |
| HTTP | ブラウザログインに使用するポート番号です。 デフォルトは 80 です。 |
| HTTPS | SSLによるログインで使用するポート番号です。デフォルトは443です。 |

注意: 1. イントラネット等ファイアーウォールが使用されていない環境であれば、この項目にどんな値を設定してもお使いの環境には反映されません。 2. これらのアクセスポートには、すべて異なるポート番号を設定してください。

Log Server パネル

ログイン情報や内部ステータスメッセージなど、KH1508i/KH1516i で発生した重要なイベントは 自動的にログファイルに記録されます。ログファイルとして記録するには、記録先サーバの MAC アドレスとポート番号をこのパネルで明確に設定する必要があります。有効なエントリは 0~65535、 デフォルトポート番号は 9001 です。

ログサーバのセットアップおよび操作方法に関しては第10章で、また、ログファイルの詳細は第 p.160で詳しく説明しますので、そちらをご参照ください。

Network メニュー

Network メニューでは KH1508i/KH1516i のネットワーク環境に関する内容を設定します。



Network Transfer Rate

KH1508i/KH1516i がリモートコンピュータにデータを転送する速度を設定してください。有効な値の範囲は秒間データ転送量 8~99999KB です。

IP Address パネル

KH1508i/KH1516i は動的 IP アドレス(DHCP)、静的 IP アドレスのいずれかを設定することができます。

- ◆ 動的 IP アドレスを取得するには、「Obtain an IP address automatically」のラジオボタンを選択してください。
- ◆ 静的 IP アドレスを使用する場合は「Set IP address manually」のラジオボタンを選択し、使用する IP アドレスを入力してください。

DNS Server パネル

- ◆ DNS サーバを自動的に設定する場合は、「Obtain DNS server address automatically」のラジオ ボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバを手動で設定する場合は、「Using the following DNS server address」のラジオボタ ンを選択し、プライマリ DNS サーバおよび代替 DNS サーバの IP アドレスを入力してください。

注意: 手動で設定する場合、プライマリ DNS サーバのアドレスは必ず設定してください。(代替 DNS サーバの設定は任意です)

Radius メニュー

Radius メニューでは RADIUS サーバ経由で KH1508i/KH1516i にログイン認証する際に必要となる 項目を設定します。

| | KH1508i | Radius E _x × |
|---|-------------|---|
| | Main | Configuration Administration |
| | € ▲ ∰ | Frimary Radius Server IP: . Primary Radius Service Port: . Alternate Radius Server IP: . Alternate Radius Service Port: . TimeOut(seconds): . |
| ¢ | 2 | Revies: |
| | | Shared Secret(at least 6 characters): |
| | 0 | |

RADIUS 認証を有効にする場合は、以下の手順で操作してください。

- 1. 「Enable Radius」の項目にチェックを入れてください。
- 2. プライマリ RADIUS サーバおよび代替 RADIUS サーバの IP アドレス、およびサービスポートをそれぞれ設定してください。
- 「Timeout」フィールドに、KH1508i/KH1516i における RADIUS サーバからの応答待機時間 (秒)を入力してください。
- 4. 「Retries」フィールドに、再試行回数を入力してください。
- 5. 「Shared Security」フィールドに KH1508i/KH1516i・RADIUS サーバ間の認証で使用する共 有シークレットの文字列を入力します。
- 6. 次のページにある表の内容を参考にしながら、RADIUS サーバ側におけるユーザー別 KH1508i/KH1516i 操作権限に関するパラメータを設定してください。

RADIUS サーバーアクセス権限一覧

| 文字列 | 内容 |
|------|--|
| С | ユーザーに対してアドミニストレーターの権限を付与し、そのユーザーによるシス |
| | テム設定を許可します。 |
| W | ユーザーによる Windows クライアント経由でのアクセスを許可します。 |
| J | ユーザーによる Java クライアント経由でのアクセスを許可します。 |
| | ユーザーによる KH1508i/KH1516i に接続された Power Over the Net™へのアク |
| P | セスを許可します。 |
| L | ユーザーによるブラウザ上のログ情報へのアクセスを許可します。 |
| | OSDのポート一覧における、ユーザーによる特定のポートへのアクセスを制限しま |
| PN | す。 |
| | 構文例 : PN/1/2/3/4 |
| ΡV | OSD のポート一覧における、ユーザーによる特定のポートの参照を制限します。 |
| 1 V | 構文例: PV/1/2/3/4 |
| | OSD のホットキーを設定します。(p.51 参照) |
| UHK | UHK0 : Scroll Lock + Scroll Lock |
| | UHK1 : Ctrl + Ctrl |
| | OSD リスト機能を定義します。 (p.128 のクイックビューポートを参照) |
| | UOL0 : All |
| UOL | UOL1 : Powered On |
| | UOL2 : Quick View |
| | UOL3 : Quick View + Powered On |
| | ポート ID の表示方法を選択します。(p.113 参照) |
| UODM | UODM0 : Port Number + Port Name |
| | UODM1 : Port Number |
| | UODM2 : Port Name |
| | ポート変更後におけるポート ID のモニタ表示時間(秒)を設定します。(p.113 参 |
| | 照) |
| UUDI | 構文: UODTn (nは 0~255 の範囲の値を表します) |
| | デフォルトは10秒です。 |

(表は次のページに続きます)

| 文字列 | 内容 |
|------|---|
| | ビープ音のオン/オフを切り替えます。(p.114参照) |
| UBUZ | UBUZ0:ビープ音オフ |
| | UBUZ1:ビープ音オン |
| | ログアウトタイムアウトの時間(分)を設定します。ここで設定した時間、ユーザーか |
| | らの入力がない場合、ユーザーはシステムよって自動的にログアウトされ、その後 |
| IΠΤ | に操作する場合は再びログインする必要があります。有効なログアウトタイムアウト |
| ULI | の値の範囲は 0~180(分)です。 |
| | 構文 : ULTn (nは 0~180 の範囲の値を表します) |
| | デフォルトは 30 分です。 |
| | ユーザーがオートスキャンモードでアクセスできるコンピュータを選択します。(ス |
| | キャン選択については p.113 を参照) |
| USM | USMO: All |
| USM | USM1: Powered On |
| | USM2: Quick View |
| | USM3: Quick View + Powered On |
| | オートスキャンモードで各ポートを表示する時間(秒)を設定します。(スキャン時 |
| UST | 間については p.113 参照) |
| | 構文 : USTn (nは0~255の範囲の値を表します) |

注意: 1. ここで使用される文字列は大文字・小文字を区別しませんので、どちらで入 力しても有効な値としてみなされます。 2. 各文字列はカンマで区切られている必要があります。

3. 設定に無効な文字列が入力されると、ユーザーが KH1508i/KH1516i にアク セスできなくなるおそれがありますので、正しく入力してください。

RADIUS サーバーアクセス権の設定例

| 入力例 | 内容 |
|-------|---|
| c,w,p | このユーザーはアドミニストレーター権限を持ち、Windows クライアントによるア |
| | クセスが可能です。また、KH1508i/KH1516i に接続された Power Over the |
| | Net™を操作することもできます。 |
| w,j,l | このユーザーは Windows クライアント、および Java クライアントによるアクセス |
| | が可能です。また、ブラウザでログ情報を閲覧することもできます。 |

Security メニュー

| | KH1508i | Security | | | E _x × | ۲ | |
|--------------|------------------------|--------------------|--------|----------|------------------|---|--|
| | Main | Configuration | Admini | stration | | | |
| | 0 | 🔽 [IP Filter Enabl | ē | include | C exclude | | |
| | 5 | | | · | New | | |
| | - | | | ŀ | Remove | | |
| | Default web page name: | | | | | | |
| | 2 | | | | | | |
| \downarrow | | MAC Filter En | able 🤅 | include | C exclude | | |
| ۲ | | Ρ | | | Edit | | |
| | Ų | | | | Remove | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | • | |

Security メニューは、KH1508i/KH1516i へのアクセス権限を設定します。

IP・MAC フィルタリング

- ◆ IP アドレスによるフィルタリング項目が設定されていると、IP フィルターリストボックスに、また、 MAC アドレスによるフィルタリング項目が設定されていると MAC フィルターリストボックスにそれ ぞれ表示されます。
- ◆ IP フィルターおよび MAC フィルターは、特定の IP アドレスおよび MAC アドレスによる KH1508i/KH1516i へのアクセスを許可/禁止します。IP フィルターおよび MAC フィルターは 最大でそれぞれ 100 項目設定することができます。IP フィルターを有効にする場合は「IP Filter Enable」に、MAC フィルターを有効にする場合は「MAC Filter Enable」にそれぞれチェ ックを入れてください。
 - ▶ 「include」ラジオボタンが選択されると、設定されたフィルターの範囲のアドレスによるア クセスをすべて許可し、それ以外のアドレスによるアクセスは拒否されます。
 - ▶ 「exclude」ラジオボタンが選択されると、設定されたフィルターの範囲のアドレスによるア クセスをすべて拒否し、それ以外のアドレスによるアクセスは許可されます。

◆ フィルター項目を追加する場合は、「New」ボタンを押してください。以下のようなダイアログが表示されます。

| | IP Filter | | | | | |
|-----|--------------|--|--|--|--|--|
| | From: | | | | | |
| | То: | | | | | |
| | OK Cancel | | | | | |
| | | | | | | |
| MAC | Filter | | | | | |
| MAC | address: | | | | | |
| | OK L Canad L | | | | | |
| | | | | | | |

注意: フィルター項目は、単一アドレスによる指定およびアドレス範囲の指定の両方が 可能です。単一アドレスをフィルタリングする場合は、始点と終点のアドレスに 同一アドレスを設定してください。また、フィルタリング対象となるアドレスの範囲 を指定する場合は From 欄に始点となるアドレスを、また、To 欄に終点となるア ドレスをそれぞれ設定してください。

アドレスの設定が完了したら「OK」ボタンを押してください。

- ◆ フィルター項目を削除する場合は、リストから対象となる項目を選択し、「Remove」ボタンを押してください。
- ◆ フィルター項目の内容を変更する場合は、同様にリストから項目を選択した後に「Edit」ボタン を押してください。編集用のダイアログボックスは、追加用のダイアログボックスと同じように入 カフィールドを設けておりますので、フィールドを新しい設定内容に修正した後に「OK」ボタ ンを押してください。

Default Web Page Name

◆ 「Default Java program name」の項目では、Web ブラウザから KH1508i/KH1516i にアクセス する際に、ユーザーが接続しなければならないページ名の設定を行います。

設定例) 192.168.0.126/abcdefg

◆ ユーザーはブラウザでアクセスする際に IP アドレスの後ろにスラッシュを続けて、その後ろにこの文字列を入力しなければなりません。セキュリティ上の観点からも、定期的にこのページ名を変更することをお勧めします。

注意: この項目が設定されていないと、IPアドレスを指定するだけで、誰でも簡単に KH1508i/KH1516i にアクセスできてしまいます。KH1508i/KH1516i を安全な状 態でお使いいただくためにも、この項目は必ず設定してください。
Customization メニュー



「Customization」メニューは以下の4つのセクションから構成されています。

Login Failures

- ◆ Allowed:リモートからのログイン失敗時の再試行可能回数を指定します。
- ◆ Timeout:ログインに連続して失敗したコンピュータは、ここで指定された時間が経過するまでは 再度ログインすることができません。

Working Mode

- ◆ 「Enable stealth mode」にチェックが入っている場合は、KH1508i/KH1516iに対する ping が無効 になります。
- ◆ ブラウザによる KH1508i/KH1516i へのアクセスを許可する場合は、「Enable browser」にチェック を入れてください。この項目にチェックが入っていないと、ブラウザでのログインができません。
- ◆「Enable multiuser operation」の項目にチェックが入っている場合、最大 32 ユーザーによる KH1508i/KH1516iへの同時ログインが可能になります。
- ◆ 「Set default to grayscale」の項目にチェックが入っている場合、リモートディスプレイはモノクロで 表示されます。この機能によって、低帯域の環境でもデータ転送の高速化が実現できます。

I/O Modules

「I/O Modules」パネルにある「Attributes」ボタンをクリックすると、以下のような各ポートの属性パラメ ータを設定するダイアログが表示されます。

| S | Setting I/O Module Attributes | | | |
|---|-------------------------------|-----|-------|--------|
| | ⊡- Station [01] | | | |
| | [01-01] | PC | US | Short |
| | [01-02] | MAC | JPN | Long |
| | [01-03] | PC | US | Short |
| | [01-04] | PC | US | Short |
| | [01-05] | PC | US | Short |
| | [01-06] | PC | US | Short |
| | [01-07] | PC | US | Short |
| | [01-08] | PC | US | Short |
| | [01-09] | PC | US | Short |
| | [01-10] | PC | US | Short |
| | [01-11] | PC | US | Short |
| | [01-12] | PC | US | Short |
| | [01-13] | PC | US | Short |
| | [01-14] | PC | US | Short |
| | [01-15] | PC | US | Short |
| | · [01-16] | PC | US | Short |
| | , Timeout(0-255s) | 3 | Apply | Cancel |

```
注意: コンピュータモジュールはこのダイアログでは「I/O Modules」と表記されていますのでご了承ください。
```

ポート番号はリストの左側に、また、ポートの属性は右側にそれぞれ表示されます。

- ◆ ポート番号の右隣の列は、そのポートに接続されているコンピュータの OS を表しています。 設 定できる内容は「PC」、「Mac」、「Sun」、「Other」です。 デフォルトでは「PC」が設定されます。
- ◆ コンピュータOSの右隣の列は、そのポートに接続されているコンピュータのOS言語を表しています。設定できる内容は「US English」、「UK English」、「French」、「German」、「Korean」、「Japanese」、「Spanish」、「Traditional Chinese」です。デフォルトでは「US English」が設定されています。
- ◆ 右端の列は、そのポートに接続されているカテゴリ5ケーブルの長さを表しています。設定できる内容は「Short(25m以下)」、「Medium(20~40m)」、「Long(35m)」です。デフォルトでは「Short」が設定されています。

- ◆ 設定内容は以下の手順で変更してください。
 - ▶ 変更対象となるポートの属性(OS、OS 言語、カテゴリ5 ケーブル長)をクリックして、設定内容を切り替えてください。
 - ▶ 変更対象となるポートの属性にカーソルキーでハイライトバーを移動させ、[+]キーまたは [-]キーを押して設定内容を切り替えてください。全ポートの属性の内容を同時に変更する 場合は[Shift]キーを押しながら[+]キーまたは[-]キーを押して設定内容を切り替えてください。

その他の機能

「Attribute」ダイアログにおけるその他の機能については、以下の表をご参照ください。

| 項目 | 説明 |
|-----------------|--|
| Reset on Exit | この項目にチェックを入れると、現在のセッションからログアウトした際 |
| | に KH1508i/KH1516i をリセットし、新しい変更内容を反映します。リセ |
| | ットを行った場合は 30~60 秒間待機してから再ログインしてください。 |
| | 注意: 変更内容によっては「Reset on exit」の項目に自動的にチェック |
| | が入り、ログアウトした際に KVM スイッチがリセットされる場合がござい |
| | ます。この場合、自動でつけられたチェックを意図的にはずすと、変更 |
| | 操作が取り消されたと認識され、新しい設定内容が反映されませんの |
| | でご注意ください。 |
| Reset Values | このボタンを押すと、ポートネームの変更(p.131「ポートネーム」参照) |
| | を除いて、Configuration タブおよび Administration タブに加えられた |
| | 変更がすべてキャンセルされ、パラメータを工場出荷時の内容に戻し |
| | ます。(p.197 参照) |
| Clear Name List | この機能は「Reset Values」の機能と似ていますが、異なる点は、すべ |
| | ての変更内容をキャンセルし工場出荷時のデフォルト値を復元すると |
| | 同時にポートネームの設定もクリアするというところです。 |

Configuration タブ

OSD の Configuration タブではユーザー別に作業環境を定義することができます。 KH1508i/KH1516i では、ユーザー別に設定内容を管理しており、ログインしたユーザーネームにし たがって作業環境を構築します。

| KH1508i Configuration | E _x × |
|---|------------------|
| Main Configuration Administration | |
| ~ | |
| Scroll Lock].[Scroll Lock].[Scroll Lock | |
| 😰 ID Display: 🛛 Port Number + Name 🖃 | |
| 🚇 ID Duration: 🛛 0 | sec |
| 📲 Scan Select: 🛛 🔳 | |
| 🗳 Scan Duration: 10 | sec |
| ₫ ² Screen Blanker: 0 | min |
| Logout Timeout: 30 | min |
| 🐶 Beeper: 📀 ON 🤿 OFF | |
| Change Passwor | 'd |
| | |

Configuration タブにおける各項目については、次のページの表で説明します。

| 設定 | 機能 |
|----------------|--|
| OSD Hotkey | OSD メインメニューを呼び出すホットキーを設定します。 |
| | [Scroll Lock] [Scroll Lock] または [Ctrl] [Ctrl]を設定することが可能です。 |
| | [Ctrl]キーの入力は、動作中のコンピュータの他のプログラムと競合する可能性 |
| | があるため、デフォルトは[Scroll Lock]キー 2度押しになっています。 |
| ID Display | ポート ID 表示方法を選択します。ポート番号のみ (PORT NUMBER)、ポートネ |
| | ームのみ(PORT NAME)、または、ポート番号とポートネームの組み合わせ |
| | (PORT NUMBER + PORT NAME)があります。デフォルトは、ポート番号と |
| | ポートネームの組み合わせ(PORT NUMBER + PORT NAME)です。 |
| ID Duration | ポート切替が行われた後、画面にポート ID を表示する時間を設定します。0~ |
| | 255秒の範囲の値を設定してください。デフォルトでは5秒間です。0を選択する |
| | と、ポート ID を常に画面上に表示します。 |
| Scan Select | オートスキャンモード(p.142をご参照ください)で、どのコンピュータにアクセスす |
| | るかを選択します。設定は以下のとおりです。 |
| | |
| | ALL — アクセスできるすべてのポート(p.96 をご参照ください) |
| | POWERED ON ― アクセス可能かつ接続されているコンピュータの電源がオ |
| | ンになっているポートのみ |
| | QUICK VIEW — アクセス可能かつクイックビューポートとして設定されたポー |
| | ト(p.52 をご参照ください)のみ |
| | QUICK VIEW + POWERED ON — アクセス可能でクイックビューポートとして |
| | 設定され、かつ接続されているコンピュータの電源がオンになっているポートの |
| | み |
| | |
| | デフォルトは ALL です。 |
| Scan Duration | オートスキャンモード(p.58 をご参照ください)で、各ポートに接続されたコンピュ |
| | ータの表示のインターバル時間を設定します。0~255 秒までの数値を入力して |
| | ください。デフォルトは 10 秒間です。0 秒で設定するとスキャン機能を使用不可 |
| | にします。 |
| Screen Blanker | この機能で設定された時間、コンソールから入力されていない場合、画面はブラ |
| | ンクになります。0~30 分の時間を入力してください。0 分で設定するとこの機能 |
| | を無効にします。 デフォルトは 0(無効)です。 |

(表は次のページに続きます)

| 設定 | 機能 |
|-----------------|--|
| Logout Timeout | KH1508i/KH1516i へのリモートアクセス タイムアウト時間を設定します。現在ア |
| | クセスしているコンピュータから、ここで設定された一定の時間、何も入力データ |
| | を受け取らなかった場合、そのセッションを終了します。0~30 分の値を設定し |
| | てください。デフォルトは30分です。0分で設定するとこの機能を無効にします。 |
| Beeper | ビープ音の設定を行います。ON が設定されると、ポートが変更された時、オート |
| | スキャン機能(p.142 をご参照ください)が有効になっている時、OSD メニューで |
| | 無効な入力がされた時にそれぞれビープ音が鳴ります。デフォルトは ON に設 |
| | 定されています。 |
| Change Password | 現在ログインしているユーザーのパスワードを変更することができます。「Change |
| | Password」ボタンをクリックすると、「Change Password」ダイアログが表示されま |
| | す。現在のパスワード(Old password)、新しいパスワード(New Password)、確認 |
| | 用パスワード(Confirm Password)を入力し、「OK」ボタンを押して変更してくださ |
| | い。変更を取り消す場合は「Cancel」ボタンを押してください。 |

第7章 Windows クライアントによるポート操作

Windows クライアントを使って KH1508i/KH1516i に接続を切り替える(p.86 参照)と、OSD メニューの Main タブ 画面と、Windows クライアントコントロールパネルが表示されます。

| KH1508i Main 🛃 🗴 |
|--|
| Main Configuration Administration |
| Main Configuration Administration ••••••••••••••••••••••••• |
| |
| |



OSD 画面は「Main」、「Configuration」、「Administration」の3つのタブメニューから構成されていま す。Configurationタブ、Administrationタブについては第6章で詳しく説明します。また、Mainタブに ついては本章の p.127 から詳しく説明します。

注意: Administration タブは、アドミニストレーター権限がないユーザーが OSD を呼び 出したときには無効になっています。

Windows クライアントコントロールパネル

このコントロールパネルは上部1行のアイコンバーと下部2行のテキストバーから構成されています。初期画面では、テキストバーにはリモートコンソールのVGA解像度とIPアドレスが表示されています。マウスポインタをアイコンの上に移動させると、テキストバーにそのアイコンの機能が表示されます。アイコンの機能の詳細については下記の表をご参照ください。

| アイコン | 機能 |
|------------------|---|
| 1 | このアイコンをクリック&ドラッグすることによって OSD スクリーンを画面上の任意の位置に移動することができます。 |
| ² | このアイコンをクリックするとホットキーセットアップユーティリティが表示されます。 詳細は p.117 をご参照ください。 |
| ~ | このアイコンをクリックするとビデオアジャストメントダイアログボックスが表示されます。また、右クリックするとクイック Auto Sync を実行します。詳細は p.120 をご参照ください。 |
| ۲ | クリックするとメッセージボードが表示されます。詳細は p.124 をご参照く ださい。 |
| Ct+Al Del | クリックするとローカルコンピュータに[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の信号を送 信します。 |
| \square | クリックするとリモートシステムのWindowsクライアントコントロールからログ アウトします。 |
| [空白スペース] | カーソルを空白のスペースに移動させると、リモートシステムのVGA解像 度とIPアドレスが表示されます。 |
| 1 A I | これら3 つのインジケータはリモートコンピュータの Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の各ステータスを表しています。アイコンをクリックする とそれぞれのステータスを切り替えます。 |
| | 在意 :KH1508i/KH1516i への初回接続時には、インジケータの表示が 正しくない可能性があります。ローカルの状態と同期させるために、一度 インジケータをクリックして再設定してください。 |



キーボード、ビデオ、マウスの設定に関する様々な機能は、ホットキー経由で操作することができます。ホットキーセットアップユーティリティはOSDコントロールパネルのキーボードアイコンをクリックすることで呼び出せます。セットアップユーティリティ画面は、下図のように、左側のホットキー アクション一覧と、右側の対応ホットキー一覧から構成されています。

| Hotkey Setup | |
|--|---|
| Actions: | Hotkeys |
| Exit remole location. Adjust video. Toggle OSD. Toggle mouse display. Adjust mouse. Substitute Alt Key. Substitute Ctrl Key. | F2,F3,F4. F5,F6,F7. F9,F10,F11. F11,F10,F9. F8,F7,F6. F12. LCtrl. |
| Keys: | |
| Start Stop Set | Close |

デフォルトで設定されているホットキーの組み合わせで不都合がある場合、下記の手順で任意のファンクションキーをホットキーに割り当てることができます。

- 1. ホットキーセットアップ画面で変更したいホットキーアクションを選択し、「**Start**」ボタンをクリックします。
- 2. [F1]~[F12]の任意のキーを入力します。(キーは1つずつ押してください。)入力したキーが Keys フィールドに表示されます。
- 3. 使用するキー入力を終えたら「Stop」ボタンをクリックします。
- 4. 「Set」ボタンをクリックします。他にも変更したいホットキーがある場合は同様の手順を繰り返 します。
- 5. 「Close」ボタンをクリックします。

| 注意: | 同じ組み合わせのファンクションキーを用いても、入力する順序を入れ替えれば複 |
|-----|---|
| | 数のホットキー操作を割り当てることができます。ただし、この場合には最初に入力 |
| | するキーを変えてください。他のホットキー入力と重複しないよう気をつけて設定し |
| | てください。 |
| | 例:以下のように[F1] [F2] [F3]のみを用いて異なる複数の操作を割り当てることが |
| | できます。 |
| | •[F1] [F2] [F3] |
| | •[F2] [F1] [F3] |
| | •[F3] [F2] [F1] |

ホットキー機能に関する詳細は下記の表の通りです。

| アクション | 機能説明 |
|----------------------|---|
| Exit remote location | KH1508i/KH1516i のリモート表示を終了します。 セッションは保持さ れたままです。 |
| Adjust Video | ビデオアジャストユーティリティを呼び出します。 |
| Toggle OSD | OSD の表示/非表示を切り替えます。 |
| Toggle mouse display | Full Screen Mode 下でマウスポインタが2つ表示されているために、 アクティブなマウスポインタがどれか分かりにくくなる状況が起こりえ ます。この機能を使うとリモートコンピュータのポインタを最小化しま す。 この機能が有効になっているとき、もう一度このホットキー操作を行う と元の状態(十字ポインタ)に戻ります。 |
| Adjust mouse | ローカルとリモートのマウスポインタ動作を同期します。このホットキ ーを実行すると、リモートマウスポインタがウィンドウの左上にセットさ れます。ローカルマウスポインタ(十字ポインタ)をリモートマウスポイ ンタの上に正確に重ね合わせ、左クリックすると同期が完了します。 |

(表は次のページに続きます)

| アクション | 機能説明 |
|---------------------|---|
| Substitute Alt key | KH1508i/KH1516i との接続中は、[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Delete]を除いたすべてのキーボード入力が KH1508i/KH1516i 側 に送られます。ローカルシステムに対して[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の機能を実行したい場合には、任意のファンクション キーを[Alt]キーの代替キーとして設定することができます。 例えば代替キーとして[Alt]キーの代わりに[F12]キーを使用すると、 [F12] + [Tab]、[Ctrl] + [F12] + [Delete]で同様の操作が行えます。 |
| Substitute Ctrl key | ホットキーとして[Ctrl]キーを使用した際にお使いのシステムで不都 合が生じる場合は、任意のファンクションキーを[Ctrl]キーの代替キ ーとして機能させることによって、この問題を回避することができま す。 例えば[F11]を使用すると、[F11] + [5]のキー入力はローカルコンピ ュータでは [Ctrl] + [5]のキー入力として処理されます。 |

注意: ホットキー操作を行うとき、使用するキーは押した後すぐに離すように操作してください。押している時間が長すぎると入力が無効になります。



「Video Options」ダイアログでは、お使いの環境に合わせてリモートモニタにおけるローカルディスプレイの表示位置および画質を調整することができます。OSD コントロールパネルのハンマーアイコンをクリックするか、Adjust Videoホットキー(p.117参照)を入力すると、以下のような画面が表示されます。

| Video Options: | | | | |
|---------------------------|-----------------------|---------------|--|--|
| Screen position: | -RGB: | | | |
| _ 1 | Red Gain: | | | |
| – → | Green Gain: | | | |
| Auto-Sync | Blue Gain: | | | |
| -Gamma: | Gamma: | | | |
| Default | • | Advanced>> | | |
| Min Max Video quality: | | | | |
| | | | | |
| Enable refre | esh Refresh | every 10 secs | | |
| Bandwidth Con | esh Refresh | every 10 secs | | |
| Bandwidth Con | ind: Froi: High | every 10 secs | | |

設定オプションの詳細については次のページに掲載されている表をご参照ください。

| オプション | 説明 |
|-------------------|--|
| Screen Position | 矢印ボタンをクリックすることによってローカルディスプレイの水平方向、垂 |
| | 直方向の調節をします。 |
| Auto-Sync | Auto-Sync をクリックすることによってローカルディスプレイの水平方向、垂 |
| | 直方向をリモートディスプレイに自動同期させます。 |
| | またローカルとリモートのマウスポインタが同期されていないとき、この機能 |
| | で同期させることができます。 |
| | 注意:この機能は画面の表示が明るいときでないと十分に効果が発揮され |
| | ません。 |
| | |
| | 自動同期の結果に満足されない場合は、「Screen Position」の矢印ボタンを |
| | 使って手動で設定しなおしてください。 |
| RGB | スライドバーを使って RGB(レッド、グリーン、ブルー)値を調節します。RGB |
| | 値が調節されると、イメージの RGB 構成要素が対応して調節されます。 |
| Gamma | ディスプレイガンマの値を調節します。この機能に関する詳細は次のセクシ |
| | ョンの「ガンマ値の調節」で説明しますので、そちらをご参照ください。 |
| Video Quality | スライドバーを使ってビデオの画質を調節します。20~100 の範囲の値を設 |
| | 定できます。値が大きくなれば画質は向上しますが、それだけ多くのビデオ |
| | データが転送されることになりますので、高い値を設定した場合お使いのネ |
| | ットワーク環境によってはレスポンスに要する時間に影響を与えるおそれが |
| | ございます。 |
| Bandwidth Control | 画質とデータ転送速度の比率を調節します。データ転送速度が低い環境で |
| | は、スライドバーを調節してビデオデータの転送量を下げてください。この設 |
| | 定における表示可能なスピードで画面をリフレッシュします。 |

ガンマ値の調節

リモートディスプレイのガンマ値を調節する必要がある場合は、「Video Options」ダイアログの Gamma 機能を利用してください。

- ◆ Basic 設定を行う場合、リストボックスに 10 項目のプリセット値および 4 項目のユーザー定義 値が表示されます。お使いのモニタに最適な値をリストボックスから選択してください。
- ◆ 更に高度な設定を行う場合は、「Advanced」ボタンをクリックしてください。以下のようなダイア ログが表示されます。

| Video Options: | |
|--|---------------|
| Screen position: RGB: Red Gain: Green Gain: Auto-Sync Blue Gain | ×000 y:000 |
| Gamma: Default T Basicscon Min Max Video quality: | |
| Enable refresh Refresh every 10 secs Bandwidth Control: | Save As Reset |
| OK Cancel | |

- ◆ ダイアログの右側に表示されている座標内をクリックまたは斜線をドラッグしてお使いの環境 に合うように設定してください。
- ◆ご自身で定義した値を保存する場合は、右下のリストボックスからユーザー定義項目のどの 項目を使用するか選択して「Save As」ボタンをクリックします。ここで保存した設定値は、左側 のリストボックスから選択することができます。
- ◆ ガンマ値の変更を取り消す場合は、「Reset」ボタンをクリックします。

- ◆ 変更内容を保存しダイアログを閉じる場合は「OK」ボタンをクリックします。
- ◆ 変更をキャンセルしダイアログを閉じる場合は「Cancel」ボタンをクリックします。
- **注意**: お使いのモニタを最適な状態に設定するために、リモートコンピュータのディスプレイを確認しながらガンマ値の設定を行ってください。



■■■ KH1508i/KH1516i はマルチユーザーログインをサポートしています。ログイン しているユーザー同士のコミュニケーションを可能にするために、一般的なメッセンジャータイプの インターフェースを有するメッセージボード機能を提供しております。

このメッセージボード機能は、標準的なチャットプログラムと同様の機能を備えております。 Windows クライアントのメッセージボードアイコン(p.116 参照)をクリックすると、以下のようなダイア ログが表示されます。



ボタンバー

メッセージボード内のボタンバーに配置されている各ボタンはトグルボタンで、操作するたびに 内容のオン/オフを切り替えます。各ボタンの機能は以下の表のとおりです。

| ボタン | 機能 |
|-------------|--|
| | チャット機能を有効/無効にします。チャット機能が無効になっている場合、 |
| | このボタンは網がけされた状態になり、メッセージボードにメッセージが送信 |
| | されても表示されません。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこ |
| | のアイコンが表示されている場合、そのユーザーがチャット機能を無効にし |
| | ていることを表しています。 |
| | キーボード・モニタ・マウス(KVM)を専有/開放します。KVM があるユーザ |
| | ーによって専有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他 |
| | のユーザーは画面のモニタリングおよびキーボード・マウスの操作ができな |
| 2000 | くなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表 |
| | 示されている場合、そのユーザーが KVM を専有していることを表していま |
| | す。 |
| | キーボード・マウスを専有/開放します。キーボード・マウスがあるユーザーに |
| | よって専有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユー |
| 30 | ザーは画面のモニタリングは可能ですが、キーボード・マウスの操作ができな |
| | くなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表 |
| | 示されている場合、そのユーザーがキーボード・マウスを専有していることを |
| | 表しています。 |
| 4 31 | |
| | ユーリーリストの衣小/ 升衣小を切り省んより。ユーリーリストを升衣小にり |
| | ると、エーサーリストハイルが闭しられます。エーサーリストが表示されている |
| | とさ、このホタンは網かけされた状態になります。 |

メッセージ表示パネル

ユーザーがメッセージボードに書き込んだメッセージはシステムメッセージと同様、メッセージ表 示パネルに出力されますが、チャット機能を無効にしている場合はボードにメッセージが書き込ま れても表示されません。

メッセージ入力パネル

メッセージを送信したい場合は、このメッセージ入力パネルに内容を書き込んで、「Send」ボタン をクリックするか、[Enter]キーを押してください。

ユーザーリストパネル

現在、KH1508i/KH1516i にログインしているユーザーの一覧は、ユーザーリストパネルに表示 されます。

- ◆ 自身のユーザーネームは青色で、その他のユーザーネームは黒色でそれぞれ表示されます。
- ◆ デフォルトでは、メッセージは全ユーザーに送信されます。ある特定のユーザー宛にメッセージを送信したい場合は、ユーザーリストパネルから対象となるユーザーを選択してから、メッセージを送信してください。
- ◆ 特定のユーザーの選択操作を行った後に、全ユーザーにメッセージを送信したい場合は、 ユーザーリストパネルから「All Users」を選択し、メッセージを送信してください。
- ◆ チャット機能を無効にしているユーザーは、ユーザーネームの横にチャット機能無効のアイコンが表示されます。
- ◆ キーボード・モニタ・マウス、またはキーボード・マウスを専有しているユーザーは、コントロー ルの専有アイコンがユーザーネームの横に表示されます。

| essage Board | × |
|--|---|
| S 😟 💌 🔟 | |
| administrator: The system will be going down in 5 minutes | All Users administrator rif111 jessica fernando |
| Send | |

Main タブ

このタブでは KH1508i/KH1516i の全ポートの一覧表示とポートアクセスの管理を行います。対象となるポートを選択しダブルクリックすることでそのポートに切り替えることができます。

| 注意: | アドミニストレーターは「User Management」メニューにおいて、各ユーザーがアクセ |
|-----|--|
| | スできるポートを設定することができます。(詳細については p.93 を参照) |

- ◆ OSD ではコンピュータがツリー形式で表示されます。ツリーを展開し、特定のステーションに おけるポートを参照する場合は、ステーション番号の前に表示されている[+]印をクリックして ください。また、ツリーを閉じる場合はステーション番号の前に表示されている[-]印をクリック してください。
- ◆ モニタのイメージで作られたポートアイコンはポート番号の前に表示されます。ポートに接続 されたコンピュータに電源が入っている場合は、そのポートアイコンのモニタ部分が緑色に点 灯します。
- ◆ クイックビューポートとして選択されているポートはポートアイコンのモニタ部分に赤い目のア イコンが表示されます。
- ◆ ダイアログの右上には以下の2つのボタンが設けられています。各ボタンの機能は以下のとおりです。

| ボタン | 機能 |
|-----|---|
| Ex | Log out:このボタンを押す(または[F8]キーを押す)と、OSD メニュ |
| | ーを終了し、KH1508i/KH1516i とのセッションからログアウトしま |
| | す。 |
| | Close:このボタンを押す(または[Esc]キーを押す)と、OSD メニュー |
| × | を終了しますが、KH1508i/KH1516i とのセッションからはログアウト |
| | しません。OSD のホットキーを入力することで OSD メニューを再び |
| | 呼び出すことができます。(p.113「OSD Hotkey」参照) |

また、アドミニストレーターはこのタブを使って、クイックビューポートの設定、およびポート名の作成・編集・削除を行うことができます。

<u>クイックビューポート</u>

ある特定のポートをクイックビューポートとして設定しておくと、KH1508i/KH1516i はオートスキャンモードでそれらのポートをのみを対象にスキャンします。KH1508i/KH1516i がクイックビューとして設定されているポートのみをスキャンするように設定されている場合、このダイアログでクイックビューポートとして設定しておくと、オートスキャンが実行されたときにスキャンの対象となります。

設定対象となるポートを選択し、[Space]キーを押すことによって、クイックビューの設定/設定解除を行うことができます。ポートがクイックビューポートとして選択されると、ポートアイコンのモニタ部分に赤い目が表示されます。ポートがクイックビューとして選択されていないと、この赤い目のアイコンは表示されません。

リスト機能

リスト機能によって OSD メニューの Main タブにポートを表示する範囲を拡大/縮小することができます。リスト機能を有効にする場合は、ダイアログ右上ににある三角ボタンを押すか、[F3]キーをクリックしてください。



青色の三角ボタンをクリックすると、下図のように画面が切り替わりリストに表示するポートを選択 することができます。



青色の三角ボタンを押したときに表示されるリストボックスでは、表示の対象となるポートの属性 を選択することができます。選択できる内容は以下の表のとおりです。

| 項目 | 内容 |
|-------------------------|-------------------------------------|
| All | 設置されているポート全てをリストアップします。 |
| Powered On | 接続されているコンピュータの電源がオンになっているポートをリ |
| | ストアップします。 |
| Quick View | クイックビューポートとして選択されたポートをリストアップします。 |
| Quick View + Powered On | クイックビューポート(p.128 参照)として選択され、かつ接続されて |
| | いるコンピュータの電源がオンになっているポートをリストアップし |
| | ます。 |

Main タブの右上にあるテキストボックスには、ポートネームでポートを検索する際の条件を入力 することができます。「?」や「*」といったワイルドカードを用いた検索にも対応しておりますので、複 数ポートを検索・表示することが可能です。例えば、「Rn*」という文字列で検索すると、下図のよう に「RnD01」、「RnD02」というポートネームを持ったコンピュータがリストに表示されます。

| KH1508i Main 🛃 🕹 |
|-----------------------------------|
| Main Configuration Administration |
| ≜ |
| All 🔽 Rn* 🦓 |
| |
| 🖸 [01-06] RnD 01 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

- ◆ ポートを検索する場合は、テキストボックスに検索したい文字列を入力し、テキストボックスの 横にある双眼鏡のアイコンをクリックするか[Enter]キーを押してください。
- ◆ デフォルトのリスト表示に戻す場合は、テキストボックスから文字列を削除し、テキストボックスの横にある双眼鏡のアイコンをクリックするか[Enter]キーを押してください。
- ◆ リスト機能を非表示にする場合は黒色の三角ボタンをクリックするか、[F3]キーを押してください。

<u>ポートネーム</u>

ポートに接続されているコンピュータの管理を容易にするために、各ポートに名前をつけること ができます。アドミニストレーターはこのフィールドを使ってポートネームの作成・編集・削除を行う ことができます。ポートネームを設定する場合は以下の手順で操作してください。

- 1. 編集したいポートをクリックし、[F2]キーを押すか、ハイライトバーをもう一度クリックします。
 - **注意**: この操作は、最初のクリックが終わって、しばらくしてから 2 回目のクリックを行い ますので、いわゆるダブルクリックとは異なります。選択されたポートをダブルクリ ックすると、選択されたポートにアクセスします。

1~2秒すると、ポートネームの表示欄がテキストボックスに代わり、編集が可能になります。

| KH1508i Main Ex 🗴 | I |
|-----------------------------------|---|
| Main Configuration Administration | |
| □ | |

2. このテキストボックスを使って、ポートネームの作成、編集、または削除を行います。



3. ポートネームを編集し終わったら、テキストボックス以外の場所をクリックして、操作を完了してく ださい。



ポート操作

ポートが OSD メニューで選択されると、リモート側のモニタにはローカルシステムの画面が表示 され、リモートコンソールからの入力はローカルシステムへ送られます。

注意: アドミニストレーターは「User Management メニュー」機能を用いて各ユーザーが アクセスできるポートを設定することができます。(詳細は p.93 参照)

OSD ツールバー

ポート操作を簡単にするため、KH1508i/KH1516i では OSD ツールバーを提供しています。ツ ールバーを呼び出すには、OSD ホットキー操作を行います(デフォルトは[Scroll Lock]2 度押し)。 ツールバーは画面の左上部に表示されます。



- ◆ お使いの KH1508i/KH1516iの「ID Display」の設定(p.112「Configuration タブ」参照)に応じて、ポート番号、ポートネーム、またはその両方がツールバーの右端に表示されます。
- ◆ ツールバーが表示されている間、マウスからの入力はツールバーの操作に対してのみ有効です。
- ◆ ツールバーが表示されている間、キーボードからの入力はすべて無効となります。キーボードからの入力を有効にする場合は、ツールバー内の「×」ボタンをクリックする、もしくは[Esc] キーをクリックしてツールバーを終了してください。この操作を行ってもOSDを呼び出して、ポートを再選択することが可能です。
- ◆ キーボード入力がお使いのコンピュータで無効である場合でも、以下のポート操作機能はキ ーボードから行うことができます。
 - スキップモードによるポート切り替え(詳細に関してはp.144の「スキップモード」をご参照 ください)
 - ▶ オートスキャン(詳細に関しては p.143 の「オートスキャンの実行」をご参照ください)

OSD 画面の再呼び出し

ツールバーを閉じて OSD 画面(Main、Configuration、Administration 各タブ)に戻る場合は以下のいずれかの操作を行ってください。

- ◆ OSD ホットキー(デフォルトは[Scroll Lock])を1回押す。
- ◆ ツールバーから OSD を起動するアイコンをクリックする。(p.136 参照)

この操作によってツールバーが画面から消えて、OSDの Main タブが表示されます。

OSD ホットキー一覧

下記の表は OSD ホットキー操作の一覧です。p.113 の「OSD Hotkey」の内容を参照し、OSD ホットキーを設定してください。

| 動作 | ケース | 操作 |
|--------------|----------------|-------------------------|
| OSD ツールバーを開く | OSD ツールバーが開いてい | OSD まいたーを2回加い加ます |
| | ないとき | しいのかり、そこ回クリックします。 |
| OSD 画面を開く | OSD ツールバーが開いてい | OSD まいたーを1回加い加ます |
| | るとき | しいのからなるを1回クリックします。 |
| OSD 画面を開く | OSD ツールバーが開いてい | OCD ナットキーな 2 回加しの オナ |
| | ないとき | 05D かットイーを 5 回クリックしまり。 |

ツールバーアイコン

ツールバーの各アイコンの説明は以下の表をご参照ください。

| ボタン | 機能 |
|-----|---|
| | ディスプレイのカラー表示/モノクロ表示を切り替えます。モノクロ表示に設定 すると、転送されるデータが少なくなるため、ネットワークのデータ転送速度 がそれほど期待できない環境であってもデータ転送の高速化が実現できま す。 |
| K | OSD を起動することなく最初のアクセス可能なポートに接続されたコンピュー タに切り替えます。 |
| | OSDを起動することなく一つ前のアクセス可能なポートに接続されたコンピュ ータに切り替えます。 |
| G | オートスキャンモードを開始します。KH1508i/KH1516i は「Scan Select」 (p.113 参照)の項目でオートスキャンに設定されたポートを自動的に切り替 えるようになります。この機能により、手動でポートを切り替える操作をしなく てもコンピュータの状態を順次監視することができます。 |
| •• | OSD を起動することなく次のアクセス可能なポートに接続されたコンピュータ に切り替えます。 |
| m | OSD を起動することなく最後のアクセス可能なポートに接続されたコンピュー タに切り替えます。 |
| 1% | OSD 画面を呼び出します。 |
| × | ツールバーを閉じます。 |

(表は次のページに続きます)

| ボタン | 機能 |
|-----|--|
| Ex | ログアウトして Windows クライアントを終了します。 |
| | パネルアレイモード(p.138 参照)を起動します。 |
| 2 | KH1508i/KH1516iに接続されているカテゴリ5ケーブルの長さに基づいて、 コンピュータモジュールの補整モードの選択(Short、Medium、Long)を行い ます。ケーブルの長さに応じてアイコンが切り替わります。 |

パネルアレイモード

OSD ツールバーのパネルアイコンをクリックするとパネルアレイモードが起動します。このモードでは、4 マス×4 マスの 16 分割で接続されているコンピュータの画面を表示することができます。

| 01 | 02 | 03 | |
|--|----|----|----------------------------|
| | 06 | 07 | 08 |
| 09 | 10 | | 12 |
| 13 | | 15 | 16 ⊕ II ₩ 4 ₩ ₩ + - ½ X |
| Port 10: , No video, Power off, Full access. | | | |

- ◆ それぞれのパネルは KH1508i/KH1516i のポートに対応しています。一番左上から右に向かってポート1、ポート2、上から2段目左からポート5、6…、という順序で並び、ポート16が右下角に配置されます。
- ◆ パネルアレイモード初回起動時、ConfigurationタブのScan Select機能(p.113参照)でオート スキャンポートとして選択されたポートを自動でスキャンし、画面下にポートネーム/解像度/ オンラインステータス/ポートアクセスステータスの各状態を表示します。
- ◆ パネルアレイモードで表示されるパネル数(4×4=16、3×3=9、2×2=4、1)は、パネルアレイ ツールバーの「Show More Ports (+)」、「Show Fewer Ports (-)」をクリックすることで変更できます。
- ◆ ポートに接続されたコンピュータが電源オンの場合は画面がパネルに表示されます。電源が オフの場合、パネルには何も表示されません(ブランク)。

- ◆ 現在ログインしているユーザーがアクセス可能なポートだけがパネルに表示されます。(p.96の「Port Access」を参照)アクセス権がないポートに対応したパネルには何も表示されません。
- ◆ マウスポインタをパネル上に移動させると、そのパネルに対応したポートの情報が画面下に 表示されます。
- ◆ マウスポインタをアクセスしたいポートに対応したパネルの上に移動させてクリックすると、そのポートにアクセスできます。

パネルアレイツールバー

画面右下に表示されるパネルアレイツールバーは、各パネルへのショートカット操作やパネルの 管理を行うことができます。各項目の詳細は以下のとおりです。

| ボタン | 機能 |
|----------|----------------------------|
| + | ツールバーを移動します。 |
| | スキャンを一時停止します。 |
| H | 4 つ前のポートへ移動します。 |
| | 前のポートへ移動します。 |
| • | 次のポートへ移動します。 |
| H | 4 つ先のポートへ移動します。 |
| + | 表示ポートを増やします。(1→4→9→16 分割) |
| | 表示ポートを減らします。 (16→9→4→1 分割) |
| 4⁄3 | 画面を 4:3 比率に固定します。 |
| X | パネルアレイモードを終了します。 |

| 注意: | パネルアレイモード起動時における、複数ユーザーによる操作上の注意事項 |
|-----|------------------------------------|
| | は、p.141 の「マルチユーザーによる操作」をご覧ください。 |

マルチユーザーによる操作

KH1508i/KH1516iはマルチユーザー対応製品で、最大32ユーザーによる同時ログインが可能です。複数ユーザーが同時にリモートコンソールからKH1508i/KH1516iにアクセスした場合に適用される操作の優先順位のルールは以下の表のとおりです。

| 操作 | ルール |
|-------------------|---|
| Comorol | ◆ あるユーザーがOSD画面を起動すると、そのユーザーがOSD画面を |
| General | 閉じるまで、ほかのユーザーは OSD を起動することができません。 |
| | ◆ あるユーザーがオートスキャンモード(p.142 参照)を起動しているもの |
| Auto Scan Mode | の OSD が起動していない場合、ほかのユーザーは OSD 画面を起動 |
| | してオートスキャンモードに割り込むことができます。 |
| | ◆ あるユーザーがパネルアレイモード(p.138 参照)を起動すると、すべ |
| | てのユーザーがパネルアレイモードになります。これは、最初に起動 |
| | したユーザーがパネルアレイモードを終了するまで続きます。(ただ |
| | し、アドミニストレーターがパネルアレイモードを起動した場合は、そち |
| | らが有効になります。) |
| | ◆ パネルアレイモードを起動したユーザーのみがスキップモード機能を |
| | 使用することができます。 |
| | ◆ パネルアレイモードを起動したユーザーおよびアドミニストレーター権 |
| Danal Annou Mada | 限のあるユーザーのみがポートを切り替えることができます。他のユ |
| Fallel Allay Mode | ーザーも自動的に最初のユーザーが選択したポートに切り替わりま |
| | す。 |
| | 注意: ユーザーが切り替えられたポートに対して表示権限がない場合 |
| | は、そのポートをモニタリングすることはできません。 |
| | ◆ 各ユーザーはパネルアレイモードで表示したいパネルの枚数の増減 |
| | が可能ですが、表示するパネルの数を減らした場合、画質が劣化す |
| | る場合がございます。 |

注意: 他のユーザーが表示画面の画像をすべて受信するためにも、パネルアレイモー ドを起動したユーザーは最低4パネルの表示に設定することを推奨します。

キーボードによるホットキー操作

ホットキー操作によってポートに対する切替操作を直接キーボードから行うことができます。 KH1508i/KH1516iは以下のホットキー操作をご用意しています。

◆ オートスキャン

♦ スキップモード

ホットキーは[A]および[P]がオートスキャン、矢印キーがスキップモードです。

| 注意: | 1. | ホットキー操作が正しく機能するためには、OSD ツールバーが表示されてい |
|-----|----|---|
| | | る必要があります。(詳細は p.133 の「ポート操作」を参照)ホットキーとして使 |
| | | 用されているキーをホットキー以外の目的で操作する場合にはこのOSDツー |
| | | ルバーを閉じてください。 |
| | 2. | パネルアレイモード起動時における、複数ユーザーによる操作上の注意事 |

項は、p.141の「マルチユーザーによる操作」をご覧ください。

オートスキャン

オートスキャン機能は現在ログインしているユーザーがアクセス可能なすべてのポートを一定の 間隔で自動的に切り替え、監視することができます。(アクセス可能なポートについては p.113 の 「Scan Select」をご参照ください。)

スキャンインターバルの設定

オートスキャンモードでポートを表示している時間の長さを設定するには、p.113 の「Scan Duration」の項目をご参照ください。

オートスキャンの実行

オートスキャンを開始するには、[A]キーを押してください。オートスキャン機能は接続されたポートの最初から順番に表示を切り替えていきます。ポートIDディスプレイの前にSの文字が表示されているポートは、そのポートがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。

オートスキャンの一時停止

オートスキャンモードを実行している間、一時的に特定のポートを表示させておきたい場合は[P] キーを押してください。オートスキャンモードが一時停止されている間、表示しているポートのポー ト ID の前に S の文字が点滅します。

特定のポート位置での一時停止機能は、再開した際に停止した位置からスキャンを開始できる ため、オートスキャンを一度終了してアクセスしなおすよりも便利です。オートスキャンを一度終了 させてしまうと、次のオートスキャン開始時には接続されている最初のポートからスキャンを開始し ます。一時停止状態からオートスキャンモードに復帰するには、[Esc]キーと[Space]キー以外の任 意のキーを押してください。この場合、一時停止した位置からスキャンを再開します。

オートスキャンの終了

オートスキャンモードが実行されている間、キーボードの入力は基本的にサスペンド状態となっ ており、操作を受け付けません。キーボードを通常使用して、そのポートに接続されたコンピュー タを操作するためにはオートスキャンモードを終了させなくてはなりません。オートスキャンモード を終了するには[Esc]または[Space] キーを押してください。このとき、オートスキャンは前回終了し たところから処理を再開します。

<u>スキップモード</u>

スキップモードは手動でコンピュータを切り替えて監視する機能です。オートスキャンモードがあ らかじめ設定した間隔で自動的にポートを切り替えるのに対し、スキップモードでは特定のポート を任意の時間表示させたままにしておくことができます。スキップモードホットキーは四つの矢印キ ーを使います。各キーの機能については以下をご参照ください。

| キー | 機能 |
|---------------|---|
| ← | 現在のポートから一つ前のアクセス可能なポートに移動します。(アクセス可 |
| | 能なポートについては p.113 の「Scan Select」をご参照ください。) |
| \rightarrow | 現在のポートから一つ後ろのアクセス可能なポートに移動します。 |
| <u> </u> | 現在のポートから、KVM スイッチにおける最初にアクセス可能なポートに移 |
| | 動します。 |
| \downarrow | 現在のポートから、KVM スイッチにおける最後にアクセス可能なポートに移 |
| | 動します。 |
キーボード操作に関する注意事項

KH1508i/KH1516i にリモートアクセス中、[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の組み合わせ を除いて、すべてのキーボード入力がKH1508i/KH1516i 経由でローカルコンピュータに対して実 行されます。上記の2つの組み合わせは、リモートコンピュータのアプリケーション切替時およびシ ステムトラブルからの回復時にKH1508i/KH1516i 側への入力が回避されるように設計されていま す。KH1508i/KH1516i がローカル接続しているコンピュータに対して[Alt] + [Tab]や[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の入力を実行したい場合には、[Alt]キーや[Ctrl]キーの代わりに任意のファンクション キー([F1]~[F12])を設定することができます。

例えば、[Ctrl]キーの代替キーとして[F11]キーを、[Alt]キーの代替キーとして[F12]キーをそれ ぞれ使用する場合、ローカルシステム側では[F12] + [Tab] の入力は[Alt] + [Tab]として、また、 [F11] + [F12] + [Del] のキー入力は[Ctrl] + [Alt] + [Del]としてそれぞれ認識されます。代替キー の詳細は p.117 のホットキーの設定をご参照ください。

| 注意: | 1. | ファンクションキーのいずれかが[Alt]代替キーとして設定されている場合、絶対 |
|-----|----|--|
| | | にそのキーを他の機能呼び出しに使用しないでください。 |
| | 2. | リモートコンピュータが Windows98 を搭載し、Full Screen Mode で |
| | | KH1508i/KH1516i にアクセスした際に、誤って[Ctrl] + [Alt] + [Del]を実行した |
| | | 場合、Windows クライアントコントロールパネルの矢印アイコンをクリックして |
| | | Windows クライアントを終了し、KH1508i/KH1516i の Web ページから Windows |
| | | クライアントを再度ダウンロードし実行しなければなりません。 |

マウス同期に関する注意事項

リモートアクセスの際にマウスポインタが同期できない場合は、下記の手順に従って設定を行ってください。

Windows 2000

[スタートボタン]→[設定]→[コントロールパネル]→マウスのプロパティ を開きます。 "動作 "タブを開きます。

以下のように設定します。

| 速度 | 中間に設定します |
|---------------|-------------|
| 加速 | 「なし」チェックします |
| 既定のボタンに移 動 | チェックをはずします |

| A Remote View: | マウスのプロパティ <u>? ×</u> |
|--|---|
| | #タシ│#インタ動作│ハードウェァ│ 中間に設定 |
| +RS·→·□ Q (株 ら)70/8 ③ 留 (× 10) 回· PFU2(2) 回 12/10-16/14/4 ・ で ウスをダブルクリック | 速度 は ポインタの動く速さを調節します |
| コントロール パネル サーム コントロ サウンドをつける システム フターとわかう タスタ メディア システム フターとわかう タスタ マイ 35107 コントロール パネル サーム コントロ サウンドをつける システム フターとわかう タスタ マイ 35107 コントロール パネルを使火、コンピュータ の設置を終われたになりて変更できます。 マーム マーム | カロ連 カロ連 ポインタをすばやく動かしたときに、どれだけ加速するかを調節します で 及し(1) の 速く(1) の 速く(1) |
| Alternet Explore のパンピ 自動更新 地域のオグショ 意識オグラシン 受諾とモデムの 日何と時向 新規第新 地域のオグション 意識オグラシン 日何と時向 1 新規第新 地域のオグション 夏福オグラシン 日何と時向 1 新しいパッパレクション 夏福ノマムシン 日何と均向 日何と均向 | いたのホタノに移動の |
| ● 今米額な 日間日 1024X765@60 10.0.6.234 | |

マウスポインタを一旦リモートウィンドウの外に出し、再度マウスポインタをリモートウィンドウに戻す事で、マウスポインタ位置が自動的に調整されます。

フルスクリーン表示の場合には、マウスポインタを右下の OSD ツールバー上まで移動し、再度 画面上に戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

[Windows XP/Windows Server 2003]

[スタートボタン]→[設定]→[コントロールパネル]→[マウス]を選択し、マウスのプロパテ イ を開きます。

"ポインタオプション"の設定をします。

以下のように設定します。

| 速度 | 中間に設定します 「ポインタの精度を高める」のチェックをはずす |
|----|------------------------------------|
| 動作 | チェックをはずします |
| 表示 | 全てのチェックをはずします |



マウスポインタを一旦リモートウィンドウの外に出し、再度マウスポインタをリモートウィンドウに戻す事で、マウスポインタ位置が自動的に調整されます。

フルスクリーン表示の場合には、マウスポインタを右下の OSD ツールバー上まで移動し、再度 画面上に戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

[Windows Vista]

[スタート]→[コントロールパネル]→ [マウス]を選択し、マウスのプロパティ を開きます。 "ポインタオプション"から設定をします。

以下のように設定します。

| "注 年 | 中間に設定します |
|------|------------------------|
| 坯皮 | 「ポインタの精度を高める」のチェックをはずす |
| 動作 | チェックをはずします |
| 表示 | 全てのチェックをはずします |



マウスポインタを一旦リモートウィンドウの外に出し、再度マウスポインタをリモートウィンドウに戻す事で、マウスポインタ位置が自動的に調整されます。

フルスクリーン表示の場合には、マウスポインタを右下の OSD ツールバー上まで移動し、再度 画面上に戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

[Linux Redhat]

[個人設定]→[マウス設定]→全てのスライドバーを中間に設定します。

マウスポインタを一旦リモートウィンドウの外に出し、再度マウスポインタをリモートウィンドウに戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

フルスクリーン表示の場合には、マウスポインタを右下の OSD ツールバー上まで移動し、再度 画面上に戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

[SUN Solaris]

[Terminal]起動後に下記のようにタイプします。

xset m 1

マウスポインタを一旦リモートウィンドウの外に出し、再度マウスポインタをリモートウィンドウにも 戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

フルスクリーン表示の場合には、マウスポインタを右下の OSD ツールバー上まで移動し、再度 画面上に戻す事でマウスポインタ位置が自動的に調整されます。

【設定を行ってもマウスカーソルが同期しない場合】

上記の設定でポインタが上手く同期されない場合は、以下の操作を行ない、アクティブポインタ を最小化(十字型カーソルから点字型カーソルに変更)してご使用ください。

この機能は、フルスクリーンモードのみで使用できます

ファンクションキーを次の順番で押します。

[F11]→[F10]→[F9]

もう一度、上記操作を行うと、元の設定に戻ります。

第8章 Java クライアントによるポート操作

Main タブ

Java クライアントを使って KH1508i/KH1516i に接続を切り替えると(p.89 参照)、OSD メニューの Main タブ画面がお使いのモニタの中央に表示されます。



OSD 画面は「Main」、「Configuration」、「Administration」の3つのタブメニューから構成されています。Configuration タブ、Administration タブについては第6章で詳しく説明します。

また、Main タブは Windows クライアントと同様ですので、詳細については p.127 をご参照ください。

注意: Administration タブは、アドミニストレーター権限がないユーザーが OSD を呼び 出したときには無効になっています。

Java クライアントコントロールパネル

Windows クライアントには Windows クライアントコントロールパネルの機能がありますが、Java クライアントでは、画面中央下部のブランクエリアに隠れたコントロールパネルを使用します。マウスポインタをこのエリアに移動させると、ツールバーが表示されます。



Java クライアントコントロールパネルの各アイコンおよび機能については以下のセクションで説明します。

<u>ビデオアジャスト</u>

このボタンをクリックすると、「Video Settings」ダイアログを表示します。

| Video Settin | igs | | |
|--------------|-----------|--------------|---------|
| <u>†</u> | Red: | | Max |
| <u>+</u> | Green | | Max |
| Auto-Sync | Blue: | lini lini | Max |
| Gamma: | Default | ▼ Advanced>> | |
| Quality: | i i i i i | | Max |
| Bondwidth: | Enabled | High | Low |
| | OK | Cancel | |

このダイアログボックスは、Windows クライアントの「Video Options」ダイアログと同様にお使いいただけます。詳細については p.120 をご参照ください。



<u>ソフトウェアキーパッド</u>

ー部のキーボード入力が KH1508i/KH1516i に 送られない場合がありますので、その場合はこのソフトウェアキー パッドを使用して入力することが可能です。





マウスポインタの同期に関しては、p.146を参考にして設定を行ってください。



<u>メッセージボード</u>

KH1508i/KH1516i はマルチューザーログインをサポートしています。ログインしているユーザー同士のコミュニケーションを可能にするために、一般的なメッセンジャータイプインターフェースのメッセージボード機能を提供しております。

Java クライアントツールバーのメッセージボードアイコン(p.151 参照)をクリックすると、以下のようなウィンドウが表示さます。



メッセージボードボタンバー

メッセージボード内のボタンバーに配置されている各ボタンはトグルボタンで、操作するたびに 内容のオン/オフを切り替えます。各ボタンの機能は以下の表のとおりです。

| ボタン | 機能 |
|----------|--|
| | チャット機能を有効/無効にします。チャット機能が無効になっている場合、 |
| _ | このボタンは網がけされた状態になり、メッセージボードにメッセージが送信 |
| | されても表示されません。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこ |
| | のアイコンが表示されている場合、そのユーザーがチャット機能を無効にし |
| | ていることを表しています。 |
| | キーボード・モニタ・マウス(KVM)を専有/開放します。KVM があるユーザ |
| | ーによって専有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他 |
| B | のユーザーは画面のモニタリングおよびキーボード・マウスの操作ができなく |
| 5556 I | なります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表 |
| | 示されている場合、そのユーザーが KVM を専有していることを表していま |
| | す。 |
| | キーボード・マウスを専有/開放します。キーボード・マウスがあるユーザーに |
| | よって専有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユー |
| 1000 | ザーは画面のモニタリングは可能ですが、キーボード・マウスの操作ができな |
| | くなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表 |
| | 示されている場合、そのユーザーがキーボード・マウスを専有していることを |
| | 表しています。 |

| Message Board | X |
|---------------------|--------|
| | |
| | rjf111 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | i] |
| | Send |
| rif111 occupied KVM | |
| | |

- ◆ ユーザーがメッセージボードに書き込んだメッセージはシステムメッセージと同様、メッセージ 表示パネルに出力されますが、チャット機能を無効にしている場合はボードにメッセージが 書き込まれても表示されません。
- ◆ メッセージを送信したい場合は、メッセージ入力パネルで内容を編集し、「Send」ボタンをクリ ックしてください。

- ◆ 現在、KH1508i/KH1516i にログインしているユーザーの一覧は、ユーザーリストパネルに表示されます。
 - デフォルトでは、メッセージは全ユーザーに送信されます。ある特定のユーザー宛にメッ セージを送信したい場合は、ユーザーリストパネルから対象となるユーザーを選択して から、メッセージを送信してください。
 - ▶ 特定のユーザーの選択操作を行った後に、全ユーザーにメッセージを送信したい場合は、ユーザーリストパネルから「All Users」を選択し、メッセージを送信してください。
 - ユーザーがチャット機能を無効にしている場合、ユーザーリストパネルのユーザーネームの前に該当アイコンが表示されます。
 - ユーザーが KVM やキーボード・マウスを専有している場合、ユーザーリストパネルのユ ーザーネームの前に該当アイコンが表示されます。
 - ユーザーリストの表示/非表示を行う場合は、メッセージ表示パネルとユーザーリストパネルの間にある三角ボタンをクリックしてください。



LED ロック・解像度

ツールバー中央の3 つのインジケータは、リモートコンピュータの Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の各ステータスを表しています。ロック状態

になると、各インジケータは緑色に点灯します。また、アイコンをクリックするとそれぞれのステータ スを切り替えます。

注意: まれに初期接続時にインジケータの表示が実際と異なっている場合があります。その ような場合はローカルの状態と同期させるために、インジケータをクリックして正しい内 容に設定してください。

また、このアイコンにはリモートポートに接続されているデバイスのビデオ解像度が表示されます。



<u>スクリーンモード</u>

このボタンをクリックすると、ローカルディスプレイの最大化/縮小(Window モード)を切り替えます。(デフォルトでは Java クライアントは Full Screen Mode で表示されます)



Java クライアントについて

このボタンをクリックすると、「About」ダイアログボックスが表示され、お使いの Java クライアントのバージョン情報を確認することができます。ダイアログボックスを閉じる場合は「OK」ボ タンをクリックしてください。



[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の実行

このボタンをクリックすると、ローカルコンピュータに[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の信号

が送信されます。



ヘルプ

このボタンをクリックすると Java クライアントのオンラインヘルプ(英語)が表示されま

す。



<u>終了</u>

このボタンを押すと、Java クライアントのセッションを終了します。

ポート操作

Java クライアントにおけるポート操作は Windows クライアントと同様にお使いいただけます。詳細に ついては p.133 をご参照ください。

パネルアレイモード

Java クライアントのパネルアレイモードは、Windows クライアントのパネルアレイモード(p.138 参照) と基本的には同じようにお使いいただけますが、ツールバーに若干異なる機能がございます。Javaク ライアントのパネルアレイモードツールバーの各項目の詳細は以下のとおりです。

| ボタン | 機能 |
|----------|-------------------|
| | パネルスキャンを一時停止します。 |
| | 4 つ前のポートへ移動します。 |
| ۲ | 前のポートへ移動します。 |
| ۲ | 次のポートへ移動します。 |
| | 4 つ先のポートへ移動します。 |
| ۲ | 表示ポートを増やします。 |
| Θ | 表示ポートを減らします。 |
| (%) | 画面を 4:3 比率に固定します。 |
| 8 | パネルアレイモードを終了します。 |

注意: 一時停止ボタンをクリックすると、パネルはポートのスキャンを停止しますが、この とき、このボタンの外観(一時停止ボタン)が矢印ボタンに、ツールチップが 「Resume」にそれぞれ変わります。スキャンを再開する場合は、この「Resume」ボタ ンをクリックします。

キーボードによるホットキー操作

Java クライアントにおけるホットキー操作は Windows クライアントのホットキー操作と同様にご利用いただけます。詳細については p.142 をご参照ください。



メイン画面

KH1508i/KH1516i では、内部で発生したすべてのイベントを記録します。ログファイルの内容を参照する場合は、Web 画面左下に位置する「Log」アイコンをクリックしてください。このアイコンをクリック すると以下のような画面が表示されます。

| ALTUSEN | | | 8 | a |
|--|----------------------------------|---|---|--|
| | General | Sinc | Pethoare | Logout |
| | | | Chinese and | |
| | | | and the second second second | |
| | | | | and the second se |
| Window Clinet | | KRI1516i Log | Information | |
| | 2007-05-25 | | | and the second se |
| Iner Clinet | tale 26 IN Londing eye | ten setting | | the second se |
| Java Chent | uki28/19 Accept new | 3 ⁴ : 10.0.200.67 | | and the second se |
| Concession of the local division of the loca | 11/20151 Syle Colored | cted with 10.0.13.229 (20-4)-01-41-87-8 | 45 | Section of Concession, Name of Street, or other |
| Windows Client | IIIIN SI Syst Access | r vie wirelowe clent QP = 10.0.53.529 MA | C = 00-1445-03-2F-005 | and the second se |
| the second se | 13(29-52 User admit | etware OF + 10.0.13,220 MAC + 00-14-0 | 5-02-3*-862 attensing to login. | the second s |
| Java Client | E3:20:04 Sys Decore | meched with 20.0.13.729 (00-40-01-41-67 | MBA) | the second se |
| Statement of the local division of the local | 13:20:12 Sylt Careva | chef with 10.0.13.229 (30-40-01-45-67-8 | 40 | and the second se |
| Log Server | L12122 Usp adves | exater New 00-40-01-41-67-64 38.0.51 | 229 Attempting to login | the second s |
| Concession of the local division of the | 11/22/05 Sys: Corre | cleat with 10.0.13.229 (30-40-01-41-62-8 | 49 | and the second design of the s |
| EQN 3 | 11/22-10 Session Inv | A.C. | | |
| PUN | 11:22:18 Liter admin | aitator ((P = 10.0, 13.220) attempting to k | 197. | and the second se |
| | 1122-UP Syle Access | 1 108 Java darit (34 = 12.3.13.229)- | | and the second se |
| Log | 11/23/23 Videal Onte | cang video mode: 2024x768@40. | | and the second se |
| and the second se | 11:23:23 Video: Start | | | and the second se |
| ACC - COMMENTS | 11:24 08 Video: Ship | | | D |
| | 11/24/0E Syst Owner | Cected with 13.0.13.779 (00-40-01-41-67 | | |
| | 1130-4 Ste Carrie | Cled el 01 10.0.13.229 (00-40-01-41-07-6 | A | Statement of the local division of the local |
| | 11:57:00 Line advers | ettator (3P + 10.0.13.129) attanticity to k | pr. | The second se |
| | E1:57:00 Sylt Acres | nie Jave dent (P = 10.0.13.729). | | and the second se |
| | 11:57:23 Video: 50#1 | | | the second second second second |
| | 11/57/24 Wdgsi Dete | caud wates wode: 30544/46/Betr | | and the second se |
| | TTIBE A ADAT 2004 | | and the second se | and the second se |
| | LINE W SHE CHINE | restrict materials. In 229 (DD-40-011-41-61 | and a second | and the second se |
| | LEAST DIE COVE | Card web 10-0-12-224 (00-42-01-41-47-8 | | and the second designed in the second designed in the second designed and the |
| | I DATE OF LOSS AND ADDRESS | and a real of the solution of | | Contraction of the local division of the loc |
| | The The States States | and varia count for a new synamic | | and the second se |
| | 12 40 20 Video Date | the state and the state | | the second se |
| | 13.50-20 Video: Since | and A series some size as a set and size. | | <u> </u> |
| | 13 Up 28 See Dame | narted with 12.0 12.235 (00.40.01.41.81 | LEAD | 0 |
| | 16,22.54 Line admini | Maine Box 00-40 01 41 67 84 10 0 11 | 229 attemperat to incire | |
| | Contraction of the second second | | | Clearing |
| | | | | |

最大 512 項目のイベントをログファイルで管理することができます。ログファイルをクリアする場合は、 画面右下に位置する「Clear Log」アイコンをクリックしてください。

注意: このログファイルは KH1508i/KH1516i の電源が切られたとき、また、電力不足 になったときに、自動的に削除される一時ファイルです。ログファイルの内容の バックアップを作成される場合は、ログサーバをインストールすることをお勧めし ます。

第10章 ログサーバ

Windows ベースの KH1508i/KH1516i のログサーバは、指定された KH1508i/KH1516i で発生 する全イベントを記録する、管理者向けのユーティリティです。アドミニストレーターは、ログサーバ で作成されたデータベースをもとにログ情報を検索することができます。この章では、ログサーバ のインストールおよび設定方法について説明します。

セットアップ

KH1508i/KH1516iのログサーバは以下の手順でセットアップを行ってください。

- 1. ログサーバとしてお使いいただくコンピュータから Web ブラウザを起動し、KH1508i/KH1516i に ログインします。(ログインの方法については p.77 をご参照ください)
- 2. Web 画面の左下にある「Log Server」ボタンをクリックして、ログサーバのインストーラーを起動してください。
- 3. 「セキュリティの警告」ダイアログ等が表示されても、警告を受け入れず、「実行する」または「開 く」ボタンをクリックして、インストーラーを起動させます。

注意: ブラウザからインストーラーを起動できない場合は、一旦ディスクに保存してからインストーラーを実行してください。

インストーラー (LogSetup.exe)を実行すると、以下のようなログサーバセットアップダイアログが 表示されます。



4. 「Next」ボタンを押して、インストーラーの画面内の指示にしたがって操作してください。インスト ールが完了すると、このプログラムのアイコンがデスクトップに作成されます。

ログサーバの操作方法

ログサーバのメイン画面を表示するには、「Log Server」アイコンをダブルクリックするか、コマン ドラインからこのプログラムのフルパスを入力して実行してください。プログラムが起動すると以下 のような画面が表示されます。

| Log Server | | | | | × IDI > |
|-----------------|----------------|-----|------------|------------------|---------|
| Configure Event | s Options Help | | | | |
| Recording | Address | Put | Convectors | Days Description | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

- 注意: 1. ログサーバのイベントデータベースを管理するコンピュータの MAC アドレスは アドミニストレーターユーティリティの「Service Configuration」タブで設定してお く必要があります。(p.98 参照)
 2. ログサーバプログラムはデータベースにアクセスするために Microsoft Jet
 - 2. ログサーバプログラムはデータベースにアクセスするために Microsoft Jet OLEDB 4.0ドライバが必要です。

画面は以下の3つのコンポーネントに分かれています。

- ◆ 上部メニューバー
- ◆ メニューバー下部の KH1508i/KH1516i リストパネル(詳細は p.170 参照)
- ◆ 最下部のイベントリストパネル

各コンポーネントの詳細に関しては後述しますので、そちらをご参照ください。

メニューバー

ログサーバのメニューバーは以下の項目から構成されています。

- ◆ Configure
- ♦ Events
- Options
- ♦ Help

各項目の詳細については後述しますので、そちらをご参照ください。

注意: ログサーバのウィンドウが選択されていない等の理由でメニューバーが有効になってい ないように見える場合がございますが、このような場合は KH1508i/KH1516i 一覧表示 パネルをクリックし、ウィンドウをアクティブにしてメニューバーをご利用ください。

Configure

「Configure」メニューには「Add」、「Edit」、「Delete」の3つのサブメニューが存在します。「Add」メ ニューではKH1508i/KH1516iユニットの一覧への新規追加を、「Edit」メニューではリストに登録さ れたユニット情報の編集を、また、「Delete」メニューでは一覧からのユニットの削除をそれぞれ行 います。

- ◆ KH1508i/KH1516i ユニットを一覧に新たに追加する場合は、「Add」メニューをクリックしてく ださい。
- ◆ リストから KH1508i/KH1516i のユニットを編集したり削除したりする場合は、リストから対象と なる項目を選択し、この「Configure」メニューから「Edit」または「Delete」メニューをクリックして ください。

「Add」または「Edit」メニューをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。

| Add a Server | | | × |
|--------------|--------------------|------------|---|
| Address: | Server Address | Port: 9001 | |
| Description: | Server Description | | |
| Limit: | 100 | Days | |
| 0 | K | Cancel | |

ダイアログ内の各項目に関する詳細は以下のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|--------------|--|
| Address | KH1508i/KH1516iの IP アドレスまたは DNS 名 (DNS 名が有効になっている場 |
| Address | 合)を入力してください。 |
| Dont | KH1508i/KH1516i に割り当てられたログサーバのポート番号を入力してくださ |
| Port | い。(詳細については p.99 の「Log Server パネル」を参照) |
| Decemination | KH1508i/KH1516iに関する追加情報があれば、このフィールドに入力することが |
| Description | できます。 |
| Limit | ログサーバデータベースにおけるイベントログ保存日数を表します。 |

フィールドへの記入・編集が完了したら「OK」ボタンを押してください。

Events

「Events」メニューは「Search」と「Maintenance」の2つのサブメニューから構成されています。

Search

「Search」メニューでは、特定のキーワードを含むイベントログを検索することができます。このメニューを起動すると、以下のようなダイアログが表示されます。

| Search Dialog | | | × | | |
|--|----------------------------|-----------------------|---|--|--|
| Search Options New search Search last results Search excluding last results | Server List 10.0.100.67 | | Priority List: Least Less Most | | |
| Start date: Start time: 2007-05-29 Image: 09:18:32 | End date: | End time: 09:18:32 | Pattern: | | |
| Result: Server: 10.0.100.67 05/30/2007(09:17:29): Loading system setting 05/30/2007(09:17:29): Accept new IP : 10.0.100.67 05/30/2007(09:17:29): User administrator from 00-40-01-41-E7-8A 10.0.13.228 attemping to login 05/30/2007(09:17:53): Sys: Connected with 10.013.228 (00-40-01-41-E7-8A) 05/30/2007(09:17:55): User administrator (IP = 10.013.228) attemping to login. 05/30/2007(09:17:55): Sys: Access via Java client (IP = 10.013.220). | | | | | |
| Search | Prin | t | Exit | | |

ダイアログ内における各項目に関する詳細は以下のとおりです。

| | 項目 | 説明 |
|---------------|---------------------|--|
| Searc | h Ontions | 検索の対象となるデータの種類を以下のラジオボタンから選択 |
| beure | | します。 |
| | | このラジオボタンが選択されると、選択された |
| | New search | KH1508i/KH1516i で発生したすべてのイベントを対象にして |
| | | 検索を行います。 |
| | Soonah laat nagulta | このラジオボタンが選択されると、前回の検索結果を対象に検 |
| | Search last results | 索を行います。 |
| | Search excluding | このラジオボタンが選択されると、前回の検索結果以外を対象 |
| | last results | にして検索を行います。 |
| | | KH1508i/KH1516i が IP アドレス順に一覧表示されます。ログ |
| | | の検索を行いたい KH1508i/KH1516i をリストから選択してくだ |
| Serve | er List | さい。(複数選択可)このリストから何も選択されていない場合 |
| | | は、すべての KH1508i/KH1516i のログを対象に検索を行いま |
| | | す。 |
| | | 検索結果は重要度によって3つのカテゴリーに分類されます。 |
| Priority List | | Most:システム設定およびユーザーログインに関するイベントを 表し、赤色で表示されます。 |
| | | Less:ネットワーク IP 設定に関するイベントを表し、青色で表示 されます。 |
| | | Least:モニタの設定に関するイベントを表し、黒色で表示されます。 |
| | | 検索対象となるログの起点となる日付をカレンダーコントロール |
| Start | Date | から選択、もしくはリストボックスに「YYYY/MM/DD」の形式で |
| | | 直接入力してください。 |
| | | 検索対象となるログの起点となる時刻をリストの上下ボタンで調 |
| Start | Time | 節、もしくはリストボックス「HH:MM:SS」の形式で直接入力してく |
| | | ださい。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目 | 説明 |
|----------|--|
| End Data | 検索対象となるログのタイムスタンプの終点となる日付を入力し |
| End Date | てください。設定方法は表の「Start Date」と同様です。 |
| End Time | 検索対象となるログのタイムスタンプの終点となる時刻を入力し |
| | てください。設定方法は表の「Start Time」と同様です。 |
| | パターン検索を行う場合の文字列を入力してください。任意の |
| | 文字列を表すワイルドカード(%)を使用することも可能です。 |
| Pattern | |
| | 例)h%ds という検索条件で、「hands」と「hoods」という文字列に |
| | ヒットします。 |
| Result | 検索条件に一致したイベントが一覧表示されます。 |
| Search | 入力された条件で検索を行います。 |
| Print | 検索結果を印刷します。 |
| Exit | このダイアログボックスを終了します。 |

Maintenance

この機能によってアドミニストレーターはデータベースの手動メンテナンスを行うことができます。 「Edit」機能における「Limit」の項目によって設定された期限を過ぎるとイベントログは自動的に削除されますが、この機能を使うことによって、保存期間内のログであってもメンテナンスすることが可能です。(p.165 参照)

Options

このメニューには「Retry」というサブメニューがあります。

このメニューでは、接続失敗による再試行までの待機時間(秒)を設定します。メニューをクリック すると、以下のような「Retry」ダイアログが表示されます。

| × | | Retry |
|---|------------|-----------|
| | 30 seconds | Interval: |
| | Cancel | OK |
| | Cancel | OK |

待機秒数を入力したら、「OK」ボタンを押してください。

<u>Help</u>

このメニューのサブメニューである「Contents」をクリックすると、ログサーバのオンラインヘルプが 起動します。このオンラインヘルプにはログサーバのセットアップ・操作方法、またトラブルシュー ティングが記載されています。

ログサーバ メイン画面

概要

ログサーバのメイン画面は2つのパネルから構成されています。

- ◆ 上部パネル(リストパネル)には、現在、ログ取得の対象となっている KH1508i/KH1516i の一覧 が表示されます。(p.164 の「Configure」参照)
- ◆ 下部パネル(イベントパネル)には、現在リストパネルで選択されている KH1508i/KH1516i のイ ベントログが表示されます。別の KH1508i/KH1516i のイベントログを参照する場合は、リストパ ネルから対象となる KH1508i/KH1516i を選択します。



リストパネル

KH1508i/KH1516iリストパネルの各項目の詳細は以下の表のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| | ログサーバがこのリストに表示されている KH1508i/KH1516i のログを記録する |
| | かどうかを設定します。項目にチェックを入れると、この欄に「Recording」と表示 |
| | され、ログの記録を行います。項目からチェックをはずすと、この欄に「Paused」 |
| Recording | と表示され、ログの記録は行いません。 |
| | |
| | 注意:このリストに表示されている KH1508i/KH1516i は選択状態にかかわら |
| | ず、チェックがついていればログサーバはそのユニットのログを記録します。 |
| Address | KH1508i/KH1516i がログサーバに登録された際に設定された IP アドレスまた |
| Address | は DNS 名です。(p.164「Configure」参照) |
| Dent | KH1508i/KH1516i が通信に使用するポート番号です。(p.164「Configure」参 |
| Port | 照) |
| | ログサーバが KH1508i/KH1516i に接続している場合、このフィールドには |
| | 「Connected」と表示されます。 |
| Composition | また、KH1508i/KH1516i に接続していない場合には、このフィールドに |
| Connection | 「Waiting」と表示されます。これはログサーバの MAC アドレスが正しく設定され |
| | ていないことを表していますので、アドミニストレーターユーティリティの「Service |
| | Configuration」タブで正しい内容に設定してください。(p.99 参照) |
| D | KH1508i/KH1516i のイベントをログサーバに保管する日数を表します。(p.164 |
| Days | 「Configure」参照) |
| Division | ログサーバ登録時に設定された KH1508i/KH1516i に関する追加情報です。 |
| Description | (p.164「Configure」参照) |

イベントパネル

このパネルには、リストパネルで選択された KH1508i/KH1516i のイベントログが表示されます。 リストパネルで選択されていない項目のログはイベントリストパネルには表示されませんが、リスト パネルでチェックが入っていれば、そのユニットのログはログサーバのデータベースに登録されま す。

第11章 ユーティリティソフトウェア

はじめに

ブラウザベースの各種ユーティリティのほかに、KH1508i/KH1516iではブラウザを利用しない環境 でもお使いいただけるよう、Windows クライアント、Java クライアントといった GUI ベースのクライアント アプリケーションを提供しております。

これらのプログラムは、一度 Web ブラウザからダウンロードしていただけば、何度でも繰り返してお 使いいただけますので、管理者はこの機能によって KH1508i/KH1516i への Web ブラウザ経由での アクセスを制限することが可能です。(p.109 の「Working Mode」参照)

Windows クライアント

セットアップ

Windows クライアントをお使いのコンピュータにインストールする場合は、以下の手順で作業して ください。

1. Web ブラウザで KH1508i/KH1516i にログインし、Web 画面左側にある「Windows Client」アイ コン(矢印がついているもの)をクリックしてください。アイコンをクリックすると、以下のようなダ イアログが表示されます。

| Name: Type: | WinClient.exe | в | |
|--------------------|---------------|------|--------|
| From: | 10.0.100.67 | - | |
| | Run | Save | Cancel |
| | | | |

2. 「Save」ボタンをクリックすると、「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、ファイル をコンピュータの適当な場所に保存してください。

起動方法

KH1508i/KH1516iに Windows クライアントを使ってアクセスする場合は、Windows クライアントを ダウンロード・保存したフォルダに移動して、「WinClient.exe」のアイコンをダブルクリックしてくださ い。Windows クライアントが起動すると、以下のようなダイアログが表示されます。

| Win32 | Client 1.0.061 | Default | | | |
|----------|------------------|---------------------|---------------------------|------------------------|----------|
| File | Tools | Help | | | |
| Serv | er List | | | | |
| Na | me | | IP | Status | |
| KH KH | 11508i 11516i | | 10.0.13.225 10.0.13.46 | Available Available | |
| Ser | rver: | - | Message Li | st. | |
| | re. Juunuu | 2 4 <u>·</u> | | | - |
| | Port: 9000 | | | | |
| | Connect | Disconnect | 1 | | |
| | | | | | |
| | Switch to Ber | note View | | | |
| | ownor to ma | ione mem | | | |
| | Change Pa | ssword | | | |
| | - | | 10 | | <u> </u> |

注意: Windows クライアントの動作環境には DirectX 7.0 以降がインストールされている必要 があります。インストールされていないとクライアントソフトウェアが起動しませんので、 ご注意ください。

接続画面における各項目の詳細は以下の表のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|-----------------|--|
| | メニューバーは「File」、「Tools」、「Help」の 3 つの項目から構成されてい |
| | ます。 |
| 1- · · | 1. 「File」メニューでは、作業用ファイルの作成・保存・読み込みを行うこ |
| ノーューハー | とができます。(詳細については p.175 参照) |
| | 2. 「Tools」メニューには「Keyboard」と「Config」のサブメニューがありま |
| | す。(詳細については p.175 参照) |
| | Windows クライアントが起動するたびに、ローカル LAN セグメントにある |
| Comron List | KH1508i/KH1516i を検出し、このリストに一覧表示します。特定のユニッ |
| Server List | トに接続する場合は、その項目をリストから選択し、ダブルクリックしてくだ |
| | さい。 |
| | KH1508i/KH1516i にリモート接続する際に、接続対象となる |
| | KH1508i/KH1516iの IP アドレスをリストボックスから選択するか、もしくは |
| | 直接リストに IP アドレスを入力します。また、使用ポート番号を該当フィー |
| Somion | ルドに入力してください。ポート番号がご不明な場合は、 |
| Server | KH1508i/KH1516iの管理者までお問い合わせください。 |
| | IP アドレスとポート番号が確定したら、「Connect」ボタンを押して接続し |
| | ます。作業を終了する場合は「Disconnect」を押してコネクションを切断 |
| | してください。 |
| Mossago List | KH1508i/KH1516i との接続に関するステータスメッセージを一覧表示し |
| Message List | ます。 |
| | KH1508i/KH1516i との接続が確立すると、このボタンが有効になります。 |
| | KH1508i/KH1516i に接続されたリモートコンソール画面に切り替える場 |
| | 合は、このボタンをクリックしてください。 |
| Switch to | リモートコンソール画面に切り替わると、お使いのモニタにリモートコンソ |
| Bemete View | ールのデスクトップが表示され、キーボード・マウスからの入力は |
| Remote view | KH1508i/KH1516i に送られ、ローカル接続されたコンピュータで実行さ |
| | れます。 |
| | KH1508i/KH1516iをKVMスイッチと併用している場合は、実際に手元で |
| | 操作しているかのようにコンピュータの切替を行うことができます。 |
| | KH1508i/KH1516i との接続が確立すると、このボタンが有効になります。 |
| Change Password | このボタンを使うと、KH1508i/KH1516i にログインする際のパスワードを |
| | 変更することが可能です。 |

■File メニュー

「File」メニューでは、作業用ファイルの作成・保存・読み込みを行うことができます。 KH1508i/KH1516iの作業用ファイルには、ローカル LAN セグメントにある KH1508i/KH1516i に 関する情報、ホットキーの設定といった、KH1508i/KH1516i との接続および製品に関する設定情 報が書き込まれています。

クライアントプログラムを起動すると、前回の作業終了時に生成された作業用ファイルの設定を 読み込みます。

ユーザーはクライアントプログラムの「File」メニューから、こういった作業用ファイルの作成・保存・読み込みを行うことができます。メニューの各項目に関する詳細は以下の表のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|------|-------------------------------------|
| Nou | 設定値を新規ファイルに保存します。この機能によって、接続を一旦終了した |
| Inew | 後でも保存した値を再び読み込んでお使いいただくことができます。 |
| Open | 過去に保存した作業用ファイルを読み込みます。 |
| Save | 設定値を現在開いているファイルに上書き保存します。 |

■Tools メニュー

「Tools」メニューの操作は、KH1508i/KH1516i への接続後、かつリモートコンソールへの切替前 にご利用いただけます。「Tools」メニューには「Keyboard」と「Config」の 2 つのサブメニューがあり ます。これらの詳細については後述しますので、そちらをご参照ください。

Keyboard

キーボード・ビデオ・マウスに関する設定操作はホットキーの組み合わせによって実現することが できます。ホットキーセットアップユーティリティはこの「Tools」メニューの「Keyboard」サブメニュー から実行します。「Keyboard」サブメニューを起動すると、ホットキーセットアップ画面が表示されま す。このダイアログは、基本的にWebブラウザベースのWindowsクライアントのホットキーセットアッ プ画面と同じです。詳細に関しては p.117 の「ホットキーセットアップユーティリティ」をご覧くださ い。

Config

「Config」サブメニューを起動すると、以下のようなダイアログが表示されます。

| Graphics option | OF |
|--------------------|--------|
| 🔽 Full screen mode | |
| Keep screen size | Cancel |
| | |

- ◆ 「Full screen mode」が有効になっている(チェックが入っている)と、お使いのリモートディスプレ イにはローカルディスプレイの画面が最大化されて表示されます。
- ◆「Full screen mode」が無効になっている(チェックが入っていない)と、リモートディスプレイには ローカルディスプレイのデスクトップが通常のウィンドウで表示されます。ローカルディスプレイの 解像度がウィンドウサイズよりも大きい場合は、マウスポインタを表示したい方向のウィンドウ端ま で移動させれば、その方向にスクロールします。
- ◆ 「Keep screen size」が有効になっている(チェックが入っている)と、ローカルのデスクトップはリ サイズされず、そのままの解像度で表示されます。
 - ▶ ローカルディスプレイの解像度のほうが小さい場合、ローカルの画面はウィンドウとしてお 使いのリモートモニタの中央部に表示されます。
 - ローカルディスプレイの解像度のほうが大きい場合、ローカルの画面の一部がお使いのモニタの中央部に表示されます。モニタ上に表示されていない箇所を操作する場合は、ウィンドウの中でその場所に一番近い隅にマウスポインタを動かすと、画面がスクロールされます。
- ◆ 「Keep screen size」が有効になっていない(チェックが入っていない)と、ローカルコンソールの デスクトップはお使いのリモートモニタの解像度に合わせてリサイズされます。

接続方法

KH1508i/KH1516iユニットに接続する場合は、以下の手順で操作してください。

 接続したい KH1508i/KH1516i が「Server List」にすでに表示されている場合は、その項目を リストから選択し、ダブルクリックしてください。また、KH1508i/KH1516iの IP アドレスとポート 番号を入力して指定する場合は、「Server」の項目にある「IP」のフィールドに KH1508i/KH1516iの IP アドレスを、また「Port」のフィールドに通信で使用するポート番号を それぞれ入力し、「Connect」ボタンを押します。この操作を行うと、以下のようなログインダイ アログボックスが表示されます。

| Login Window | |
|--------------|--------|
| User Name: | |
| Password: | |
| ОК | Cancel |

- 正しいユーザーネームとパスワードを入力し、「OK」ボタンを押してください。
 「OK」ボタンを押すと、プログラムは KH1508i/KH1516i との接続処理を開始します。処理内 容に関するステータスメッセージは、「Message List」で確認することが可能です。
- 3. KH1508i/KH1516i との接続が確立すると、「Switch to Remote View」ボタンが有効になります。 このボタンをクリックすると、KH1508i/KH1516i 経由でリモートコンソールの画面に切り替える ことができます。

| Tools | Help | | | |
|--|------------|--------|-----------------------|---|
| Server List | | | | |
| Name | | IP | Status | |
| Server: IP: 10.0.100 Port: 9000 Connect Switch to Ri Change F | Disconnect | Messay | ge List: is ready. | * |

操作方法

KH1508i/KH1516i との接続が確立されると、ローカルシステムのビデオ出力の内容がお使いのモニタに表示されると同時に、リモートでのキーボード・マウスの入力はローカルシステムに送られます。

アプリケーション版 Windows クライアントの外観および操作方法は Web ブラウザ版の Windows クライアントと同様ですので、詳細に関しては第7章をご参照ください。

セッションの終了方法

KH1508i/KH1516i からログアウトすると、接続ダイアログに戻りますので、「**Disconnect**」ボタンを クリックしてセッションを終了させてください。

Java クライアント

<u>セットアップ</u>

Java クライアントをお使いのコンピュータにインストールする場合は、以下の手順で作業してください。

1. WebブラウザでKH1508i/KH1516iにログインし、Web画面左側にある「Java Client」アイコン(矢 印がついているもの)をクリックしてください。アイコンをクリックすると、以下のようなダイアログが 表示されます。

| | Name: iK | WMmain.jar | | |
|---------------------------|----------------|---------------------|----------|--------|
| 459 | Type: E | xecutable Jar File | , 192 KB | |
| | From: 1 | 0.0.100.67 | | |
| | | | | |
| | | Open | Save | Cancel |
| | | | | |
| Alway | s ask before o | pening this type of | file | |

2. 「Save」ボタンをクリックすると、「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、ファイル をコンピュータの適当な場所に保存してください。

起動方法

KH1508i/KH1516i に Java クライアントを使ってアクセスする場合は、以下の手順で操作してください。

- 1. コマンドプロンプトを開き、Java クライアントファイル (iKVMmain.jar)をインストール・保存したフォ ルダに移動します。
- 2. コマンドラインから以下のコマンドを実行します。

java – jar iKVMmain.jar

| 注意: | Java クライアントソフトウェアの動作環境には 1.4.2 以降のバージョンの Java |
|-----|---|
| | がインストールされている必要があります。それ以前のバージョンの Java は動 |
| | 作の保証外ですので、ご注意ください。 |

Java クライアントを起動すると、以下のような「Address Input」ダイアログが表示されます。


- 3. 接続したい KH1508i/KH1516iの IP アドレスを入力し、IP アドレスの後ろにスラッシュを入力した後で KH1508i/KH1516iの Java クライアント Web ページの名前を入力してください。
 - 注意: Java クライアントWebページの名前は、セキュリティのために必ずIPアドレスの後ろに付け加えてください。このWebページの文字列は、不正アクセス防止のためにKH1508i/KH1516iの管理者によって予告なしに変更される場合があります。 Java クライアントで接続する際には、このWebページが正しいものであることを確認してください。

KH1508i/KH1516iとの接続が確立すると、以下のような Login ダイアログが表示されます。

| 🛓 Login 🔀 |
|-------------------------------------|
| Please input username and password: |
| Username: |
| Password: |
| OK Cancel |

 正しいユーザーネームとパスワードを入力し、「OK」ボタンを押してください。
 KH1508i/KH1516i への認証処理が完了すると、リモートシステムのデスクトップがお使いの モニタに表示されます。

操作方法

アプリケーション版 Java クライアントの外観および操作方法は Web ブラウザ版の Java クライアントと同様ですので、詳細に関しては第8章をご参照ください。

第 12 章 キーボードエミュレーション

Mac キーボード

PC互換キーボードから、キーマッピングのエミュレーション機能によりMacシステムのキーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表をご参照ください。

| PC 互換キーボード | Mac キーボード |
|----------------|---------------|
| [Shift] | Shift |
| [Ctrl] | Ctrl |
| | \mathcal{H} |
| [Ctrl] [1] | |
| [Ctrl] [2] | |
| [Ctrl] [3] | |
| [Ctrl] [4] | |
| [Alt] | Alt |
| [Print Screen] | F13 |
| [Scroll Lock] | F14 |
| | = |
| [Enter] | Return |
| [Back Space] | Delete |
| [Insert] | Help |
| [Ctrl] | F15 |

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合は、最初に入力するキー([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

Sun キーボード

[Ctrl]キーと他のキーを組み合わせて入力することによって、PC 互換キーボードから、キーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun システムのキーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表をご参照ください。

| PC 互換キーボード | Sun キーボード |
|--------------|-----------|
| [Ctrl] [T] | Stop |
| [Ctrl] [F2] | Again |
| [Ctrl] [F3] | Props |
| [Ctrl] [F4] | Undo |
| [Ctrl] [F5] | Front |
| [Ctrl] [F6] | Сору |
| [Ctrl] [F7] | Open |
| [Ctrl] [F8] | Paste |
| [Ctrl] [F9] | Find |
| [Ctrl] [F10] | Cut |
| [Ctrl] [1] | |
| [Ctrl] [2] | |
| [Ctrl] [3] | |
| [Ctrl] [4] | (|
| [Ctrl] [H] | Help |
| | Compose |
| | ♦ |

| 注意: | 上記の組み合わせでキーを入力する場合は、最初に入力するキー([Ctrl]キー) |
|-----|---|
| | を離してから、次のキーを入力するようにしてください。 |

付録

トラブルシューティング

管理操作

| 現象 | 対処法 |
|------------------------------|----------------------------------|
| ファームウェアをアップグレードしたにもかかわ | お使いの Web ブラウザによって以前表示したペ |
| らず、アップグレードする前のバージョンが | ージがキャッシュされている可能性があります。 |
| KH1508i/KH1516i上に表示される。 | ブラウザのインターネット一時ファイルを削除し |
| | て、ブラウザを再起動してください。 |
| KH1508i/KH1516iのデフォルトネットワークの | OSD の F6 機能を利用して KH1508i/KH1516i |
| 設定ではDHCPとなっているが、実際の環境で | に静的IPアドレスを設定してください。設定方法 |
| はDHCPサーバがないので静的IPアドレスを | については p.58 の「F6 IP」をご参照ください。 |
| 使用したい。 | |

<u>一般的な操作</u>

| 現象 | 対処法 |
|------------------------------|----------------------------------|
| KH1508i/KH1516iの動作が不安定である。 | リセットスイッチ(p.29 参照)を 3 秒以上長押しし |
| | てください。 |
| 不適切なリセット操作により、マウスまたはキー | コンソールポートからキーボード・マウスのケーブ |
| ボードの入力に対して反応しなくなった。 | ルを一旦抜いて挿しなおしてください。 |
| KH1508i/KH1516iのローカルリセットにより、 | KH1508i/KH1516iとの接続を終了し、30秒ほど |
| ネットワーク接続が突然中断された。 | 待機した後で再ログインしてください。 |
| | ローカルとリモートの 2 つのマウスポインタが表 |
| | 示されて操作の上で分かりにくい場合は、 |
| マウスポインタの表示で混乱する。 | 「Toggle Mouse Display」機能を使用して非アク |
| | ティブなマウスポインタを最小化することができま |
| | す。詳細については p.118 をご参照ください。 |

(表は次のページに続きます)

| 現象 | 対処法 |
|-----------------------|---------------------------------|
| リモートシステムにある文字を入力すると表示 | ローカル側の OS キーボード言語の設定と、リモ |
| されない。 | ート側の OS キーボード言語の設定が異なること |
| | に起因します。双方のキーボード言語を同じ内 |
| | 容に設定してください。 |
| ディスプレイの表示内容がぼやける、または、 | カテゴリ 5 ケーブルの長さを調節してください。 |
| 鮮明すぎる。 | 設定方法については p.110 の「I/O Modules」を |
| | ご参照ください。 |

Java クライアント

マウス同期の問題に関しては、p.146 の「マウス同期に関する注意事項」をご参照ください。また、 接続・操作に関する問題は以下の表をご参照ください。

| 現象 | 対処法 |
|----------------------------------|--------------------------------|
| | 1. Java 2 JRE1.4 以上がお使いのコンピュータ |
| | にインストールされている必要があります。 |
| | 2. KH1508i/KH1516iのIPアドレスを指定する |
| Java クライアントが KH1508i/KH1516i に接続 | 際、ブラウザの URL が「Default Java |
| できない。 | program name」を含めて正しく入力されてい |
| | るか確認してください。(p.108 参照) |
| | 3. Java クライアントを一度終了させて、もう一 |
| | 度実行してみてください。 |
| [Windows]キーを押しても何も反応しない。 | Java では[Windows]キーに対応しておりません。 |
| | ご了承ください。 |
| Javaクライアントの動作が遅い。 | Java クライアントを一度終了させてから、起動し |
| | なおしてください。 |
| | 英語以外の文字を入力する際に、ローカルキー |
| 英語以外の言語の文字が表示されない。 | ボードのレイアウトが英語以外に設定されている |
| | 場合は、リモートコンピュータのキーボードレイア |
| | ウトを英語に設定する必要があります。 |

<u>ログサーバ</u>

| 症状 | 解決方法 |
|-------------------|--|
| ログサーバプログラムが実行できない | ログサーバプログラムはデータベースにアクセスするため に Microsoft Jet OLEDB 4.0ドライバが必要です。 このドライバは Windows ME、2000、XP には標準で搭載さ れていますが、Windows 98 や NT をご使用になっている 場合は、Microsoft 社のサイトからダウンロードしてインスト ールする必要があります。 |
| | http://www.microsoft.com/data/downroad.htm ダウンロードページで以下のファイルを検索し、入手しま す。 MDAC 2.7 RTM Refresh (2.70.9001.0) |
| | このドライバは Windows Office Suite でも使用されている ので、Windows Office Suite をインストールしてもログサー バプログラムが実行可能になります。 |

| パネルアレイモード | |
|-------------------|---------------------------|
| 現象 | 対処法 |
| パネルアレイモードが低解像度で表 | 画面に表示されるパネル数を増や てください |
| 示される。 | |
| 複数のリモートユーザーが同時ログイ | 鼻初にパネルアレイエードを起動したユーザーけ 画面 |
| ンした場合、一部のユーザーのモニタ | 取物にハイルノレイに 下を起動したエーリーは、画面 |
| は画面の一部しか表示されない。 | |

Windows クライアント

| 症状 | 解決方法 |
|---|---|
| Windows クライアントを使用して KH1508i/KH1516i に接続できな い。 | お使いのコンピュータには DirectX 7.0 以上がインストールさ れている必要があります。 |
| リモートとローカルのマウスポインタ が同期していない。 | 「Auto-Sync」機能(p.121 参照)を使用し、ローカルとリモ ートのモニタを同期させます。 上記の方法で解決しない場合、マウス同期機能を使用 します。詳細は p.146 をご参照ください。 上記のいずれの方法でも解決できない場合は p.117 の 「Toggle Mouse Display」機能を使用してください。 |
| リモートモニタでローカルディスプ レイの一部分しか表示されない。 | 「Keep Screen Size」(p.87 参照)が無効になっている場合は、 「Auto-Sync」機能(p.121 参照)を使って、ローカルとリモート のモニタを同期させることができます。 「Keep Screen Size」が有効になっている場合は、p.87 の 「Keep Screen Size」の項目をご参照ください。 |
| ローカルディスプレイの表示が 90 度回転して表示されている。 | 「Keep Screen Size」を有効にしてください。詳細は p.87 の 「Keep Screen Size」の項目をご参照ください。 |
| Windows クライアントが実行されて いるとき、Net Meeting が使用でき ない。 | 「Keep Screen Size」を有効にしてください。詳細は p.87 の 「Keep Screen Size」の項目をご参照ください。 |

Sun システム

| 症状 | 解決方法 |
|----------------------|---|
| | VGA 解像度を 1,024×768 に設定する必要があります |
| | コマンドモードの環境では以下の操作を行ってください。 |
| | 1. OK Mode で以下のコマンドを実行してください。 |
| | setenv output-device screen:r1024x768x60 |
| HDB インターフェースでのビデオ | reset-all |
| ディスプレイに関する問題がある。 | |
| (Sun Blade 1000 サーバ) | Xwindow の環境では以下の操作を行ってください。 |
| | 1. コンソールを開いて以下のコマンドを実行してください。 |
| | m64config –res 1024x768x60 |
| | |
| | 2. ログアウトします。 |
| | 3. ログインします |
| | VGA 解像度を 1,024 × 768 に設定する必要があります |
| | |
| | コマンドモードの環境では以下の操作を行ってください。 |
| | 1. OK Mode で以下のコマンドを実行してください。 |
| | setenv output–device screen:r1024x768x60 |
| 13W3 インターフェースでのビデオ | reset-all |
| ディスプレイに関する問題がある。 | |
| (Sun Ultra サーバ) | XWindow モードの環境では以下の操作を行ってください。 |
| | 1. コンソールを開いて以下のコマンドを実行してください。 |
| | ffbconfig –res 1024x768x60 |
| | |
| | $\begin{array}{ccc} 2 & \mu \neq j \\ 2 & \mu \neq j$ |
| | 3. ロクインしより |

注意: これらは最も一般的なSunのVGAカードを使用した場合を想定した解決方法です。上記の方法でも問題が解決しなかった場合は、Sun VGA カードのマニュアルをご確認ください。

その他のマウス同期方法

マウスポインタの同期に関しては、p.146を参考にして設定を行ってください。

製品仕様

| 機能 | | KH1508i | KH1516i |
|-------------------|------------|---|-------------------|
| | ダイレクト接続 | 8 | 16 |
| コンピュータ接続数 | 最大 | 0.40 | |
| | (デイジーチェーン) | 240 | 200 |
| コンソール接続数 | | 1 | |
| コンピュータ側対応 | キーボード | DS/9 USB(Win Mo | a Sun) Sell Zil |
| インターフェース | マウス | $ PS/2$, $USB(Win, Mac, Sun), \mathcal{D}\mathcal{D}\mathcal{D}$ | |
| コンソール側対応 | キーボード | - PS/2 | |
| インターフェース | マウス | | |
| ポート選択方法 | | OSD、ホットキー、 | プッシュボタン |
| コンビュータ相 | キーボード | | |
| コンレユーク側 | マウス | RJ-45×8 | RJ-45 \times 16 |
| - 777 | モニタ | | |
| コンパール相 | キーボード | ミニ DIN6 ピンメス×1 | |
| コンノール側 | マウス | ミニ DIN6 ピンメス×1 | |
| - 777 | モニタ | D-sub15 ピンメス×1 | |
| | リセット | ピンホール型スイッチ×1 ロッカースイッチ×1 | |
| | 電源 | | |
| スイッチ | ポート選択 | プッシュボタン×8 | プッシュボタン×16 |
| | ファームウェア | スライドスイッチ×1 | |
| | アップグレード | | |
| デイジーチェーン | OUT | | -7 \/ 1 |
| ポート | 001 | DD-23 A | ~~1 |
| ファームウェアアップグレードポート | | RJ-11×1 | |
| 電源ソケット | | 3 極 AC 電源ソケット×1 | |
| LAN ポート | | RJ-45 メス×1 | |
| PON(RS-232)ポート | | DB-9才 | ス×1 |
| | | (表 | は次のページに続きます) |

| 機能 | | KH1508i | KH1516i |
|------------|---------|-----------------------------|-----------|
| | オンライン | グリーン×8 | グリーン×16 |
| | 選択ポート | オレンジ×8 | オレンジ×16 |
| LED | 電源 | ブルー×1 | |
| | フテーションロ | 7 セグメントデジタル表示 | |
| | | オレンジ×2 | |
| キーボード・マウスエ | ミュレーション | PS/2、USB(Win、Mac、Sun)、シリアル | |
| スキャンインターバル | | 0~255 秒(ユーザー設定)/10 秒(デフォルト) | |
| 電源仕様 | | AC100V~240V | √ 50~60Hz |
| 消費電力 | | 12W | I |
| | 7— 九儿 | 1,600×1,200@60Hz(30m)、 | |
| VGA 解像度 | | 1,280×1,024@75Hz(40m) | |
| | リモート | 1,280×1,024@75Hz | |
| | 動作温度 | 0~50°C | |
| 動作環境 | 保管温度 | -20~60°C | |
| | 湿度 | 0~80%RH 結 | 「露なきこと |
| ケース材料 | | メタル | |
| 重量 | | 2.8kg | |
| サイズ(W×D×H) | | 437×161×44mm | |
| | | 電源ケーフ | ブル×1 |
| | | ファームウェアアップグレードケーブル×1 | |
| | | クイックスタートガイド×1 | |
| 1月14日日 | | ユーザーマニ | ュアル×1 |
| | | ラックマウントキット×1 | |
| | | フットパッド(4pcs)×1 | |

(表は次のページに続きます)

| 機能 | KH1508i | KH1516i |
|---------------------------|-----------|---------|
| | 《PS/2 用モジ | ジュール》 |
| | KA95 | 20 |
| | | |
| 対応 KVM モジュール | 《USB 用モシ | ジュール》 |
| | KA95 | 70 |
| | | |
| | 《シリアルモシ | ジュール》 |
| | KA91 | 40 |
| デイジーチェーン対応制品 | KH15 | 08 |
| | KH15 | 16 |
| | 2L-1700(| (0.6m) |
| | 2L-1701(| (1.8m) |
| デイジーチェーン用ケーブル | 2L-1703 | 8(3m) |
| | 2L-1705 | 5(5m) |
| | 2L-1715 | (15m) |
| 旧 SUN システム専用モジュール(13W3+ミニ | 17 A O 1 | 20 |
| DIN8 ピン) | KA91 | 30 |
| 新 SUN システム専用モジュール(D-SUB15 | 12 4 0 1 | 70 |
| ピン+USB) | KA9170 | |
| MAC 用モジュール | KA91 | 70 |

信頼された証明書

概要

Web ブラウザ経由で KH1508i/KH1516i にログインすると、以下のようなセキュリティ警告ダイアロ グが表示され、デバイスの証明書が信頼できるものではないため、操作を続行するかどうかを問う メッセージが表示されます。

| セキュリティ | の警告 | <u>녹</u> |
|--------|---|---|
| £ | このサイトと取り交わす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはあ りません。しかし、このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。 | |
| | ⚠ | このセキュリティ証明書は、信頼する会社から発行されていません。証明 書を表示して、この証明機関を信頼するかどうか決定してください。 |
| | 🥑 このセキュリティ証明書の日付は有効です。 | |
| | ① セキュリティ証明書の名前が無効であるか、またはサイト名と一致しません。 | |
| | 続行しますか? | |
| | | はい(2) [111] |

この証明書は信頼できるものですが、証明書の名前が Microsoft の信頼された認証局のリストに存在しないため、このようなダイアログが表示されます。このダイアログには以下のいずれかの方法で対応してください。

- 1) ダイアログの警告を受け入れず、「Yes」ボタンを押して、処理を続行する。
- 2) 証明書をインストールし、信頼できるものと認識させる。
- ◆ 別のユーザーのコンピュータから作業している場合は「Yes」ボタンを押して、この証明書を現 在のセッションのみ受け入れてください。
- ◆ご自身のコンピュータから作業している場合は、証明書をお使いのコンピュータにインストー ルしてください。証明書がインストールされると、信頼できる証明書として認識されます。方法 の詳細については後述しますので、そちらをご参照ください。

証明書のインストール

証明書のインストールは以下の手順で作業してください。

1. 「セキュリティの警告」ダイアログボックスで、「**証明書の表示**」ボタンをクリックします。これをク リックすると以下のような「証明書」ダイアログボックスが表示されます。

| T明書 | المراجع (ا المراجع (المراجع (الم |
|--------------------------------------|--|
| エルズ 言手作面 言正が この CA ルート この証明書を信 | 2017年日 20情報 証明書は信頼されていません。信頼を有効にするには 頼されたルート証明様関のストアにインストールしてくだ |
| 発行先: | Aten |
| 発行者: | Aten |
| | |
| 有効期間 | 2003/11/26 から 2013/11/23 |
| 有効期間 | 2003/11/26 から 2013/11/23 |



- 2. 「証明書のインストール」ボタンをクリックします。
- 3. インストールウィザードの指示に従って、インストールを進めていきます。特に不都合がない 場合は、デフォルト値でインストールをしてください。
- 4. 以下のような警告ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンを押してください。

| セキュリティ | 警告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 1 |
|----------|--|---|
| | 発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとしています: | |
| <u> </u> | Aten | |
| | l証明書が実際に "Aten" からのものであるかどうかを検証できません。 "Aten" (J連絡して発行者を確認する必要があります。 次の番号はこの過程で役立ちます: | |
| | 提印 (sha1): F3B66988 A134DD25 1E6F09BC 895F6DCD B30FB7AF | |
| | 警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動的に信頼されます。確認されていない視印付きの証明書をインストールすることは、セキュリティ上、危険です。低い をグリックすると、この危険を認識したことになります。 | |
| | この証明書をインストールしますか? | |
| | (\$U_V_) | |

5. ダイアログから「**完了**」ボタンを押してインストール作業を完了させてください。「**OK**」ボタンを 押すとダイアログが閉じられます。

証明書のインストール完了

この作業により、証明書は信頼できるものに変更されました。

| セキュリティ | の警告 | ± | × |
|--------|--|-------------------------------------|---|
| ß | このサイトと取り交わす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはあ りません。しかし、このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。 - | | |
| | ○ このセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されています。 | | |
| | 📀 このセキュリティ証明書の日付は有効です。 | | |
| | ⚠ | セキュリティ証明書の名前が無効であるか、またはサイト名と一致しません。 | - |
| | 続行 | しますか? | |
| | | はい(*) 「いいえ(*)」 証明書の表示(*) | |

「証明書の表示」ボタンをクリックすると、インストール前に見られた「×」の印が消え、証明書が 信頼できるものであるというメッセージが表示されます。

| 証明 | 書 | ? × |
|----|----------------------------------|-----|
| 全 | 般 詳細 証明のバス | |
| | 証明書の情報 | |
| | この証明書の目的に | |
| | ・リモート コンピュータの ID を保証する | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 発行者 : Aten | |
| | 有効期間 2003/11/26 から 2013/11/23 | |
| | | |
| | 証明書のインストール Φ 発行者のステートメント@ | 0 |
| | | |
| | OK | |

KH1508i/KH1516iとの併用保証製品

以下の表は KH1508i/KH1516i との併用が可能な製品の一覧です。

| 用途 | 対応製品(型番) |
|---------------|---|
| デイジーチェーン接続 | KH1508、KH1516、(ACS-1208A、ACS1216A 対応予定) |
| リモート電源管理(PON) | PN0108、PN9108 |
| デバイス統合管理(CC) | CC1000 |

OSD の工場出荷時における初期設定一覧

KH1508i/KH1516iの工場出荷時における初期設定の内容は以下のとおりです。

| 設定 | 初期値 |
|--------------|-----------------------------|
| OSD ホットキー | [Scroll Lock] [Scroll Lock] |
| ポート ID 表示モード | ポート番号およびポートネーム |
| ポート ID 表示時間 | 5秒 |
| スキャン/スキップモード | 制限なし |
| スキャン時間 | 10 秒 |
| スクリーンブランカー機能 | 0(無効) |
| ビープ音 | On |
| アクセス可能ポート | F(全ポートに対し、全ユーザーがアクセス可能) |

アドミニストレーターでログインできない場合

パスワードを忘れた等の理由でアドミニストレーター権限でのログインができなくなった場合、下 記の手順ですべてのログイン情報を消去することができます。

注意: この作業を行うと、すべての設定が工場出荷時のデフォルト値に戻りますので、それを ご了承いただいた上で操作を行ってください。

ログイン情報を消去し、すべての設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合は、以下の手順で 作業を行ってください。

- 1. KH1508i/KH1516iの電源をオフにし、ケースを取り外します。
- 2. ジャンパキャップを使って「Default Password (J3)」と書かれている IP モジュール(ユニットのリ ア左側、メインボードの上部にあるドーターカード)のジャンパスイッチをショートさせます。



- 注意: このジャンパスイッチはメインボード上の「Reset Default Password」と書かれている ジャンパスイッチとは異なります。ドーターボード側の「Default Password (J3)」と書 かれているジャンパスイッチを使用しますので、ご注意ください。
- 3. KH1508i/KH1516iに電源を入れます。

- 4. 数秒経過したあとフロントパネルの LED が点滅しているときに、スイッチの電源を切ってください。
- 5. **J3** ジャンパスイッチのキャップをはずしてください。
- 6. ケースを元通りにして、KH1508i/KH1516iを起動します。

KH1508i/KH1516i 起動後、デフォルトのユーザーネームとパスワード(p.46 参照)でログインで きるようになります。

IP モジュールのファームウェアアップグレードリカバリー

ファームウェアアップグレードの作業が、突然の電力不足やネットワーク接続のトラブル等によって 中断されてしまった場合、p.72 の「ファームウェアアップグレードリカバリー」に記載されている、通常 のファームウェアアップグレードリカバリーの手順ではうまくいかない場合がございます。このような場 合は、以下の手順で IP モジュールを回復させてください。

- 1. KH1508i/KH1516iの電源を切り、ケースを取り外します。
- 2. ジャンパキャップを使って「J2」と書かれている IP モジュール (ユニットのリア左側、メインボードの上部にあるドーターカード)のジャンパスイッチをショートさせます。



- **注意**: このジャンパスイッチはメインボード上の「Reset Default Password」と書かれている ジャンパスイッチとは異なります。ドーターボード側の「J2」と書かれているジャンパ スイッチを使用しますので、ご注意ください。
- スイッチに電源を入れてください。
 IP モジュールが工場出荷時のデフォルト値を復元して動作します。
- 4. ファームウェアアップグレードを手順に従ってやり直します。
- 5. アップグレードの操作が完了したら、スイッチを切ってください。スイッチを切ったら、J2 にかぶせ てあるジャンパキャップをはずし、ケースを取り付けて KH1508i/KH1516i にスイッチを入れてく ださい。